

2019 年度

専門科目教育要項

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科
口腔保健衛生学専攻

ま え が き

この教育要項は、歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻の授業を受ける学生の皆さんに、2019年度に行われる予定の専門教育科目を示し、それらの授業計画および授業内容の概要を知らせるためのものです。

学生の皆さんが、本学における口腔保健衛生学専攻教育の内容を把握すると共に、充実した履修が行えるよう本要項を有意義に活用されることを希望します。

2019年4月

歯学部口腔保健学科教育委員会

口腔保健学科

基本的理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成する。

一般教育目標

口腔保健学科では、次のような一般教育目標の基に教育を行っています。

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身の様々な状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。
8. 深い人間理解と医療人としての高い倫理観、豊かな感性を身につける。
9. QOLの向上に関わるものづくりの専門家として、自らの高度な知識と技術を社会に還元する意欲を養う。

基本理念、教育理念、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー等

●基本理念

「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」

学問と教育の聖地、湯島・昌平坂に建つ本学は、医療系総合大学として「知と癒しの匠」を創造し、東京のこの地から世界へと翼を広げ、人々の健康と社会の福祉に貢献します。

・教育について

幅広い教養と豊かな人間性、高い倫理観、自ら考え解決する創造性と開拓力、国際性と指導力を備えた人材を育成します。

・研究について

さまざまな学問領域の英知を結集して、時代に先駆ける研究を推し進め、その成果を広く社会に還元します。

・医療について

心と身体を癒す質の高い医療を、地域に提供するとともに、国内さらに世界へと広めていきます。

この理念に基づき、本学の全構成員がそれぞれの役割を自覚し、自らの使命を果たします。

●教育理念

1. 幅広い教養と豊かな感性を備えた人間性の涵養を目指す

病める人と向き合う医療人は、患者の痛みが分かり、そして患者を取り巻く様々な状況をも理解しなければなりません。それには豊かな教養と人間への深い洞察力、高い倫理観と説明能力を備えなければなりません。

2. 自己問題提起、自己問題解決型の創造力豊かな人間を養成する

学業あるいは研究に当たっては、何事も鵜呑みにすることなく、疑問を投げかけ、種々の情報を収集、解析し、自ら解決する能力が求められます。そうしてはじめて、独創的な研究を推進できる人材が育まれます。

3. 国際感覚と国際競争力に優れる人材を養成する

研究成果が即座に世界に伝播する現代において、医療の分野でもその情報と時間の共有化が益々進んでいます。このような状況の中で、立ち遅れない、むしろ最先端に行く人材の養成に努めます。そのために海外教育研究拠点、海外国際交流協定校への派遣を積極的に推進します。

歯学部口腔保健学科

●教育理念

温かく豊かな人間性を有し、口腔保健・福祉の立場から、人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、指導的役割を果たすことのできる人材を育成します。

●教育目標

〈口腔保健衛生学専攻〉

1. 生命の尊厳と基本的な科学原理・概念を理解し、生命科学の知識を修得する。
2. 基本的人権を尊重し、相手の心情と行動を理解して人と接する能力を身につける。
3. 社会における口腔保健・福祉の果たす役割とその重要性を理解する。
4. 心身のさまざまな状態を理解し、口腔保健に関する知識および技術を修得する。
5. 科学的探究心と問題解決能力を身につけ、生涯学習への意欲を培う。
6. 保健・医療・福祉等の関連職種と連携して活動できる能力を身につける。
7. 口腔保健の立場から国際貢献ができる能力を修得する。

◆ディプロマ・ポリシー

歯学部口腔保健学科では、教養部および各専攻における、基礎から臨床、実践に統合する体系的学習を行い、進級要件（東京医科歯科大学全学共通科目履修規則及び東京医科歯科大学専門科目履修規則）を満たし、卒業までに、所定の単位を修得し、以下の要件を満たしている者に学位を授与する。

1. 幅広い教養と豊かな感性

全学共通科目から専門の臨床・臨地実習に至る全教育課程を通して、口腔保健・医療・福祉領域の専門職に必要とされる幅広い教養ならびに人々の心情と行動を理解できる豊かな感性と高い倫理観を身につけている。

2. 問題提起、解決能力

口腔保健・医療の急速な進歩ならびに口腔保健・医療・福祉への多様なニーズに対応できるよう、科学的根拠に基づいた論理的思考力と、主体的に問題を提起、解決する能力を有している。

3. 国際性

口腔保健・医療・福祉分野における国際貢献への高い関心を有し、国際活動・協力を実践するための基礎力を備えている。

歯科衛生および歯科技工の領域において指導的役割を担えるよう、専門職としての高度な知識と技能を有していることが求められる。また、近年は関連他職種と連携した口腔保健の実践が求められており、チームとしての保健・医療・福祉活動に専門職として参加できる基礎力を修得していることが必須である。

◆カリキュラム・ポリシー

〈口腔保健衛生学専攻〉

東京医科歯科大学の教育理念、および歯学部口腔保健学科の教育理念に基づき、口腔保健衛生学専攻の教育目標をふまえて、ディプロマ・ポリシーを実現するためのカリキュラムの策定方針を以下のとおり定める。

1. 全学共通科目の人文・社会科学、および専門科目の相談援助関連の履修全体を通じて、人を思いやれる心とコミュニケーション力を育て、医療人としての倫理観を培う教育を行う。
2. 全学共通科目の自然科学の学びを基礎に、専門課程では人体の構造と機能及び疾病、疾病の成り立ちと回復過程の促進、卒業研究等の履修により、学際的科学の視点と研究への意欲を培う。
3. PBL テュートリアル授業およびグループ討論で学ぶ口腔保健と専門職、社会保障など幅広い科目の履修をととして、人々の健康・生活における諸問題を発見・分析し、解決へとつなげる力を養成する。
4. 歯科衛生過程の基礎理論、健康教育の基礎および企画・実践・評価、歯科衛生臨床・臨地実習等の履修をととして、歯科衛生に関する知識と技術を基礎から応用まで段階的に学び、人々の口腔と全身の健康を守り、推進するための専門的な力を醸成する。
5. 保健医療サービス、介護福祉関連科目等の履修および他学科・専攻との合同授業をととして、保健・医療・福祉分野等の他職種と連携した口腔保健を実践するための基礎力を育成する。
6. 科学英語、口腔保健と国際協力等の科目の履修をととして、国際協力に関心をもち、海外の文化、社会への理解を深め、国際貢献への姿勢と能力を身につける教育を行う。

目 次

まえがき	
基本的理念	
一般教育目標	
口腔保健学科のディプロマポリシー	
口腔保健衛生学専攻のカリキュラムポリシー	
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成28年度以降入学者）	1
東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成27年度以前入学者）	12
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規	17
東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度取り扱いに関する要項	18
東京医科歯科大学試験規則	20
東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規	23
ユニット試験（筆記試験）時の注意事項	24
学生周知事項等	
歯科衛生士国家試験について	26
社会福祉士国家試験について	27
学生周知事項	28
災害関係連絡事項	32
学生・女性支援センター（5号館3階）について	34
保健管理センター（5号館2階）について	35
検査ワクチン実習要件について	36
図書館（M&Dタワー3・4階）について	38
国立美術館キャンパスメンバーズについて	40
1号館西・2号館・7号館の管理、使用について	41
湯島キャンパス案内	44
1号館西6～8階平面図	45
2号館見取り図	46
7号館平面図	47
平成30年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門課程科目授業計画表	48
歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻科目責任者連絡先一覧	49
第1学年 履修ユニット	
人体の構造と機能Ⅰ	51
栄養と代謝	53
公衆衛生学	55
社会保障Ⅰ	57

口腔保健と専門職.....	59
歯科衛生学総論.....	61
メディア情報学.....	63
臨床体験実習.....	65

第 2 学年 履修ユニット

臨床体験実習.....	68
人体の構造と機能Ⅱ.....	70
科学英語Ⅰ.....	74
科学英語Ⅱ.....	76
歯・口腔の構造と機能.....	78
歯の形態学.....	84
口腔保健衛生基礎科学.....	88
病理学総論.....	92
病原微生物と生体防御.....	94
口腔病理学.....	97
薬理学.....	99
社会保障Ⅱ.....	102
保健医療サービス.....	104
歯科保存学.....	107
小児歯科学.....	110
歯科補綴学.....	112
口腔外科・歯科麻酔学.....	114
臨床医学Ⅰ.....	117
口腔疾患予防基礎学Ⅰ.....	120
口腔疾患予防基礎学Ⅱ.....	124
口腔疾患予防基礎学実習.....	127
健康教育の基礎Ⅰ.....	131
健康教育の基礎Ⅱ.....	133
食生活教育.....	136
生体材料学.....	140
臨床検査.....	142
歯科診療補助論Ⅰ.....	144
歯科診療補助論Ⅱ.....	147
臨床口腔保健衛生実習Ⅰ.....	150
歯科衛生過程の基礎.....	153
児童・家庭福祉Ⅰ.....	155

障害児・者福祉Ⅰ	157
地域福祉Ⅰ	159
高齢者福祉Ⅰ	161
介護福祉Ⅰ	163
相談援助の基盤と専門職Ⅰ	165
相談援助演習Ⅰ	166
児童・家庭福祉Ⅱ	168
障害児・者福祉Ⅱ	169
地域福祉Ⅱ	171
高齢者福祉Ⅱ	172
現代社会と福祉Ⅰ	174
現代社会と福祉Ⅱ	177
ソーシャルワークⅠ	179

第3学年 履修ユニット

歯科薬理・薬剤学	182
矯正歯科学	185
歯科放射線学	187
チーム医療の基礎	189
チーム医療の実践	191
口腔機能管理実習	192
高齢者歯科学	195
障害者歯科学	197
臨床医学Ⅱ	199
口腔疾患予防応用学	201
口腔疾患予防応用学実習	203
健康教育の企画と実践Ⅰ	208
健康教育の企画と実践Ⅱ	210
歯科診療補助論Ⅲ	212
臨床口腔保健衛生実習Ⅱ	214
歯科衛生臨床実習Ⅰ	217
歯科衛生過程専門演習	219
社会調査の基礎	221
卒業研究	224
相談援助演習Ⅱ	228
口腔保健と国際協力	230

歯科衛生研究.....	232
口腔保健衛生エクスターンシップ.....	234
公的扶助.....	235
コミュニティーワーク.....	236
相談援助の基盤と専門職Ⅱ.....	237
相談援助の基盤と専門職Ⅲ.....	239
介護福祉Ⅱ.....	241
ソーシャルワークⅡ.....	243
権利擁護.....	245
社会福祉行政.....	247
司法福祉.....	249
就労支援サービス.....	250
相談援助実習.....	251
相談援助実習指導.....	252

第4学年 履修ユニット

臨床口腔保健応用学.....	255
健康教育の企画と実践Ⅲ.....	257
歯科衛生臨床実習Ⅱ・Ⅲ.....	259
歯科衛生臨地実習.....	261
卒業研究.....	262
歯科衛生学演習.....	268
歯科衛生臨床・臨地応用論.....	269
口腔保健マネジメント論.....	270
保健行動科学.....	271
地域口腔保健論.....	273
在宅訪問・災害口腔保健医療.....	276
先端歯科医療学.....	278
福祉計画.....	280
福祉運営管理.....	281
相談援助演習Ⅲ.....	283
相談援助実習指導.....	285
相談援助実習.....	288
口腔保健衛生エクスターンシップ.....	289

東京医科歯科大学学部専門科目履修規則

平成22年3月30日
規則第41号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学における専門に関する教育科目(以下「専門科目」という。)の履修に関しては、東京医科歯科大学学則(平成16年規程第4号。以下「学則」という。)定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(専門科目の単位数及び履修学年)

第2条 専門科目の単位数及び履修学年については、別表1に定めるとおりとする。

2 前項の単位数及び履修学年は、医学部教授会又は歯学部教授会の意見を聴いて学長が定めるものとする。

(授業)

第3条 専門科目の授業は、講義、演習若しくは実習により行い、必修科目、選択科目又は自由科目とする。

(授業時間)

第4条 学則第36条に定める1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間

(2) 実習については、30時間から45時間

2 前項の授業時間の設定においては、次の事項に配慮しなければならない。

(1) 学習目標を十分に満たすこと

(2) 履修時間及び自主的学修時間の確保

3 第1項の規定にかかわらず、医学部保健衛生学科検査技術学専攻の講義実習の1単位当たりの授業時間は25時間とし、講義10時間・実習15時間の割合で構成する。

(編入学者、転入学者の単位認定)

第5条 学則第12条から第18条の2までの規定により編入学及び転入学の許可をするときは、既修得単位を全学共通科目及び専門科目に相当する単位として、一部又は全部を認定するものとする。

2 前項の認定は、全学共通科目に相当する科目については教養部において、専門科目に相当する科目については、当該学生が在籍する学部(以下「在籍学部」という。)において行うものとする。

3 在籍学部は、入学を許可する学年及び履修方法等について、教養部と協議するものとする。

(再入学の単位認定)

第6条 学則第19条の規定により再入学を許可された者の当該学部における既修得単位は、全学共通科目及び当該学部専門科目の単位として、一部または全部を認定する。

(編入学者、転入学者、再入学者の在学年限)

第7条 学則第12条から第19条の規定により、編入学、転入学及び再入学を許可された者の在学年限は、学則第32条第1項に定める在学年限から入学を許可されたまでの経過学年数を減じた年数とする。

(試験及び単位)

第8条 履修した授業科目については、試験を行う。ただし、試験を行うことが困難な授業科目等については、試験によらず、学修の成果をもって、又は指定した課題についての報告をもって試験に替えることがある。

2 前項の試験に合格したときは、所定の単位を与える。

3 実習を伴わない授業科目については、試験に合格したときは所定の単位を与える。ただし、一授業科目の試験を分割して実施する科目については、そのすべての試験に合格しなければ単位を修得することができない。

- 4 実習を伴う授業科目については、試験に合格し、かつ、その授業科目の実習修了の認定が行われなければ所定の単位を修得することができない。
- 5 学習の評価は、別表2のとおりとする。
- 6 単位の認定は、医学部教授会又は歯学部教授会の議を経て当該学部長がこれを行う。
- 7 試験の方法に関しては別に定める。

(進級要件)

- 第9条 学生は、別表3に示す要件を満たさなければ、進級又は所定の授業科目の履修をすることができない。
- 2 医学部医学科並びに歯学部歯学科及び口腔保健学科にあっては、休学期間を除き、同一学年の在籍は2年までとし、2年を超える学生は、特別に考慮すべき事由のない限り、学則第33条第1項第1号に規定する「成業の見込みがない」者として、同条により除籍する。
 - 3 前項の場合において、大学は、教授会等における審議を行う前に、除籍の対象となる学生に対し、書面又は口頭による弁明の機会を与えなければならない。ただし、当該学生が、弁明の機会を与えられたにもかかわらず、正当な理由なく欠席し、又は文書を提出しなかった場合は、この権利を放棄したものとみなす。
 - 4 第2項の場合において、教授会等における審議の後、当該学生から不服が申立てられた場合で、学部長が再審議の必要性があると判断したときは、学部長は、教育委員会等に再度審議を行わせるものとする。

(卒業認定)

- 第10条 学生の卒業認定は、学則第39条により行うものとする。

(補足)

- 第11条 この規則に定めるもののほか履修に関し必要な事項は各学部教授会の議を経て別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部履修規則（平成16年規則第201号）は、廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部履修規則（平成16年規則第213号）は、廃止する。
- 4 平成22年3月31日において現に医学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部履修規則の例による。
- 5 平成22年3月31日において現に歯学部在学する者（以下「在学者」という。）及び平成22年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、改正後の別表の規程にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学歯学部履修規則の例による。

附 則（平成23年3月4日規則第15号）

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年2月3日規則第19号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成24年3月30日規則第60号）

- 1 この規則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成24年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年3月29日規則第56号）

- 1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

- 2 平成25年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成25年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表1（3）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成25年5月30日規則第73号）

この規則は、平成25年5月30日から施行し、平成25年4月17日から適用する。

附 則（平成26年3月25日規則第8号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成25年10月1日の在学者については、平成25年度に医学部又は歯学部1年次に入学した者にのみ改正後の別表1（7）を適用する。
（平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者に関する経過措置）
- 3 前項の規定にかかわらず、平成25年度に全学科共通選択科目を履修する者の改正後の別表1（7）は、次のとおりとし、平成25年10月1日から適用する。

全学科共通選択科目

授業科目		単位数	履修対象学年					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
選択科目	医療リーダーシップ特論1	1	○	○				
	医療リーダーシップ特論2	1		○				
	医療リーダーシップ特論3	1		○				
	医療リーダーシップ特論4	1			○	○ (※2)		
	医療リーダーシップ特論5	1			○ (※1)			
	国際教養特論1	1	○	○				
	国際教養特論2	1		○	○	○ (※2)		
	国際教養特論3	1		○	○	○ (※2)		
	計	8						

- ※1 医学部医学科及び歯学部歯学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※2 医学部保健衛生学科及び歯学部口腔保健学科に在籍する学生に限り履修することができる。
- ※3 医療リーダーシップ特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を、3を履修しなければ4を、4を履修しなければ5を履修することができない。
- ※4 国際教養特論は、原則として、1を履修しなければ2を、2を履修しなければ3を履修することができない。

附 則（平成27年3月10日規則第16号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年3月10日規則第17号）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成27年6月1日規則第140号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 前項の規定にかかわらず、平成23年度から平成26年度までに入学した者のうち、平成26年12月1日において、現に本学に在学する者（以下「平成23年度以降に入学した在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に平成23年度以降に入学した在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者の別表1（4）の

」と読み替え、平成26年12月1日から適用する。

研究体験実習			○					
臨床情報処理						○		
包括臨床実習						○	○	○
デンタルエクスターン シップ（選択科目）※	○	○	○	○	○	○	○	○
長寿口腔健康科学コ ース（選択科目）	○	○	○	○	○	○	○	○

※所定のプログラムを修了した学生に対し、1プログラムにつき1単位を認定する。

但し、同一年次・年度に認定できる単位は、1単位を上限とする。

附 則（平成28年3月31日規則第70号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

Learning Medical English				○	○	○	
--------------------------	--	--	--	---	---	---	--

」は、平成28年4月1日から適用する。

附 則（平成28年3月31日規則第71号）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日規則第73号）

（施行期日等）

- この規則は、平成28年4月1日から施行する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 平成28年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成28年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）及び（3）のうち次に掲げる科目並びに（7）及び（8）を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉Ⅰ、国際保健福祉Ⅱ及び国際保健福祉Ⅲ

別表1（3） アドバンスド生理機能検査学、短期海外研修（Ⅰ）、短期海外研修（Ⅱ）、短期海外研修（Ⅲ）及びLearning Medical English

- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

附則（平成28年11月7日規則第159号）

- この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 前項の規定にかかわらず、別表1（2）の「

実践看護英語							○	
--------	--	--	--	--	--	--	---	--

」は、平成29年4月1日から適用する。

附 則（平成29年3月30日規則第50号）

- 1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（2）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2）実践看護英語Ⅰ、実践看護英語Ⅱ及び実践看護英語Ⅲ

附 則（平成29年3月31日規則第54号）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（平成29年6月1日規則第68号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年6月1日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1の（1）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1（1） 研究実践プログラムⅠ、研究実践プログラムⅡ、研究実践プログラムⅢ、
研究実践プログラムⅣ及び研究実践プログラムⅤ

附 則（平成29年7月6日規則第101号）

（施行期日等）

- 1 この規則は、平成29年7月6日から施行し、平成29年4月1日から適用する。
（在学する者等に関する経過措置）
- 2 平成29年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成29年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表3（1）医学科（7）及び注3を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成29年12月27日規則第137号）

この規則は、平成29年12月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する

附 則（平成30年5月8日規則第32号）

- 1 この規則は、平成30年5月8日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成30年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成30年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、別表1（2）及び（3）のうち次に掲げる科目を除いて、改正後の別表の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

別表1（2） 国際保健福祉A、国際保健福祉B、国際保健福祉C、国際保健福祉D

別表1（3） 短期海外研修（A）、短期海外研修（B）、短期海外研修（C）、短期海外研修（D）

生体医工学の科目については、平成28年度入学者から適用する。

附 則（平成30年12月20日規則第119号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日において、現に本学に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成27年4月1日以降に在学者の属する学年に再入学、転入学又は編入学する者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数			履修学年							
		必修	選択	自由	1 年		2 年		3 年		4 年	
					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門基礎分野	科学英語Ⅰ	1					○					
	科学英語Ⅱ			1				○				
	人体の構造と機能及び疾病	4				○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	6					○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6					○	○	○			
	公衆衛生学	1				○						
	社会保障Ⅰ	2				○						
	社会保障Ⅱ	2					○					
	保健医療サービス	2						○				
専門分野	口腔保健と専門職	1			○							
	歯科衛生学総論	1				○						
	臨床歯科医学	7					○	○	○	○		
	チーム医療の基礎	1								○		
	チーム医療の実践	1								○		
	口腔機能管理実習	1								○		
	高齢者歯科学	1								○		
	障害者歯科学	1								○		
	臨床医学	4						○	○			
	口腔疾患予防学	8					○	○	○	○		
	臨床口腔保健応用学	1									○	
	健康教育の基礎	2					○	○				
	メディア情報学	1				○						
	食生活教育	1					○	○				

	健康教育の企画と実践	3						○	○	○	○
	生体材料学	1				○					
	臨床検査	1					○				
	歯科診療補助論	5				○	○	○			
	臨床口腔保健衛生実習	2				○	○	○			
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○
	歯科衛生臨地実習	6								○	○
	臨床体験実習	1			○	○	○				
統合分野	歯科衛生過程	2					○	○			
	社会調査の基礎	2						○			
	卒業研究	4						○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ		1			○					
	障害児・者福祉Ⅰ		1				○				
	地域福祉Ⅰ		1			○					
	高齢者福祉Ⅰ		1			○					
	介護福祉Ⅰ		1			○					
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1				○					
	相談援助演習Ⅰ		1				○				
	相談援助演習Ⅱ		1					○			
	口腔保健と国際協力	1						○	○		
口腔保健衛生選択科目	歯科衛生学演習	1								○	○
	歯科衛生臨床・臨地応用論		1							○	○
	歯科衛生研究		1						○	○	
	口腔保健衛生エクスターンシップ		1						○	○	○
	口腔保健マネジメント論		1							○	○
	保健行動科学		1							○	○
	地域口腔保健論		1							○	○
	在宅訪問・災害口腔保健医療		1							○	○
	先端歯科医療学		1							○	○

社会福祉選択科目	児童・家庭福祉Ⅱ			1				○				
	障害児・者福祉Ⅱ			1				○				
	地域福祉Ⅱ			1			○					
	公的扶助			2					○			
	コミュニティーワーク			2					○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ			1					○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ			2					○			
	介護福祉Ⅱ			1					○			
	高齢者福祉Ⅱ			1				○				
	現代社会と福祉Ⅰ			2			○					
	現代社会と福祉Ⅱ			2				○				
	ソーシャルワークⅠ			4			○	○				
	ソーシャルワークⅡ			4					○	○		
	権利擁護			1					○			
	社会福祉行政			1					○			
	福祉計画			1					○			
	司法福祉			1					○			
	福祉運営管理			2						○		
	就労支援サービス			1					○			
	相談援助演習Ⅲ			3					○	○	○	○
	相談援助実習指導			2					○	○	○	○
	相談援助実習			4					○	○	○	○
計		98	7	49								

※選択科目から4単位以上修得する。

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

- （１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学総論、メディア情報学、
（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

- （２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、

（選択科目である）児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、高齢者福祉Ⅰ、介護福祉Ⅰ、相談援助演習Ⅰのうち少なくとも３単位

（第２学年に実施される授業を対象とする）疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床歯科医学、臨床医学、口腔疾患予防学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程

- （３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。

疾病の成り立ちと回復過程の促進、臨床医学、歯科診療補助論、臨床口腔保健衛生実習、歯科衛生過程、社会調査の基礎、口腔保健と国際協力

（選択科目の４単位目として選択した場合の）相談援助演習Ⅱ、

（第３学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践

別表 1

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）教育課程

区分	授業科目	単位数		履修学年							
				1 年		2 年		3 年		4 年	
		必修	選択	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
基礎分野	科学英語Ⅰ	1				○					
	科学英語Ⅱ		1				○				
専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病	6			○	○	○				
	歯・口腔の構造と機能	4				○	○				
	口腔保健衛生基礎科学実習	1				○	○				
	疾病の成り立ちと回復過程の促進	6				○	○				
	公衆衛生学	1			○						
	社会保障Ⅰ	2			○						
	社会保障Ⅱ	2				○					
	保健医療サービス	2					○				
専門分野	口腔保健と専門職	1		○							
	歯科衛生学概論Ⅰ	1			○						
	歯科衛生学概論Ⅱ	1			○						
	口腔衛生学	1				○					
	臨床歯科医学	8				○	○	○	○		
	口腔疾患予防学	8				○	○	○	○		
	口腔健康科学	1				○					
	健康教育の基礎	2				○	○				
	食生活教育	1					○				
	高齢者福祉	2						○			
	社会調査の基礎	2						○			
	健康教育の企画と実践	3						○	○	○	
	生体材料学	1				○					
	臨床検査	1					○				
	歯科薬理・薬剤学	1						○			
	介護福祉	2						○			

	歯科口腔保健衛生基礎学	2				○					
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ	2					○				
	臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ	2						○	○		
	歯科衛生臨床実習	13							○	○	○
	歯科衛生臨地実習	5							○	○	○
	歯科衛生臨床・臨地応用実習		1							○	○
	全身と口腔の健康評価	1								○	
	顎口腔機能の育成と回復	1									○
統合分野	臨床体験実習	1			○	○	○				
	歯科衛生過程	2				○	○	○	○		
	卒業研究	4						○	○	○	○
	児童・家庭福祉Ⅰ	1						○			
	障害児・者福祉Ⅰ	1						○			
	地域福祉Ⅰ	1						○			
	相談援助の基盤と専門職Ⅰ	1					○				
	相談援助の基盤と専門職Ⅱ	1						○			
	相談援助演習Ⅰ	1							○		
	相談援助演習Ⅱ	2								○	
展開分野	口腔保健と国際協力		2					○			
	口腔疾患予防学演習		1							○	○
	口腔健康教育演習		1							○	○
	臨床口腔保健衛生基礎学演習		1							○	○
	児童・家庭福祉Ⅱ		1					○			
	障害児・者福祉Ⅱ		1					○			
	地域福祉Ⅱ		1					○			
	公的扶助		2							○	
	コミュニティワーク		2							○	
	相談援助の基盤と専門職Ⅲ		2						○		
	相談援助演習Ⅲ		2								○
	現代社会と福祉Ⅰ		2			○					

現代社会と福祉Ⅱ		2				○				
ソーシャルワークⅠ		4			○	○				
ソーシャルワークⅡ		4					○	○		
権利擁護		1					○			
社会福祉行政		1					○			
福祉計画		1								○
司法福祉		1							○	
福祉運営管理		2								○
就労支援サービス		1								○
相談援助実習		4						○	○	○
相談援助実習指導		2						○	○	○
計	102	43								

別表 2

評価基準	評価	単位認定
当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した	A +	合格
当該科目の到達目標を全て達成した	A	
当該科目の到達目標を概ね達成した	B	
当該科目の到達目標のうち最低限を達成した	C	
当該科目の到達目標を達成していない	D	不合格
到達目標の達成度を評価できない	F	

口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）

（１）第１学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第２学年に進級することができない。

公衆衛生学、社会保障Ⅰ、口腔保健と専門職、歯科衛生学概論Ⅰ、歯科衛生学概論Ⅱ、
（第１学年に実施される授業を対象とする）人体の構造と機能及び疾病、臨床体験実習

（２）第２学年の末までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年に進級することができない。

科学英語Ⅰ、人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、口腔保健衛生基礎科学実習、疾病の成り立ちと回復過程の促進、社会保障Ⅱ、保健医療サービス、口腔衛生学、口腔健康科学、健康教育の基礎、食生活教育、生体材料学、臨床検査、歯科口腔保健衛生基礎学、臨床口腔保健衛生応用学Ⅰ、臨床体験実習、相談援助の基盤と専門職Ⅰ、
（第２学年に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、歯科衛生過程

（３）第３学年の前期までに次の授業科目の単位の修得もしくは試験に合格しなければ、第３学年後期以降の授業科目を履修することができない。

高齢者福祉、社会調査の基礎、歯科薬理・薬剤学、介護福祉、児童・家庭福祉Ⅰ、障害児・者福祉Ⅰ、地域福祉Ⅰ、相談援助の基盤と専門職Ⅱ
（第３学年前期に実施される授業を対象とする）臨床歯科医学、口腔疾患予防学、健康教育の企画と実践、臨床口腔保健衛生応用学Ⅱ、歯科衛生過程

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規

平成23年12月7日
歯学部長制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学歯学部専門科目履修規則（平成22年規則第41号。以下「履修規則」という。）第11条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の履修に関し、必要な事項を定めるものとする。

(学習の評価)

第2条 定期試験及び追試験の成績については、担当教員が100点満点で採点し、授業科目ごとに履修規則別表2のとおり学習の評価を行う。

2 第1項の学習の評価に、平常の学習の成果を加味することができる。

(必修科目及び仮進級)

第3条 履修規則別表3(4)(5)に掲げる科目は、必修科目とする。

2 必修科目に係る試験の不合格者については、仮進級を認めない。

(G P)

第4条 評価とG Pとの対応は次のとおりとする。

成績評価	A+	A	B	C	D	F
G P	4.0	3.5	3.0	2.0	1.0	0.0

2 卒業要件に含まない科目のうち、単位を認定されなかった科目については、未履修としG P A (Grade Point Average) の計算式には算入しない。

(補則)

第5条 この内規に定めるもののほか、履修に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

- この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。
- 平成23年3月31日において現に歯学部口腔保健学科に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以降在学者の属する学年に再入学、転入学する者については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成28年3月31日制定）

- この内規は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成28年3月31日において現に本学に在学する者が履修した科目の学習の評価については、次のとおり読み替えるものとする。

評価区分	評価
秀	A+
優	A
良	B
可	C
不可	D

東京医科歯科大学学部教育におけるGPA制度 取り扱いに関する要項

平成28年3月31日
制 定

(目的)

第1条 東京医科歯科大学の学部教育におけるGPA (Grade Point Average) 制度の運用については、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則 (平成16年制定)、東京医科歯科大学医学部医学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学医学部保健衛生学科履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部歯学科専門科目履修内規 (平成23年制定)、東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科専門科目履修内規 (平成23年制定) に定めるほか、この要項の定めるところによる。

(定義)

第2条 この要項において、GPAとは、個々の学生の学習到達度をはかる数値で、履修登録した科目毎の評価 (A+, A, B, C, D, F) を4から0までの点数に置き換えて単位数を掛け、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均点とする。

2 GPA対象授業科目は、次の各号を除く授業科目とする。

- (1) A+, A, B, C, D, Fによる学習の評価を行わない科目
- (2) 他大学等で単位を修得し、本学として学習の評価を行わず「認定」とした科目
- (3) 卒業要件に含まない科目のうち学生が申請して学科等が認めた科目 (成績表ではGPA除外科目として明示される)
- (4) GPAへの算入が適当でないと学科等が認めた科目 (シラバスおよび成績表ではGPA除外科目として明示される)

(学習の評価及びGP)

第3条 学習の評価及びGrade Point (GP) は、次のとおりとする。

評価	GP	評価基準
A+	4.0	当該科目の到達目標を期待された水準を超えて達成した
A	3.5	当該科目の到達目標を全て達成した
B	3.0	当該科目の到達目標を概ね達成した
C	2.0	当該科目の到達目標のうち最低限を達成した
D	1.0	当該科目の到達目標を達成していない
F	0.0	到達目標の達成度を評価できない

(GPAの種類及び計算方法)

第4条 GPAは、当該学年に履修した第2条第2項に定めるGPA対象授業科目について

て、「当該年度のGPA」、「累積GPA」に区分し、各区分は次に定める方法により計算するものとする。

＊ GPAの計算式

当該年度のGPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{当該年度の総履修登録単位数}}$$

累 積GPA＝

$$\frac{(4 \times A + \text{取得単位数} + 3.5 \times A \text{取得単位数} + 3 \times B \text{取得単位数} + 2 \times C \text{取得単位数} + 1 \times D \text{可取得単位数})}{\text{総履修登録単位数}}$$

2 前項の計算式において、総履修登録単位数には不可となった科目の単位を含むが、履修取消とした科目の単位は含まない。

3 計算値は小数点第3位を四捨五入とし表記するものとする。

(GPA計算期日)

第5条 GPAの計算は、学年ごとに所定の期日までに確定した成績に基づいて行う。

(成績証明書への記載)

第6条 成績証明書への記載は、累積GPAを使用する。

(その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPA制度の実施に関して必要な事項は、各学科等において、別に定める。

附 則

1 この要項は、平成28年4月1日から施行し、平成28年度入学者から適用する。

平成27年度以前入学者についても、GPAを計算する場合は、秀をA+、優をA、良をB、可をC、不可をD、評価なしをFとみなし、適用する。

東京医科歯科大学試験規則

平成 23 年 4 月 1 日
規 則 第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、東京医科歯科大学における全学に共通する教育科目及び専門に関する教育科目（以下「授業科目」という。）の試験に関して、東京医科歯科大学学則（平成 16 年規程第 4 号。以下「学則」という。）、東京医科歯科大学全学共通科目履修規則（平成 16 年規則第 217 号。）及び東京医科歯科大学学部専門科目履修規則（平成 22 年規則第 41 号。）に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(試験の種類)

第 2 条 試験は、本試験、追試験及び再試験とする。

(試験の方法)

第 3 条 試験は、筆答試験、コンピュータ活用試験、口答試験及び実地試験のいずれかによって行う。

(本試験)

第 4 条 本試験は、定期試験及び共用試験をいう。

2 共用試験は、医学部医学科及び歯学部歯学科において行う。

(定期試験)

第 5 条 定期試験とは、履修した授業科目について行う試験をいう。

2 定期試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 定期試験を受験することのできる者は原則として次のとおりとする。

(1) 講義及び演習 当該授業科目の授業時間数の 3 分の 2 以上履修した者

(2) 実習 当該授業科目の授業時間数の 4 分の 3 以上履修した者

4 定期試験の結果は、公示する。

5 第 3 項に定めるもののほか、定期試験の受験資格に関し必要な事項は、医学部、歯学部又は教養部（以下「部局」という。）において別に定めることができる。

(共用試験)

第 6 条 共用試験とは、知識・問題解決能力を主として評価する多肢選択形式のコンピュータ活用試験（C B T）及び技能・態度を主として評価する客観的臨床能力試験（O S C E）をいう。

2 共用試験の実施日時は、試験実施日の 2 週間前までに公示する。

3 共用試験を受験することのできる者は医学部医学科及び歯学部歯学科において

別に定める。

4 共用試験の結果は、公示する。

（追試験）

第7条 追試験とは、病気、その他止むを得ない理由により本試験を受験できなかった者に対して行う試験をいう。ただし、追試験は原則として1回限りとする。

2 追試験を受験しようとする者（以下「追試験申請者」という。）は、所定の受験申請書に医師の診断書等の証明書類を添えて、本試験終了後原則として5日以内に医学部長、歯学部長又は教養部長（以下「学部長等」という。）に願い出て、許可を受けなければならない。

3 学部長等は、前項の申請について、教育委員会又は教務委員会と協議のうえ、その可否を決定し、追試験申請者に通知するものとする。

4 追試験受験決定が否の場合は、本試験を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第2項に定めるもののほか、追試験の申請に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（再試験）

第8条 再試験とは、本試験又は追試験を受験し、不合格となった者に対し行う試験をいう。ただし、再試験は、原則として1回限りとする。

2 再試験の実施日時は、指定の期日までに公示する。

3 再試験は当該学部長等の判断により、受験を許可しないことがある。

4 再試験受験決定が否の場合は、当該授業科目を不合格とする。

5 試験の結果は、公示する。

6 第3項に定めるもののほか、再試験の許可に関し必要な事項は、部局において別に定めることができる。

（試験の成績）

第9条 本試験、追試験および再試験による成績については、科目責任者が100点満点で採点し、60点以上を「当該科目の到達目標のうち最低限を達成した」ものとして合格とする。

2 共用試験の成績については、前項の規定にかかわらず、医学部医学科及び歯学部歯学科において別に定める。

（成績の報告）

第10条 科目責任者は、本試験、追試験及び再試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長等に報告しなければならない。

2 医学科教育委員会委員長又は歯学科教育委員会委員長は、共用試験について所定の用紙に採点結果を記入し、指定の期日までに当該学部長に報告しなければならない。

(罰則)

第 1 1 条 試験において不正行為があったときは、学則第 5 8 条の規定による懲戒の手続きをとるものとする。

(補則)

第 1 2 条 この規則に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この規則は、平成 2 3 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 東京医科歯科大学医学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 0 2 号）は廃止する。
- 3 東京医科歯科大学歯学部試験規則（平成 1 6 年規則 2 1 4 号）は廃止する。
- 4 この規則は、平成 23 年 3 月 31 日において現に医学部または歯学部に在学する者（以下「在学者」という。）及び平成 23 年 4 月 1 日以降在学者が所属する学年に再入学、転入学するものについては、改正後の規則にかかわらず、なお従前の東京医科歯科大学医学部試験規則または東京医科歯科大学歯学部試験規則の例による。

附 則（平成 年 月 日規則第 号）

この内規は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科試験内規

平成23年12月7日
歯学部長 制定

(趣旨)

第1条 この内規は、東京医科歯科大学試験規則（平成23年規則第1号。以下「試験規則」という。）第12条に基づき、歯学部口腔保健学科における専門に関する教育科目の試験に関し、必要な事項を定めるものとする。

(試験の種類)

第2条 試験規則第5条に規定する定期試験とは、期末試験及び中間試験とする。

(期末試験及び中間試験)

第3条 期末試験とは、履修を修了した授業科目及び授業科目を構成するユニット（以下「ユニット」という。）について定期的に行う試験をいう。

2 中間試験とは、履修中の授業科目及びユニットについて適宜行う試験をいう。

3 期末試験及び中間試験の実施時期については、口腔保健衛生学専攻及び口腔保健工学専攻（以下、「各専攻」という。）において別に定める。

(追試験)

第4条 追試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(再試験)

第5条 定期試験に係る再試験は、原則として定期試験の実施期間に行う。

(補則)

第6条 この内規に定めるもののほか、試験に関し必要な事項は各専攻において別に定めることができる。

附 則

1. この内規は、平成23年12月7日から施行し、平成23年4月1日から適用する。

2. 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科に平成23年3月31日に在学し、引き続き本学科の在学者となった者（以下「在学者」という。）及び平成23年4月1日以後在学者の属する学年に再入学、転入学及び編入学する者に係る試験については、この内規の規定にかかわらず、なお従前の例による。

口腔保健科学生 各位

歯学部長
口腔保健学科教育委員長

ユニット試験（筆記試験）時の注意事項

口腔保健学科専門科目ユニット試験（筆記試験）時に下記事項を遵守しない場合には不正行為を行ったとみなす。

1. ユニット試験時の持ち物については下記のとおりとする。下記以外の物の持ち込みについては監督者に確認して、指示に従うこと。
 - 1) 机上には原則、筆記用具と学生証以外は置かないこと。
教科書や参考書、ノートやプリント、携帯電話、スマートフォン、小型パソコン、腕時計型情報端末などの電子機器を机上または机下の棚に置いている場合、あるいは身につけている場合は不正行為とみなす。これらはすべてカバンにしまうこと。
 - 2) ティッシュペーパーの持ち込みが必要な場合は監督者の許可を得ること。ティッシュペーパーは袋から出して、試験中は机上に置いておくこと。
2. 遅刻は、ユニット試験開始 30 分以内は認める。但し試験時間の延長はしない。
3. ユニット試験開始 30 分経過後、試験終了者で希望する者の退室を認める。
4. 持ち帰りが認められていない試験において、過失・故意にかかわらず試験問題、解答用紙を試験会場外へ持ち出した場合、またはそれらを複製（撮影を含む）した場合、当該試験は無効となる。

参考：「試験における不正行為」に対する懲戒は以下の通り。

（東京医科歯科大学における学生の懲戒に関する申し合わせ 別表懲戒の標準より抜粋）

（１）代理（替玉）受験を行った場合又は行わせた場合	退学
（２）許可されていないノート及び参考書等を参照した場合	停学
（３）答案を交換した場合	停学
（４）その他、試験において不正行為を行った場合	停学または訓告

学 生 周 知 事 项 等

歯科衛生士国家試験ならびに社会福祉士国家試験について

歯科衛生士国家試験

〔試験の概要〕

（試験科目）

人体（歯・口腔を除く。）の構造と機能、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ち及び回復過程の促進、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み、歯科衛生士概論、臨床歯科医学、歯科予防処置論、歯科保健指導論及び歯科診療補助論

（受験資格）

- （1）文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- （2）厚生労働大臣の指定した歯科衛生士養成所を卒業した者（卒業見込の者を含む）。
- （3）外国の歯科衛生士学校を卒業し、又は外国において歯科衛生士免許を得た者であつて、厚生労働大臣が（1）又は（2）に掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者。

（試験期日）

例年、3月の第1日曜日に行われる。

第28回（前回）の歯科衛生士国家試験は、2019年3月3日（日）に行われた。

（受験手数料）

受験手数料の額は14,300円である（変更の可能性もあり）。

（受験手続き）

1.必要書類

ア.受験願書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）、（2）に該当する者）

なお、（1）（2）に該当する者で卒業見込証明書を提出した者にあつては、3月14日午後5時までに卒業証明書を提出する。期日までに、提出されないときは、当該受験は無効となる。

2.出願について

出願については、大学で必要書類をとりまとめ、一般財団法人歯科医療振興財団に提出する。

なお、受験願書、写真用台紙、受験手数料払込用紙等は、一般財団法人歯科医療振興財団から毎年10月中旬に各養成機関宛に届くので、受験予定者は歯学系教務係にて受領する。

試験の詳細については、受験案内で確認すること。

社会福祉士国家試験

〔試験の概要〕

(試験科目)

人体の構造と機能及び疾病、心理学理論と心理的支援、社会理論と社会システム、現代社会と福祉、地域福祉の理論と方法、福祉行政と福祉計画、社会保障、障害者に対する支援と障害者自立支援制度、低所得者に対する支援と生活保護制度、保健医療サービス、権利擁護と成年後見制度、社会調査の基礎、相談援助の基盤と専門職、相談援助の理論と方法、福祉サービスの組織と経営、高齢者に対する支援と介護保険制度、児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度、就労支援サービス、更生保護制度

(受験資格)

- (1) 4年制大学等で指定科目を修めて卒業した者
- (2) 2年制（又は3年制）短期大学等で指定科目を修めて卒業し、指定施設において2年以上（又は1年以上）相談援助の業務に従事した者
- (3) 社会福祉士短期養成施設（6月以上）を卒業（修了）した者
- (4) 社会福祉士一般養成施設（1年以上）を卒業（修了）した者

(試験期日)

次回（第32回）の試験は、2020年2月上旬に行われる予定。

第31回（前回）の試験は、2019年2月3日（日）に行われた。

(受験手数料)

受験手数料の額は15,440円である。

(受験手続)

1.必要書類

ア.受験申込書

イ.写真

ウ.卒業証明書又は卒業見込証明書（受験資格の（1）に該当する者）

2.出願について

公益財団法人社会福祉振興・試験センターより本学に出願書類が届いた後、歯学系教務係から社会福祉士養成課程履修者（4学年）に出願書類を配布するので、受験予定者は出願書類を歯学系教務係の提出すること。

学生周知事項

1. 掲示について

学生への告知、通知、連絡はすべて掲示板に掲示する。掲示の見落としがないよう十分注意すると共に、1日に1度は掲示を見て不利益をこうむらないように心がけること。

2～4学年用の教務連絡用掲示板は1号館西7階リフレッシュルーム前に設置されている。また、eラーニングシステム（WebClass）や電子メール（Webメール）によって連絡されることがあるので頻繁に確認し、見落としのないように注意すること。

2. 学生証について

- （1）学生証は常に携帯すること。
- （2）学生証を紛失または破損等したときは、学務企画課（1号館西1階）に届け出て再交付の手続きをすること。再交付費用（1,500円）は学生本人の負担とする。
- （3）学生証は卒業、退学または除籍のときには直ちに学務企画課へ返納すること。返却できない場合は、費用を負担することとする。

3. 学生旅客運賃割引

- （1）課外活動または帰省等でJR線を利用し、乗車区間が片道100kmを超える場合、旅客運賃の割引（2割）を受けることができる。
- （2）学割証の不正使用（第三者への貸与等）は絶対にしないこと。
- （3）年間使用限度枚数は1人10枚（1回につき2枚まで）
- （4）私鉄、バス等の利用において通学証明書を必要とする場合は、所定の用紙をもらい、学務企画課企画調査係（1号館西1階）に問い合わせること。
- （5）学割証が必要なときは5号館4階談話室にある証明書自動発行機を使用すること。
利用日時：月曜日～金曜日、8:30～21:00
問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線5075）

4. 証明書等

証明書等は、歯学系教務係および証明書自動発行機にて発行する。

<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/procedure/shigaku/index.html>

- （1）次に掲げるものは、歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定）で発行するので歯学部証明書交付願を記入し提出すること（受付時間 8:30～17:15）
（①と②の交付は、原則として交付願を受理した日から1週間程度要する。）
 - ①成績証明書
 - ②調査書
 - ③英文の在学証明書

(2) 次に掲げるものは、5号館 4階談話室にある自動発行機で発行する。

(利用日時：月曜日～金曜日、8：30～21：00)

(問い合わせ先：学務企画課企画調査係（内線 5074））

①在学証明書

②卒業見込証明書（第 4 学年在学者のみ）

(3) 次に掲げるものは、学務企画課企画調査係（1号館西 1階）で発行する。

①通学証明書（交通機関から請求された場合に限る）

通学証明書が必要な場合は、企画調査係に問い合わせること。

鉄道やバスの通学定期券を購入する場合は、住居の最寄り駅または大学の最寄り駅にて学生証を提示し、直接購入すること。

5. 住所・氏名等の変更について

本人または保証人の住所、氏名、電話、本籍等（電話番号を含む）に変更が生じたときには、速やかに歯学系教務係へ申し出て所定の手続きをすること。

6. 欠席、休学、復学、退学

(1) 授業の欠席

病気その他の事由により欠席した場合は欠席届を歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定）へ提出すること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

(2) 休学

病気その他の事由により、引き続き 3 か月以上休学する場合は、休学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気の場合は、必ず医師の診断書を添付すること。）

休学を許可される期間は、通算して 2 年以内。（特別の事情があるときは、さらに 1 年以内の休学が許可されることがある。）

(3) 復学

休学している学生が、休学許可期間の途中または満了時に復学を希望する場合は、復学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。（病気を理由に休学した場合は、復学可能である旨の医師の診断書を添付した上で、保健管理センターを受診する必要がある。）

(4) 退学

病気その他の事由により、学業を継続することが困難となり、退学しようとする場合は、退学願（保証人連署）を歯学系教務係へ提出し、学長の許可を得ること。

なお、退学するにあたっては、事前に担任教員等と面談し、退学事由等について十分相談すること。

7. ネームプレート着用について

歯学部学生であることを明示するために、歯学部・同附属病院では必ずネームプレートを着用すること。

プレートは貸与とし、紛失または破損した場合は、再交付を受けるものとする。この場合は実費を負担すること。

学科専攻名と氏名の間のスペースに学年を表示するシール（例「OH2」）を貼ること。シールは歯学系教務係で配布しているので、汚損したら適宜貼りかえること。

8. 授業中（大学行事、課外授業を含む）の事故等

入学時に加入した「学生教育研究災害傷害保険」および「医学生教育研究賠償責任保険」の対象となる。（詳細は「学生生活の手引き」を参照すること。） 問い合わせ先：学生支援事務室（5号館3階）内線

（5077） <http://www.tmd.ac.jp/campuslife/support/insurance-regime/index.html>

9. 遺失物および拾得物

学内での遺失物に関する問い合わせまたは拾得物の届け出は、下記のとおりです。

- （1）講義室、実習室、ロッカー室：歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定：内線 5411）

学部防災センター（歯科棟北 1 階）

- （2）上記（1）以外：

歯学部総務課（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定：内線 5406）

10. 授業料の払込について

金融機関の預金口座振替により、授業料を引き落とす。

前期分授業料は 4 月中に、後期分授業料は 10 月中に納付すること。

11. 湯島キャンパスにおける講義に際しての注意事項

- （1）平日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで歯学部附属病院玄関から出入りすることを原則禁止

- （2）歯学部建物内へは、以下のように出入りすること。

1）聖門⇄1 号館、2 号館、7 号館

2）正門⇄1 号館、2 号館、7 号館

3）御茶ノ水門あるいは丸の内線出口⇄1 号館、2 号館、歯学部附属病院防災センター（歯学部時間外通用口）

- （3）白衣または実習着を着用していない学生は、歯学部附属病院の聖橋側エレベーターを使用すること。

- （4）臨床実習履修中の学生以外がやむを得ない理由で歯学部附属病院内を移動するときは、私語を慎むこと。歩きスマホは禁止。

- （5）白衣または実習着を着用したまま学外に出ないこと

12. 授業中のパーソナルコンピュータ、スマートフォンなどの機器使用の制限について

授業中におけるパーソナルコンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの携帯電話等の使用に関して以下のように定めている。

- (1) 当該授業に関係のない機器を使用することを禁ずる。
- (2) 上記 1 の状況において、授業担当者あるいは授業補助者が、学生が当該授業を使用していると認めたときは、これを制限できる。この場合制限とは以下のことをいう。
 - 1) 当該機器の電源を強制的に OFF にする。
 - 2) 当該授業終了時まで授業担当者あるいは授業補助者が当該機器を保管することができる。
 - 3) 当該学生を退出させる。再入室にあたっては当該機器を持ち込んでいないことを条件とする。

13. カードリーダーの設置について

各講義室および実習室、リフレッシュルーム等には、カードリーダーが設置されている。各授業の出席については、原則的にこれらに学生証をタッチすることで登録を行うので、学生証を必ず忘れないようにすること。

なお、授業によりこの装置を使用しないことがある。その場合は、担当教員の指示に従うこと。また、万が一、学生証を忘れた場合、歯学系教務係でその日に限りの貸し出しカードを一時的に貸与するので申し出ること。基本的にはカードリーダーへのタッチで出欠がカウントされる。

14. 学生用メールについて

学生各自に割り当てられたメールアドレス（学籍番号下6桁にos@tmd.ac.jp）宛に、掲示に準じた連絡や、個別の連絡を送信することがあるので、定期的にチェックしておくこと。

15. その他

- (1) クラブ、サークル等宛の郵便物等は、学生支援事務室の窓口で保管しているので、責任者は適宜確認すること。なお、個人宛の郵便物等は、大学に配達されることがないようにすること。

- (2) 事務の窓口

教 務 事 務：歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定、内線 5411）

授 業 料の納入：財務部財務企画課収入管理係（1号館西 3階、内線 5048）

奨 学 金、授業料免除：学生支援事務室（5号館 3階、内線 5077）

奨学金：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/scholarship/index.html>

授業料免除：<http://www.tmd.ac.jp/campuslife/exemption/index.html>

災害関係連絡事項

1. 台風等の自然災害や交通機関運休による休講措置（湯島地区）

台風等の自然災害や交通機関運休に伴う湯島地区で行う授業の休講、試験の延期の措置等を決定した場合は、下記により本学のホームページ「学部・大学院」ニュース欄に掲載する。

URL: <http://www.tmd.ac.jp/faculties/index.html>

○台風などで首都圏に直接災害が予想される場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

○首都圏における交通機関（JR および大手私鉄・地下鉄など）が全面的に運転を休止している場合

- ・ 午前の授業を休講、午前の試験を延期とする場合は、午前 6 時 30 分までに公示する。
- ・ 午後の授業を休講、午後の試験を延期とする場合は、午前 10 時までに公示する。
- ・ 夜間（午後 6 時以降）の授業を休講、夜間（午後 6 時以降）の試験を延期とする場合は、午後 4 時までに公示する。

2. 授業中の大規模地震のときの避難場所について

学内で地震や火災などの非常事態が起こった場合、あわてずに教員の指示に従って行動すること。1 号館西での授業中に大規模地震が発生した際には、口腔保健衛生学専攻の学生は 1 号館西 1 階の正面玄関前に避難すること。ただし、状況に応じて別の避難場所に誘導される場合がある。大学全体としての避難場所は M&D タワー前スペースとなっている。

3. 大規模地震ポケットマニュアルについて

このマニュアルは、大規模地震（震度 5 強以上を想定）が発生した場合の初動対応を掲載している。常時携行し、大規模地震が発生した場合の安全確保や避難及び安否確認等に役立てること。

マニュアルが手元に届かない場合、あるいは破損・紛失した場合は、以下に問い合わせること。英語版のポケットマニュアルも作成しているので、必要な場合は以下に申し出ること。

問い合わせ先：歯学系教務係（歯科棟北9階、5月以降は歯科棟南2階に移転予定）
03-5803-5411

なお、このマニュアルは、ホームページからも確認できる。

（学内専用サイト → 学内専用教職員学生向け情報 → 危機管理に関する情報）

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

4. 安否確認システムについて

このシステムは、大規模地震はもとより、風水害等による本学の学生及び教職員の安否確認のため、携帯電話・スマートフォン・パソコンから安否情報を入力するものである。

大規模地震や風水害の際には、「大規模地震ポケットマニュアル」の「安否確認システムによる報告」を確認し、安否確認システム (<https://asp21.emc-call3rd.jp/tmdu/>) にアクセスし、ID（学籍番号）とパスワード（初期値は ID と同じ）によりログインして自身の安否を入力すること。

今後、このシステムの実効性を高めるため、試行を重ねる予定であるので、その際はメール等により案内する。

なお、このシステムの操作方法等については、ホームページから確認すること。

(学内専用サイト → 教職員学生向け情報サイト → 危機管理に関する情報)

<http://www1.tmd.ac.jp/others/soumusoumu/soumu/20110405/index.html>

学生支援・保健機構について 学生・女性支援センターについて

学生・女性支援センターは、生活、修学、就職、メンタルヘルスやハラスメント、キャリアパスや学業（仕事）と家庭との両立に関する事など、キャンパスライフ全般に渡り、学生支援活動の充実を図ることを目的として設置されています。また、以下のとおり学生生活全般及びキャリアに関する相談に応じています。各ホームページに個別相談予約状況や予約方法を記載していますので、何かあればお気軽にご利用ください。なお、本センターは男女問わずご利用頂けます。

・場所：5号館3階 ・業務時間：月～金（平日）9：00～17：00

※連絡先は03-5803-XXXXの下4ケタです

※HP：本学トップページ>研究所・図書館等>学生支援・保健管理機構>学生・女性支援センター

担当名	内容	連絡先	備考	HP
学生支援室	生活支援、修学支援、就職支援、メンタル（保健管理センターと連携）に関する相談、ハラスメントに関する相談及びカウンセリングに関する事。	4959/ 4571	個別に相談に応じています 〈学生支援室〉 相談時間：月～金（10：30～16：00） 1回50分	上記>学生支援室/障害学生支援室>専用Webサイト
障害学生支援室	障害によってハンディを被ることなく修学できる様、個々人のニーズに合わせた支援及びその相談。 学生生活における困りごと、差別解消に関する支援及びその相談。		〈障害学生支援室〉 相談時間：火・水・金（10：30～16：00） 1回50分 〈国府台キャンパス（保健管理センター内）〉 水曜日（12：00～14：00）相談に応じています。希望者は事前に予約してください。	(http://www.tmd.ac.jp/cmn/stdc/) 
男女協働参画支援室	今後の進路や生き方に関する支援及びその相談、妊娠・出産・育児と学業・仕事との両立、保育園入園、介護に関する支援及びその相談。マタニティ白衣の貸出、キャリアに関する図書の貸出。	4921	個別やカップルでの相談に応じています 相談時間：月～金（10：30～17：00） 1回60分	上記>男女協働参画支援室/保育支援室>専用Webサイト
保育支援室	病児保育、病後児保育、一時保育、お泊り保育の利用に関する支援及びその相談。授乳・搾乳室の設置。			(http://www.tmd.ac.jp/ang/index.html) 
ダイバーシティ・ダイヤモンド（DD）ユニット	研究力強化支援、リーダーシップ向上支援、育児・介護と研究との両立支援、産学連携支援、若手研究者キャリアパス支援。	4921	順天堂大学・株式会社ニッピと連携して女性研究者の研究力を強化する事業を実施しています	専用HP http://www.tmd.ac.jp/cmn/ddu/index . 

保健管理センターについて

健康状態の把握と、疾病の早期発見のため、定期あるいは臨時の健康診断及びワクチン接種等を行います。また、心身両面の健康障害や不安について、診察や相談を行っています。

○組織と業務

名称	場所	連絡先	業務内容
保健管理センター	湯島 5号館 2階	03-5803-5081	1. 健康相談 2. メンタルヘルス相談
保健管理センター分室	国府台 シャン・ドウ・コーズリー1階	047-300-7108	3. 健康診断 4. 健康診断証明書の発行 5. 応急処置・診察・治療（軽い怪我・風邪など） 6. 各種抗体検査・ワクチン接種

○保健管理センターの利用について

- 1) メディカルスタッフへの相談を希望する方は、HP の健康相談予定表、もしくは当センター入り口に掲示してあります健康相談予定表で確認の上、相談においでください。軽い怪我や風邪などについては治療を受けることもできます。また、必要に応じて医療機関への紹介状もお書きします。メンタルヘルスに関する相談も行っております。
- 2) 月曜日～金曜日の開室時間内は、血圧測定や視力検査、身体計測など自己測定ができます。その他、湯島では、エアロバイク・ジョーバなど健康機器やマッサージチェア・Nap 用ベッドも備えていますのでご利用ください。

開室時間	湯島地区	8時45分～17時00分
	国府台地区	9時45分～16時15分

ホームページ : <http://www.tmd.ac.jp/hsc/index.html>

下記が実施済であることを実習要件とする（2017年6月27日教育戦略会議にて決定）

- ・4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)抗体検査結果に基づくワクチン接種が、規定回数終了している
- ・B型肝炎抗体価が陽性または non-responder（計6回ワクチン接種をしても陽性とならない）である
- ・T スポット®. TB 検査を実施済である
- ・臨床実習に出る直近の学生定期健康診断を受診済である

＊ただし、以下の者はその証明をもってワクチン接種対象外とする

＜4種ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・免疫機能に異常のある疾患を有する者及び免疫抑制をきたす治療を受けている者で主治医より接種禁とされた者
- ・妊娠していることが明らかな者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

＜B型肝炎ワクチン接種＞

- ・過去に同ワクチン接種でアナフィラキシーを呈したことがある者
- ・その他、主治医により予防接種を行うことが不適當と判断された者

検査ワクチン実習要件について

保健管理センター
2017.9

保健管理センターでの検査、ワクチンの実施スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	 4種抗体検査 (対象：全員)	学生定期健康診断 (毎年、全員)	 4種ワクチン接種期間（接種月はワクチン毎に決まっている） 対象：抗体価が陰性→同ワクチンを2回接種 抗体価が陽性(基準を満たない)→1回接種 									
2年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：全員)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 1クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
	 T スポット®, TB検査 (対象：全員)											
3年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：2年でB肝ワクチン 1クール目を接種した者)		 1回目	 2回目	B型肝炎ワクチン接種期間 2クール目(全3回) 対象：抗体価が陰性だった者					 3回目		
4年	 B型肝炎抗原抗体検査 (対象：3年でB肝ワクチン 2クール目を接種した者)	B型肝炎ワクチンを2クール計6回接種しても 抗体価が陰性の場合、 「non-responder」となり、それ以上の接種は行わない										



ワクチン接種は、事前の申込みと入金が必要です。



対象学年で、検査やワクチン接種を受検し忘れた場合は、速やかに保健管理センターへ申し出てください。その後の対応について説明します。

図書館について

1. 場所：M&D タワー3 階（カウンター、閲覧席等）、4 階（閲覧席、情報検索室等）

2. 利用可能時間：

開館時間	平日	8：30～22：00
	土日祝	8：30～18：30
（情報検索室）	平日	9：00～21：00
	土日祝	11：00～17：30
休館日	年末年始	

※8 月、3 月の土日祝日は
10：00～18：30

3. 利用方法：（詳細は「図書館ホームページを参照してください。」）

- 図書館の利用には、利用証が必要です。IC カードタイプの学生証が利用証になります。入館ゲートにかざして入館してください。忘れた場合はカウンターに申し出て下さい。入館はできますが、貸出ができません。
- 探している資料があるか、配架場所等は図書館ホームページ蔵書検索（OPAC）でお調べください。
- 貸出を希望される資料と利用証を持って、カウンターへお越しください。自動貸出機もご利用いただけます。ただし、CD-ROM などの付属資料のあるものはカウンターでの貸出のみとなります。貸出可能冊数は図書・製本雑誌合わせて 5 冊まで、貸出期間は図書は 2 週間、製本雑誌は 1 週間です。
- 引き続き資料を利用したい場合、期限日内であり、次に予約が入っていない図書に関しては、1 回に限り貸出期間を延長することが出来ます。図書館ホームページの My Library もしくはカウンターで延長手続きをしてください。
- 本館・分館間で資料の取り寄せを行っています。カウンターで申込手続きを行ってください。（来館でのお申込みのみとなります）
- 本館・分館の資料は、どちらの図書館でも返却できます。（返却日は厳守してください）
開館時：カウンターに返却してください。
閉館時：M&D タワー1 階、図書館入口のブックポストに返却してください。
- 製本雑誌は自動書庫に保管されています。蔵書検索（OPAC）からあらかじめ予約をして 4 階出庫ステーションからご自身で取り出して、ご利用ください。
出庫予約時の ID・パスワードは MyLibrary と同じ統合 ID とパスワードです。
- 電子ジャーナルは出版社との契約により、学内 LAN からの利用のみになります。
- 本学の資料を著作権の範囲内で複製することができます。コピーはセルフサービスです。図書館に設置されているコピー機をお使いください。現金またはプリペイドカードでお支払いください。両替はできません。料金：モノクロ 1 枚 10 円 カラー1 枚 30 円
- 情報検索室の PC が利用できます。（ただし、全面利用の授業時は利用ができません）ネットワークの利用にはアカウントとパスワードが必要です。プリンターは情報検索室を出て左手奥に 1 台設置されており、モノクロとカラー印刷が可能で有料となります。

- 館内は無線 LAN 対応です。各自で持ち込まれるパソコンからインターネット、学内 LAN に接続する場合は、アカウントとパスワードが必要となります。アカウントとパスワードが必要ない印刷は USB メモリー印刷専用の PC が 3 階と 4 階に設置されていますので、USB メモリーに保存してあるものは印刷が可能です。印刷物はそれぞれ指定のプリンター（モノクロ、カラー・有料）から出力されます。

3 階閲覧室に備付のパソコンがあります。インターネット、印刷利用の場合は、アカウントとパスワードが必要です。3 階閲覧室のプリンターはカウンター脇（モノクロ、カラー・有料）にあります。

- 利用したい資料が学内（講座・電子ジャーナル含む）になく、他大学や研究機関の図書館で所蔵している場合、複写を申し込む、または図書を取り寄せることができます。複写と貸借は My Library からお申込みください。
- 他大学の図書館を利用する場合、身分証の他に紹介状が必要です。（紹介状は訪問希望日の 3 日前までにお申し込みください）訪問先で利用したい資料の所在を確認し、カウンターでお申込みください。なお、明治大学の図書館は本学の学生証で利用することができます。ただし、明治大学図書館の資料の館外貸出を希望される方は学生証の他に、住所のわかるものを持参していただき、明治大学のライブラリーカードを作る必要があります。（1 月、7 月は利用不可、3 月貸出停止）
- 館内での飲食は原則禁止です。（本館では、3 階の図書館入口前に、飲食ラウンジがあります。）
- 所持品は各自責任を持って管理してください。貴重品は常に携帯してください。荷物を置いたままで長時間席を離れる席取り行為はやめてください。長時間席に居ない場合は、荷物を回収することもあります。

4. 問い合わせ先：内線 5596 e-mail: info-serve.lib@ml.tmd.ac.jp

ホームページ: <https://www01s.ufinity.jp/tmd/>

国立美術館キャンパスメンバーズについて

「国立美術館キャンパスメンバーズ」とは、学校教育において美術館を有効に活用することと、学生や教職員の美術に親しむ機会をより豊かにすることを目的とした、大学等を対象とする制度です。本学でもこのキャンパスメンバーズに加入しています。

1. 対象：本学の学部学生・大学院生・教職員
2. 特典：所蔵作品展の「無料観覧」（所蔵作品を持たない国立新美術館を除く）
特別展・共催展の「割引観覧」（学生は大学生団体料金・教職員は一般団体料金）
3. 利用方法：各館の券売所または改札で学生は学生証、教職員は身分証明書を提示し、キャンパスメンバーズの利用の旨を伝え、入館または観覧券を購入してください。学生証、身分証明書を持参していない場合、特典を受けることはできません。なお、詳しい日程は、各館のホームページで確認してください。
4. 利用機関：以下の3館
国立西洋美術館、東京国立近代美術館、国立新美術館
5. ホームページ：
http://www.tmd.ac.jp/campuslife/campus_members/index.html
<http://www.campusmembers.jp/>

1 号館西・2 号館・7 号館の管理、使用について

1. 1 号館西・2 号館・7 号館の出入口の施錠（平日）について

1 号館西出入口

1 号館西 正面玄関 終日出入可（防災センター管理）

1 号館西 東側出入口 解錠 6:00 施錠 18:30

2 号館出入口

2 階正面玄関 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段 解錠 7:00 施錠 18:00

2 階外階段は、施錠後はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。

歯科棟出入口

歯科棟南 1 階通用扉 カードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です。2 階に歯学系教務係があります。

7 号館側接続口 1・4 階は出入不可、2・3・5 階はカードリーダーに学生証をタッチすることで外から入ることが可能です（ただし、実習により病院を訪れる場合に限りません）。

7 号館出入口

1 階聖門側、EV 前 解錠 7:00 施錠 18:00

歯科棟北接続口（東側 1～6 階） 1 階は解錠 7:00 施錠 18:00、
2～6 階は常時開放

1 号館東接続口（2～5 階） 常時開放

消防法の規定により、歯科棟側と 2 階外階段出入口は避難口のため、施錠しても建物内から外へは常に出られます。ただし、7 号館 1 階歯科棟側接続口、1 号館東接続口（2、3 階）は施錠すると出入りできません。

2. 1 号館西・2 号館・7 号館内各室の施錠について

1 号館西講義室 解錠 7:30 施錠 18:00

2 号館講義室 随時（口腔保健工学専攻教員が解・施錠）

7 号館講義室 解錠 7:00 施錠 17:00（教務指示による）

1 号館西 7 階学生ロッカー室 番号ロック制

3. 1号館西・2号館・7号館における講義室の目的外使用について

講義室は、原則として目的外使用は許可しません。

4. 学生ロッカー室（1号館西7階）について

(1) ロッカー室は、更衣室として使用できます。

(2) 各人にロッカーが貸与されるので、丁寧に使用してください。

また、各人の責任による破損等については、各人の負担により原状回復してください。

(3) ロッカー室の入口及び個人のロッカーは開放せず、必ず施錠されているかを確認すること。ロッカーでの盗難が多発しているため、特に貴重品等の管理は厳重にしてください。

(4) ロッカーの上部に私物を置かないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

(5) ロッカーの内外部にシール、ポスター等を貼らないこと。

(6) 飲食後の空容器、紙くず等は必ず分別してごみ箱に捨て、室内に放置しないこと。

(7) ロッカー室でサークルの集会をしないこと。

5. リフレッシュルーム（1号館西7階）の使用について

(1) リフレッシュルームは、食事、休憩、歯磨きなどの目的で使います。

(2) 口腔保健学科口腔保健衛生学専攻学生の共用で使います。

(3) 周囲に迷惑がかからぬよう、お互いに協力して、節度をもって使用すること。

(4) 注意事項

・私物を保管・放置したり、特定の場所を占拠したりしないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。

・エアコンの設定温度に留意し、誰もいないときにはエアコンを消すこと。

・飲食した空容器、紙くず等は放置せず、必ず分別してごみ箱に捨てること。

・洗面台の排水が詰まるので、食べ物のカス等を流さないこと。

・全員退出する際には電源を全て消すこと。

・掲示板およびホワイトボードは全学年共用で、学生間の連絡のほか、教員からの連絡にも使用することがあります。不要になった書き込みや掲示物は、書いたものや掲示したものが責任を持って消し、撤去してください。

6. 歯学部リフレッシュルーム（7号館）の使用について

7号館1階および6階には、学生の休息、自己学習等での使用を目的としたリフレッシュスペースが設けられています。この施設では、無線LANを利用して学内LANへの接続も可能になっています。施設を利用する場合は、下記の注意事項を厳守してください。

(1) 利用時間

平日 午前 8 時 30 分から午後 7 時 30 分まで

(2) 利用する上での注意事項

- 1) きれいに、清潔に利用すること。
- 2) 一部の学生が独占的に利用する環境を作らないこと。
- 3) 私物や貴重品は極力置かないこと（紛失は本人の責任になります）。
- 4) 禁煙です。
- 5) 本学学生としてあるまじき行為を行った場合、大学の懲戒規定にかかるとともに、他の学生を含め、当施設の利用を全面的に禁止することが有り得ることを念頭に置き、使用してください。
- 6) 他に利用している学生を考慮し、騒がないこと。
- 7) ごみの始末は各自で行うこと。

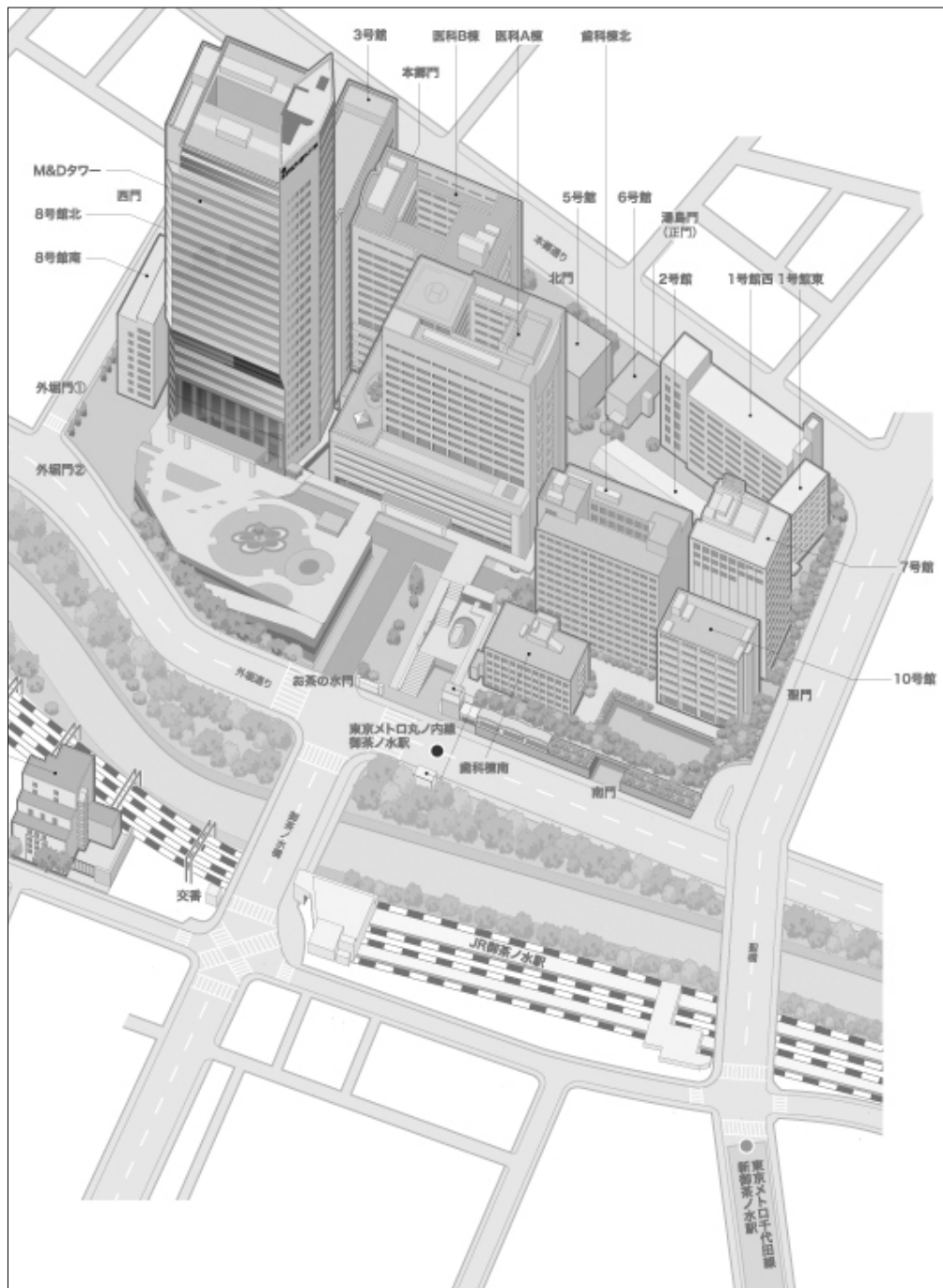
7. 学生用ホワイトボード（リフレッシュルーム）の使用について

- (1) 掲示物の内容については関知しないが、良識をもって掲示すること。
- (2) 掲示期間を過ぎることのないよう、自主的に撤去すること。

8. 講義室・実習室の使用について

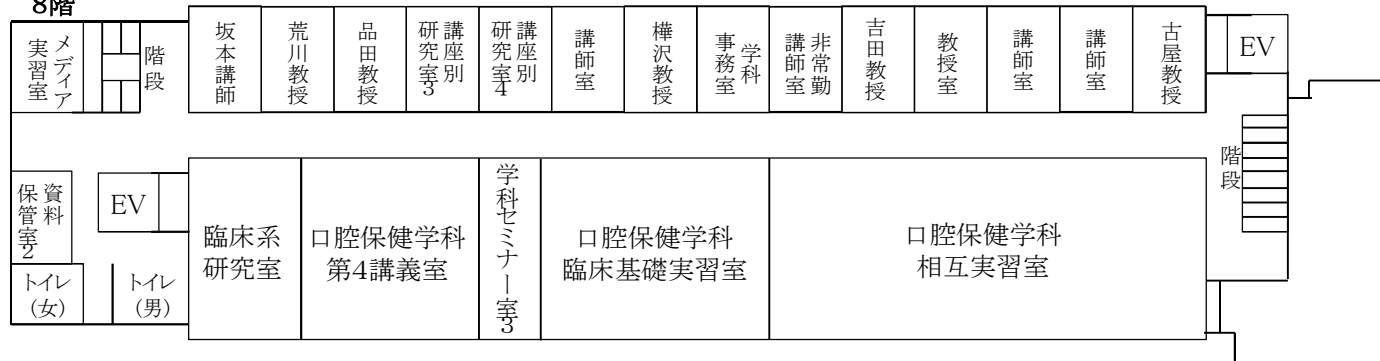
- (1) 講義室・実習室における飲食は原則として禁止します。
- (2) 講義室の机の上に腰をかけないこと。
- (3) 7 号館 7 階以上は動物実験施設なので、感染予防等のため関係者以外の出入りを禁止します。
- (4) 講義室・実習室においては、紙くず等を散らさないようにし、必ず分別してごみ箱に捨てること。
- (5) 参考書・ノート等の私物は講義室の中に放置しないこと。放置された私物は、適宜、予告なしに処分されます。
- (6) 室内は学生用ホワイトボード・掲示板以外に掲示物の添付を禁じます。
- (7) 講義室・実習室等においては、下駄ばきを厳禁します。
- (8) 盗難防止のため、貴重品は講義室・実習室に置いておかず、身につけて移動するか、個人のロッカーに必ずしまうこと。
- (9) 実習室に私物のかばんや上着など実習に必要なものを持ち込まないこと。各自のロッカーに保管してください。

湯島キャンパス案内

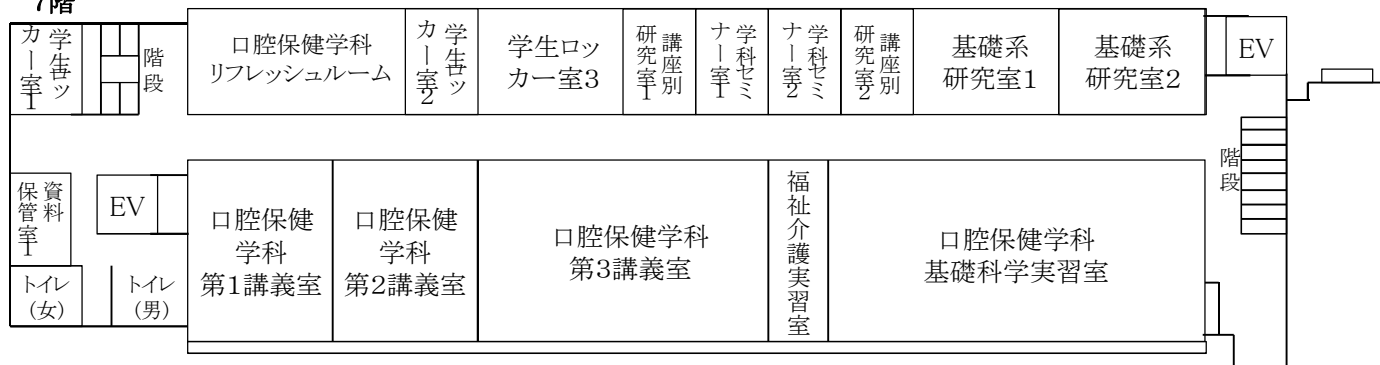


1号館西6～8階平面図

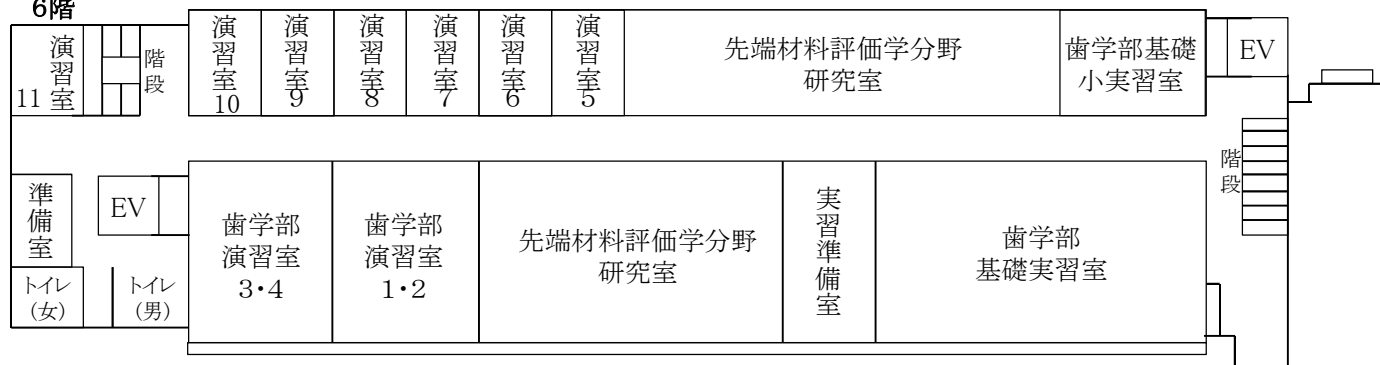
8階



7階

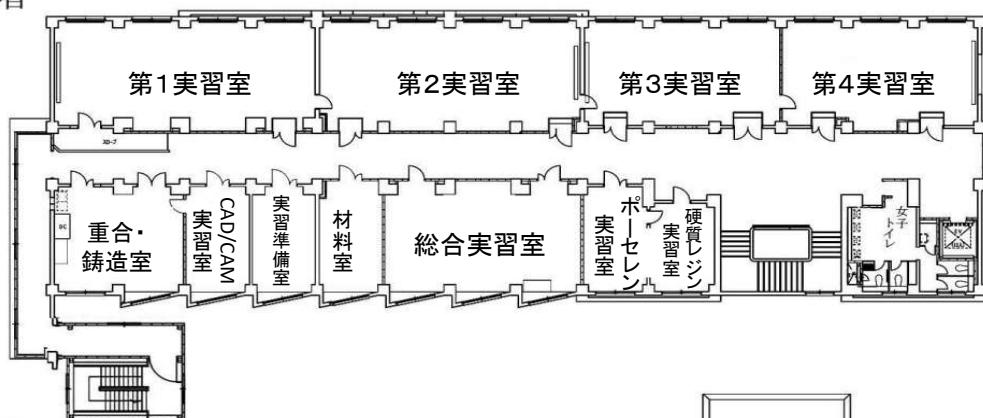


6階

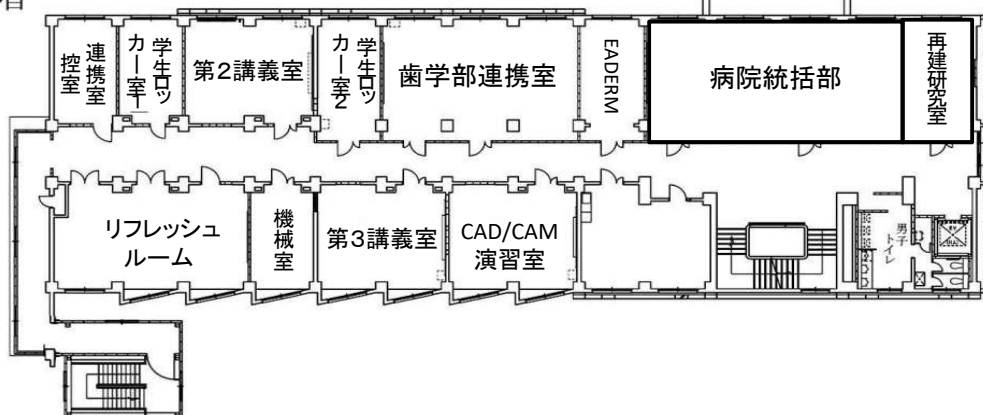


2号館見取り図

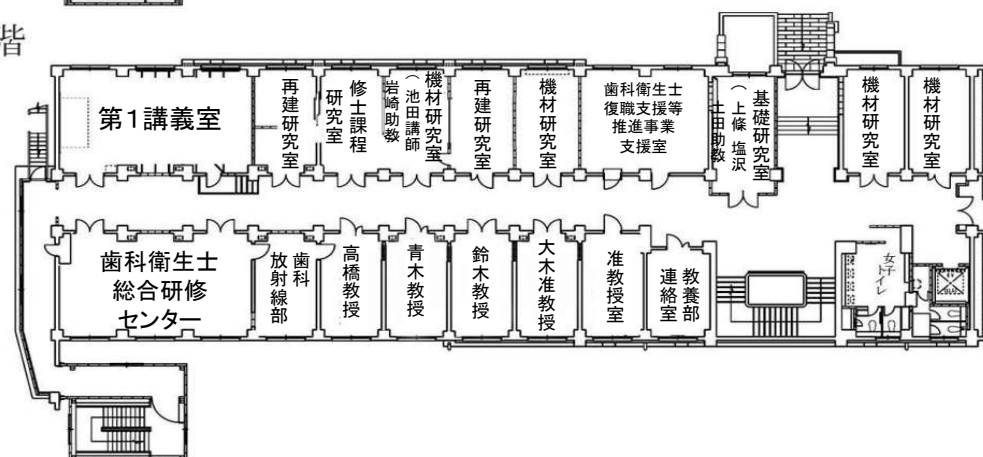
4階



3階

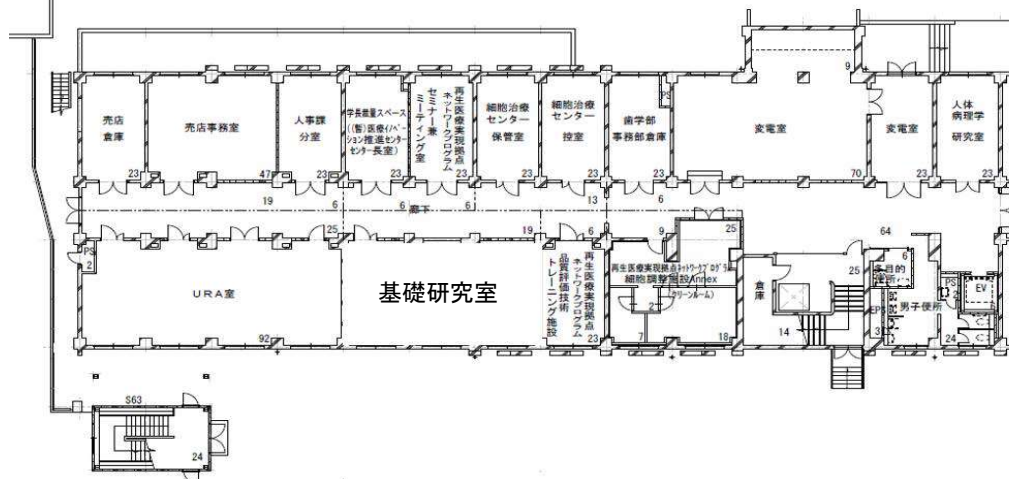


2階

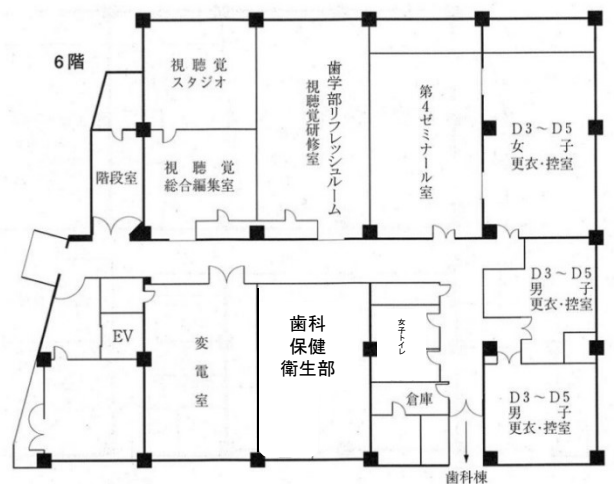
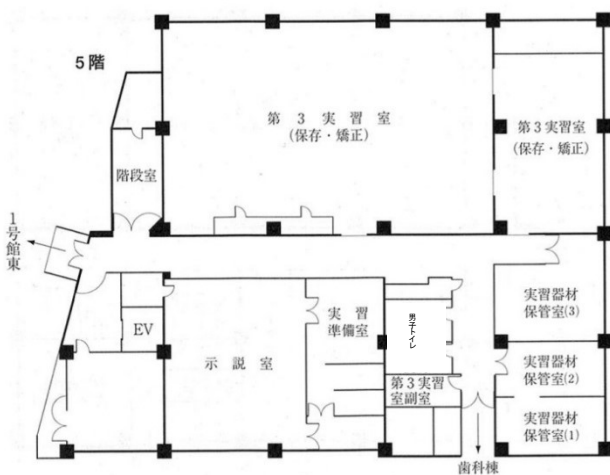
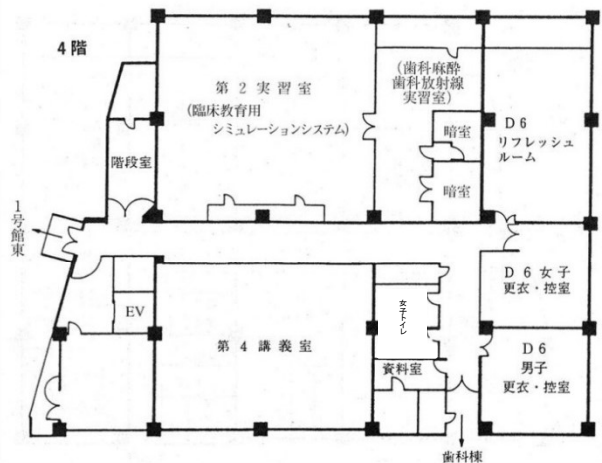
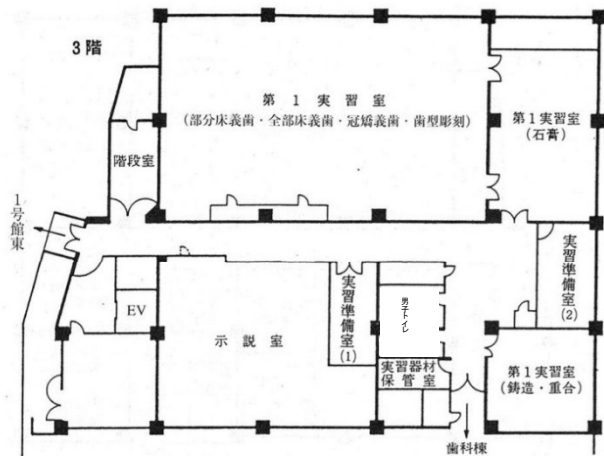
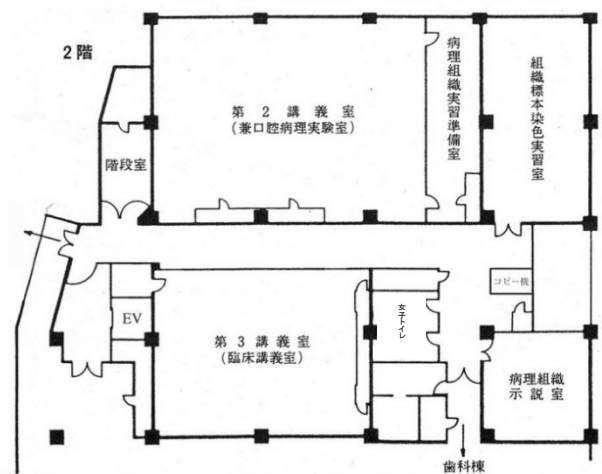
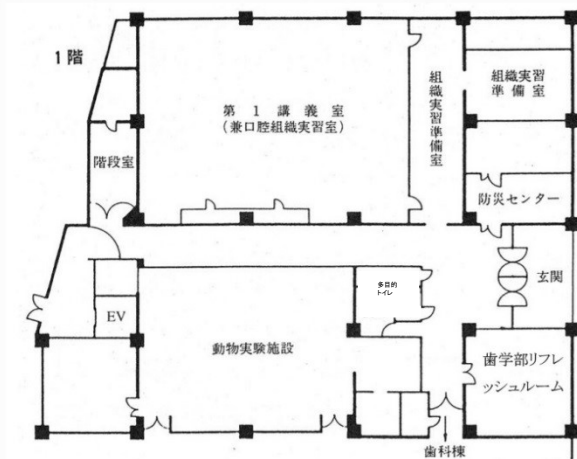


2階
歯科
連絡口棟

1階



7号館平面図



2019年度歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻専門科目授業計画

第1学年

前期	学 部 専 門 科 目 「口 腔 保 健 と 専 門 職」	2019. 4. 16(火)～2019. 5. 21 (火) 5週 毎週火曜日
後期	学部専門科目 「歯科衛生学総論」 「人体の構造と機能Ⅰ」 「公衆衛生学」「栄養と代謝」 「社会保障Ⅰ」 「メディア情報学基礎」 「臨床体験実習」	2019. 10. 1(火)～2020. 2. 4(火) 16週 毎週火曜日 2020. 2. 18(火) 2. 25(火) 定期試験

第2学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2019. 4. 2(火)
	ガ イ ダ ン ス	2019. 4. 3(水)
	授 業 18 週	2019. 4. 4(木)～2019. 7. 31(水)
	夏季休業(選択科目授業有り)	2019. 8. 1(木)～2019. 8. 30(金)
	定 期 試 験	2019. 9. 2(月)～2019. 9. 20(金)
	補 講 ・ 選 択 科 目	2019. 9. 24(火)～2019. 9. 27(金)
後期	授 業 12 週	2019. 9. 30(月)～2019. 12. 20(金)
	お茶の水祭準備のため休講	2019. 10. 11(金)
	創 立 記 念 日	2019. 10. 12(土)
	お 茶 の 水 祭	2019. 10. 12(土)～2019. 10. 13(日)
	解 剖 体 追 悼 式	2019. 10. 24(木)
	冬 季 休 業	2019. 12. 24(火)～2020. 1. 3(金)
	授 業 5 週	2020. 1. 6(月) ～2020. 2. 7(金)
	定 期 試 験	2020. 2. 10(月)～2020. 2. 28(金)
	春 季 休 業	2020. 3. 2(月)～2020. 3. 31(月)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

第3学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2019. 4. 4(木)
	ガ イ ダ ン ス	2019. 4. 5(金)
	授 業 17 週	2019. 4. 8(月)～2019. 7. 30(火)
	夏 季 休 業	2019. 7. 31(水)～2019. 8. 16(金)
	定 期 試 験	2019. 8. 19(月)～2019. 9. 4(水)
	授 業 4 週 (選 択 科 目 の み)	2019. 9. 5(木)～2019. 9. 24(火)
後期	登 院 式	2019. 9. 9(月)
	授 業 13 週	2019. 9. 25(水)～2019. 12. 20(金)
	お茶の水祭準備のため休講	2019. 10. 11(金)
	創 立 記 念 日	2019. 10. 12(土)
	お 茶 の 水 祭	2019. 10. 12(土)～2019. 10. 13(日)
	冬 季 休 業	2019. 12. 24(火)～2020. 1. 3(金)
	授 業 6 週	2020. 1. 6(月) ～2020. 2. 14(金)
	定 期 試 験	2020. 2. 17(月)～2020. 2. 28(金)
	春季休業(選択科目授業有り)	2020. 3. 2(月)～2020. 3. 31(金)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

第4学年

区 分		期 間
前期	春 季 休 業	2019. 4. 4(木)
	ガ イ ダ ン ス	2019. 4. 5(金)
	授 業 17 週	2019. 4. 8(月)～2019. 8. 1(木)
	定 期 試 験	2019. 8. 2(金)
	夏季休業(選択科目授業有り)	2019. 8. 5(月)～2019. 9. 26(木)
	授 業 13 週	2019. 9. 27(金)～2019. 12. 20(金)
後期	お茶の水祭準備のため休講	2019. 10. 11(金)
	創 立 記 念 日	2019. 10. 12(土)
	お 茶 の 水 祭	2019. 10. 12(土)～2019. 10. 13(日)
	冬 季 休 業	2019. 12. 24(火)～2020. 1. 3(金)
	補 講 お よ び 卒 業 試 験	2020. 1. 6(月) ～2020. 1. 24(金)
	自己研修および国家試験対策	2020. 1. 27(月)～2020. 2. 21(金)
	春 季 休 業	2020. 2. 24(月)～2020. 3. 24(火)
	卒 業 式	2020. 3. 25(水)

※学外講師の日程により、夏季・春季休業期間または8限等に実施する場合があります。

歯学部口腔保健学科口腔保健衛生学専攻 教員連絡先一覧

医歯学総合研究科	分野名	氏名	メールアドレス
	生涯口腔保健衛生学分野	荒川 真一	s-arakawa.ltoh@tmd.ac.jp
		近藤 圭子	solan.ltoh@tmd.ac.jp
	健康支援口腔保健衛生学分野	樺沢 勇司	kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp
		伊藤 奏	ito.ocsh@tmd.ac.jp
	口腔疾患予防学分野	品田 佳世子	shinada.pvoh@tmd.ac.jp
		安達 奈穂子	adachi.pvoh@tmd.ac.jp
	地域・福祉口腔機能管理学分野	古屋 純一	furuya.ohcw@tmd.ac.jp
		中山 玲奈	n-rena.ohcw@tmd.ac.jp
	口腔健康教育学分野	吉田 直美	yoshida.ohce@tmd.ac.jp
	口腔保健衛生基礎学分野	坂本 裕次郎	y.sakamoto.bsos@tmd.ac.jp

第 1 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022202					
科目名	人体の構造と機能Ⅰ					
担当教員	坂本 裕次郎 井関 祥子					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
科目名: 人体の構造と機能及び疾病 ユニット番号: 1201 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・90 分×8 回 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所 口腔保健学科 第1 講義室						
授業の目的、概要等 人体の正常な構造と機能を学んで、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長と加齢に伴う変化ならびに生体の恒常性維持機構について理解する。						
授業の到達目標 ・人体の構成ならびに構造と機能の関係を概説する。 ・細胞の構造と働きならびに遺伝子の分子機構を説明する。 ・人体の発生と発達の概要を説明する。 ・上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織の特徴と役割を説明する。 ・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	12:50-14:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の構成	人体の構造と機能を学ぶ意義、人体の構成と身体の方用用語、細胞と組織と器官系の分類	坂本 裕次郎
2	10/8	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体を構成する細胞の構造と機能	核とその役割、細胞質と細胞膜・細胞内小器官の役割	坂本 裕次郎
3	10/15	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
4	10/29	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	組織の分類	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織の構成要素の特徴と役割および器官系の構成	坂本 裕次郎
5	11/5	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	人体の発生と生後発達	人体の発生過程と生後の変化	井関 祥子
6	11/12	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	骨組織の形成と機能、運動器(骨格系と筋系)の総論	骨組織の構造と発生様式、骨格系の機能、運動器(骨格系と筋系)の構成と役割および成長に伴う変化	坂本 裕次郎
7	11/19	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎
8	11/26	08:50-10:20	口腔保健 学科第1 講義室	筋の収縮機構と機能、骨格筋の収縮のタイプと疲労	骨格筋・心筋・平滑筋の収縮のしくみと役割	坂本 裕次郎
成績評価の方法 ・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総括的評価に加味する。						

準備学習などについての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。
参考書 人体の構造と機能／前田健康, 山田好秋 ほか著, 前田, 健康, 1959-, 山田, 好秋, 1949-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2010 標準組織学総論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 医学書院, 2015 標準組織学各論／藤田尚男, 藤田恒夫 原著, 藤田, 尚男, 1928-2014, 藤田, 恒夫, 1929-2012, 岩永, 敏彦, 1954-, 石村, 和敬, 1949-, 医学書院, 2017 標準生理学／小澤滯司, 福田康一郎 監修, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集, 小澤, 滯司, 福田, 康一郎, 本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, 医学書院, 2014 ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著, 安田峯生, 山田重人 訳, Sadler, Thomas W, 安田, 峯生, 1937-, 山田, 重人, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2016 分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟, 小川鼎三, 大内弘 ほか, モリト, オカワテイゾウ, オオウチロム, 金原出版, 1982-02-20 分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興, 岡本道雄, ヒラサワコウ, オカモトミチオ, 金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三, 山田英智, 養老孟司, オカワテイゾウ, ヤマダエイチ, ヨウロウタケシ, 金原出版, 1982-02-20 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 1995
連絡先 坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp 井関 祥子 s.iseki.emb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎 随時 1 号館西 8 階 井関 祥子 随時 (必ず事前に連絡すること)

時間割番号	022204						
科目名	栄養と代謝						
担当教員	品田 佳世子, 渡部 徹郎, 中島 友紀, 横山 三紀, 井上 カタジナアンナ						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1		
ユニット: 栄養と代謝							
科目: 人体の構造と機能及び疾病							
単位: 1 (90 分授業 × 8 回)							
主な講義場所							
1 号館西 7 階 口腔保健学科第 2 講義室							
授業の目的、概要等							
生体の構成要素、栄養素の消化吸収、代謝と作用を理解し、口腔の健康との関連を概説できる。							
授業の到達目標							
1) 生体の構成要素を理解する。							
2) 栄養素の消化吸収を理解する。							
3) 栄養素の代謝、作用を理解する。							
4) 生体における恒常性の維持を理解する。							
5) 食品に多く含まれ栄養素を知り、欠乏症を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/29	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	栄養と代謝の総論	栄養と代謝の総論、食育クイズ	品田 佳世子	演習: 食育クイズ
2	11/26	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	糖質、脂質、タンパク質 の代謝	糖質、脂質、タンパク質の代謝	井上 カタジ ナアンナ	
3	12/3	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	生体における恒常性の 維持	生体における恒常性の維持	渡部 徹郎	
4	12/10	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	生体の構成要素、生体 における化学反応	生体の構成要素、生体における化 学反応	横山 三紀	
5	1/7	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	歯と歯周組織の生化学、 硬組織の生化学	歯と歯周組織の生化学、硬組織の 生化学	中島 友紀	
6	1/14	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	唾液の生化学、プラーク の生化学	唾液の生化学、プラークの生化学	品田 佳世子	
7	1/21	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	ビタミン、ミネラルの働 き	ビタミン、ミネラルの働き	品田 佳世子	
8	1/28	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	確認テスト	確認テスト	品田 佳世子	演習: 確認テスト
成績評価の方法							
・ 出席点 (1 割) および筆記試験: 確認テストを含む (9 割) を総合的評価とする。							

準備学習などについての具体的な指示
試験の受験資格 ・3分の2以上の出席を必要とする。 ・受験資格を得られなかった学生はユニット未履修とし、次年度に当該ユニットを再履修しなければならない。
教科書 人体の構造と機能2 栄養と代謝／高橋信博, 江指隆年 ほか著, 医歯薬出版, 2016
参考書 : 医歯薬出版
連絡先 品田 佳世子: shinada.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022205						
科目名	公衆衛生学						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1		
科目名: 公衆衛生学 時間数: 90 分×8 回 授業形態: 講義							
主な講義場所 1 号館西 7 階 口腔保健学科 第 2 講義室							
授業の目的、概要等 健康、疫学、人口、環境、感染症、保健衛生などの基本事項を理解し、ヘルスプロモーションや予防医学を実践するための基礎的知識の習得と新たな発想を展開する方法を学ぶ。							
授業の到達目標 ・健康の概念を説明できる。 ・疫学について説明できる。 ・人口統計について説明できる。 ・環境による健康への影響を説明できる。 ・感染症の概念および感染成立の三要因について説明できる。 ・地域保健について基本的事項を理解する。 ・ヘルスプロモーション、予防医学の基本概念と実践方法について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	保健生態学総論	保健生態学総論	品田 佳世子	
2	10/8	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	疫学	疫学	品田 佳世子	演習:ミニテスト1
3	10/15	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	人口	人口	品田 佳世子	演習:ミニテスト2
4	12/10	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	感染症	感染症	品田 佳世子	演習:ミニテスト3
5	12/10	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	食中毒、環境の概念	食中毒、環境の概念	品田 佳世子	演習:ミニテスト4
6	12/17	08:50-10:20	口腔保健 学科第2 講義室	地域保健、公衆衛生	地域保健、公衆衛生	品田 佳世子	演習:ミニテスト5
7	1/14	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	環境と健康	環境と健康: 空気、温熱環境、水、放射線、住居・衣服、地球の変化、公害、廃棄物処理について各班の課題発表	品田 佳世子	課題発表
8	1/28	10:30-12:00	口腔保健 学科第2 講義室	確認テスト	確認テスト	品田 佳世子	演習:確認テスト

成績評価の方法 ・課題発表・作成された資料(2割)、筆記試験(小テスト、確認テスト等 7割)と受講状況(1割)による総合評価を行う。
準備学習などについての具体的な指示 ・自分の住んでいる地域や実家の地域の環境問題や健康問題を調べておく。 ・前回の授業の復習をしておくこと、小テストを行う。
試験の受験資格 全講義回数(8回)の2/3以上出席していること。
教科書 保健生態学 第2版／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編:医歯薬出版, 2015
連絡先 shinada.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022206						
科目名	社会保障Ⅰ						
担当教員	樺沢 勇司, 遠藤 康裕						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	2		
科目名: 社会保障Ⅰ 時間数: 90 分×15 回 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第2講義室および 第3講義室							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 ・社会保障制度の目的と機能を説明できる。 ・社会保障制度と私たちの生活を関連づけることができる。 ・現代社会における社会保障制度の課題を説明できる。 ・社会保障制度と保健・福祉・医療の実際を関連づけることができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/1	14:30-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	人々の暮らしと社会保障制度	遠藤 康裕	演習を行なう
2-3	10/8	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度1	日本の社会保障制度について	遠藤 康裕	演習を行なう
4-5	10/15	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度2	社会保障制度の基礎を学ぶ	遠藤 康裕	演習を行なう
6-7	11/5	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度3	障害者を支援する社会保障制度	遠藤 康裕	演習を行なう
8-9	11/12	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度4	高齢者を支援する社会保障制度	遠藤 康裕	演習を行なう
10-11	11/19	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度5	地域社会と社会保障制度	遠藤 康裕	演習を行なう
12-13	11/26	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度6	日本の社会保障制度の課題	遠藤 康裕	演習を行なう
14-15	12/3	12:50-16:00	口腔保健 学科第3 講義室	社会保障制度7	世界の社会保障制度の課題	遠藤 康裕	演習を行なう
成績評価の方法 ・授業内演習、課題発表等で重要な単元の学習成果を評価する。							

準備学習などについての具体的な指示

事前に指示した教材、アップロードされた資料に目を通して講義に臨むこと。

参考書

- ・授業中に配布する資料。
- ・参考書は授業時に紹介する。

時間割番号	022207						
科目名	口腔保健と専門職						
担当教員	吉田 直美, 伊藤 奏, 青木 和広, 大木 明子, 塩沢 真穂						
開講時期	前期	対象年次	1	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科（口腔保健衛生学専攻）第3 講義室							
歯学部演習室							
授業の目的、概要等							
自学自習とディスカッションに基づく問題基盤型学習(PBL)や演習を通して、口腔保健の基礎知識、保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理や実務上の態度・姿勢、多職種連携の重要性を学ぶ。							
授業の到達目標							
1. 口腔保健の概要を説明できる。							
2. 保健・医療・福祉の専門職に共通する職業倫理を説明する。							
3. 保健・医療・福祉の専門職に共通する実務上の態度・姿勢を説明する。							
4. 保健・医療・福祉の専門職による多職種連携の重要性を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/16	12:50-14:20	歯学部演習室	オリエンテーション シナリオ 1	オリエンテーション	吉田 直美 青木 和広 大木 明子, 塩沢 真穂	鈴木瞳
2-3	4/23	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、シナリオ 2 全体発表準備	口腔保健と専門職を学ぶ意義、学習方法(PBL テュートリアル)シナリオ提示、学習項目の検討 ディスカッション全体発表項目、発表法の検討	吉田 直美 青木 和広 大木 明子, 塩沢 真穂	鈴木瞳
4-5	5/7	12:50-16:00	歯学部演習室	学習項目の発表、全体発表準備	ディスカッション シナリオ提示、学習項目の検討	大木 明子, 青木 和広 塩沢 真穂 伊藤 奏, 吉田 直美	鈴木瞳
6-7	5/14	12:50-16:00	歯学部演習室	全体発表準備	ディスカッション全体発表項目発表法の検討	大木 明子, 青木 和広 塩沢 真穂 伊藤 奏, 吉田 直美	鈴木瞳
8	5/21	12:50-14:20	口腔保健学科第3 講義室	全体発表	全体発表	大木 明子, 青木 和広 塩沢 真穂 伊藤 奏, 吉田 直美	鈴木瞳
成績評価の方法							
出席状況、課題準備内容、グループディスカッションの状況、全体発表の内容、課題レポートの内容で総合的に評価する。							
準備学習などについての具体的な指示							
PBL テュートリアル形式の授業のため、各自学習した内容を資料としてまとめ、準備をした上で授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
3 分の 2 以上の出席							

参考書 ・授業中に配布する資料。 ・参考書は授業時に紹介する。
履修上の注意事項 ・試験規則に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。 ・やむをえない事情で遅刻・欠席する場合は、担当教員にその旨連絡する。 ・事前に資料の配布、WebClass へのアップロードがあった場合は、予習して授業に臨むこと。
備考 PBL

時間割番号	022208					
科目名	歯科衛生学総論					
担当教員	吉田 直美					
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1	
科目名: 歯科衛生学総論 時間数: 90 分×8 回 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室						
授業の目的、概要等 歯科衛生の変遷と、歯科衛生業務に必要な専門知識・技術の概要および基本事項を理解するとともに、歯科衛生士の主要業務や歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・技術の特徴を知る。						
授業の到達目標 ・歯科衛生の変遷を説明する。 ・歯科衛生を担う職種として、歯科衛生士の活動の場と業務内容を説明する。 ・歯科衛生業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科臨床の業務で必要となる専門知識・専門技術を説明する。 ・口腔疾患予防業務で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・歯科衛生過程の各場面で必要となる専門知識・専門技術の特徴を説明する。 ・医療における多職種連携の重要性を説明する。 ・医療における安全確保の意義と対策を概説する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/3	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生学概要	ガイダンス 歯科衛生士像	吉田 直美
2-3	1/7	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生士の変遷 歯科衛生士法	歯科衛生士の歴史 歯科衛生士の現況 歯科衛生業務の法的定義 歯科衛生士の社会的責任	吉田 直美
4-5	1/14	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生業務 医療倫理と医療安全管理	歯科衛生過程 医の倫理 患者の権利 インフォームド・コンセント 医療安全とは	吉田 直美
6-7	1/21	12:50-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	チーム医療と海外における活動 歯科衛生士の専門性	多職種連携 海外における歯科衛生士の活動 プロフェッショナル プロフェッショナルリズム	吉田 直美
8	1/28	12:50-14:20	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	振り返り	吉田 直美
成績評価の方法 ・期末試験で総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。 ・本学歯学部試験規則第 11 条(期末試験及び中間試験の受験資格)に規定された出席要件を満たさない場合、本科目の単位は認定しない。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・出席が2／3に満たない場合、単位は認定しない。出席要件を満たすように十分留意すること。						
試験の受験資格 2/3 以上の出席						

教科書

歯科衛生学総論／藤原愛子 ほか 著, 医歯薬出版, 2012

歯科医療倫理／樫則章 ほか 著, 医歯薬出版, 2014

・全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本「歯科衛生学総論」, 医歯薬出版, 2012.

参考書

歯科衛生士の臨床／E.M.ウィルキンス 著, 石川達也 校閲, 布施祐二, 眞木吉信, 松井恭平, 松崎晃 監訳, 全国歯科衛生士教育協議会 監修, 医歯薬出版, 2008

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修, 高阪利美 ほか著, 医歯薬出版, 2011

最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編, 医歯薬出版, 2007

・全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」, 医歯薬出版, 2007.

・全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」, 医歯薬出版, 2011.

・授業の際、印刷物を配布する。

備考

演習

時間割番号	022209						
科目名	メディア情報学						
担当教員	木下 淳博, 佐々木 好幸, 須永 昌代, 品田 佳世子						
開講時期	後期	対象年次	1	単位数	1		
科目名: メディア情報学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義・演習							
主な講義場所 M&D タワー 4階 図書館内 情報検索室(通常: 3階図書館入口より入館、試験時: 4階廊下からの入り口より入館)							
授業の目的、概要等 口腔保健活動および研究活動に必要なメディア情報処理、コンテンツ作成の基礎を修得し、演習を行う。							
授業の到達目標 1. 情報セキュリティ、著作権を理解して、口腔保健学に必要な情報処理を実践できる。 2. PC 上でプレゼンテーションファイル、静止画像、動画像を編集できる。 3. 表計算ソフトで簡単な集計ができる。 4. インターネットからの情報を適切に収集し、吟味できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/5	10:30-12:00	情報検索室	情報セキュリティと著作権、メディアコンテンツ作成演習 1	情報セキュリティ、著作権、フリーソフトによる静止画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	講義・協力: 情報サービス係
2	11/12	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 2	フリーソフトによる静止画像処理とパワーポイントによる動画作成演習	木下 淳博 須永 昌代	
3	11/19	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 3	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	
4	12/3	10:30-12:00	情報検索室	メディアコンテンツ作成演習 4	フリーソフトによる動画像処理演習	木下 淳博 須永 昌代	
5	12/10	10:30-12:00	情報検索室	表計算演習	エクセルによる集計、グラフ作成演習	木下 淳博 須永 昌代	
6	12/17	10:30-12:00	情報検索室	インターネット情報検索演習	インターネットからの情報の収集と吟味	佐々木 好幸	
7	1/7	10:30-12:00	情報検索室	課題発表(情報の収集と吟味)	課題発表(情報の収集と吟味)	佐々木 好幸	
8	1/21	10:30-12:00	情報検索室	試験/課題発表(動画像処理)	WebClass による試験および課題発表(動画像処理)	木下 淳博 須永 昌代 佐々木 好幸	
成績評価の方法 提出課題および最終回に行う WebClass 上での試験で総合的評価を行う。欠席して課題を提出しない場合の課題点は0点とする。							
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3分の2以上の出席							
履修上の注意事項 ・各自 USB フラッシュメモリーおよびステレオイヤホンを持参すること。							
備考 口腔保健工学専攻と合同授業							
連絡先 木下 淳博 kinoshita.emdv@tmd.ac.jp							

佐々木 好幸:sasaki.prev@tmd.ac.jp
品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp
須永 昌代:sunaga.emdv@tmd.ac.jp

オフィスアワー

木下 淳博:金 16:00-17:00 3号館5階 教育メディア開発学分野
佐々木 好幸:毎週月曜日・水曜日 17:00-19:00
品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室
須永 昌代:随時

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習						
担当教員	吉田 直美 品田 佳世子, 伊藤 奏, 足達 淑子						
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室・学外施設等							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに対人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/15	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	吉田 直美	鈴木
2-4	10/29	12:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 その他	歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイング実習	吉田 直美 品田 佳世子	鈴木
5	12/10	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	報告書作成 実習成果発表会	吉田 直美	鈴木
6-8	12/17	12:50-17:40	その他	歯科関連企業における 歯科衛生活動	カムリエ	吉田 直美	鈴木
9	1/28	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院における 歯科衛生活動 1	歯学部附属病院における実習の 事前学習	吉田 直美	鈴木
10-14	2/4	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 第1 総合診療 室	本学歯学部附属病院における 歯科衛生活動 1	歯学部附属病院外来見学実習 患者体験実習 実習報告書作成	品田 佳世子, 伊藤 奏 吉 田 直美 足 達 淑子	鈴木
成績評価の方法 ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要							
参考書 ・授業の際に紹介する。							

履修上の注意事項

・医療福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。 ・3/4 以上の出席が必要

第 2 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022210						
科目名	臨床体験実習						
担当教員	吉田 直美 中山 玲奈						
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	1～2	単位数	1		
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室・学外施設等							
授業の目的、概要等 多様な場における歯科衛生士の活動の見学体験を通して、歯科衛生士の専門性と社会的役割、専門職としての倫理観、態度、ならびに 人援助の基本を学ぶ。							
授業の到達目標 ・体験した歯科衛生士の活動の実際について説明する。 ・歯科衛生士の専門的業務と社会的役割について説明する。 ・歯科衛生士としての倫理観、態度および対人援助の基本を説明する。 ・歯科衛生士に必要な専門知識・専門技術の基本事項を概説する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/9	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション	臨床体験実習の目的、スケジュール	小原 由紀	
2-4	10/23	12:50-17:40	その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科診療所等における 歯科衛生活動	歯科医療機関におけるシャドーイ ング実習	小原 由紀 安田 昌代 近藤 圭子	
5	10/30	16:10-17:40	口腔保健 学科第2 講義室	実習成果発表	報告書作成 実習成果発表会	小原 由紀	
6-8	12/11	12:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 その他 (口腔保 健学科口 腔保健衛 生学専 攻)	歯科関連企業における 歯科衛生活動		小原 由紀	
9	1/15	14:30-16:00	口腔保健 学科第2 講義室	本学歯学部附属病院こ おける歯科衛生活動 1	歯学部附属病院における実習の 事前学習	小原 由紀	
10-14	1/29	08:50-17:40	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	本学歯学部附属病院こ おける歯科衛生活動 2	歯学部附属病院外来見学実習 患者体験実習 実習報告書作成	小原 由紀 近藤 圭子 足達 淑子	

			相互実習 室 第1 総合診療 室				
15	5/16	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者施設における歯 科衛生活動(2年生)	実習前オリエンテーション 高齢 者とのコミュニケーション	吉田 直美	鈴木
16-22	5/30	09:00-16:50	その他	高齢者施設における歯 科衛生活動	特別養護老人ホームでの実習	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
23-26	6/13	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者施設における歯 科衛生活動	実習成果発表、実習報告書の作成	吉田 直美	鈴木
27	11/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	職域における歯科衛生 活動	実習前オリエンテーション、事前 学習課題	吉田 直美	鈴木
28-35	11/21	09:00-17:50	その他	職域における歯科衛生 活動	産業歯科保健の動向	吉田 直美 荒川 真一、 中山 玲奈	鈴木
36-38	11/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	職域における歯科衛生 活動	実習成果発表	吉田 直美	鈴木
成績評価の方法 ・報告書の提出、全体発表の結果をもって、総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要							
参考書 ・授業の際に紹介する。							
履修上の注意事項 ・医療福祉の現場における実習となるため、身だしなみに注意すること。身だしなみ、実習態度が不適切な場合は、実習停止とすることがある。 ・3/4 以上の出席が必要							

時間割番号	022203					
科目名	人体の構造と機能Ⅱ					
担当教員	坂本 裕次郎 井関 祥子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
科目名: 人体の構造と機能及び疾病						
ユニット番号: 2203						
授業形態: 講義・(一部実習を含む)						
時間数: 必修 2 単位・30 時間						
科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所						
・口腔保健学科第 4 講義室(1 号館西 8 階)						
・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階)						
・解剖学実習室(3 号館 B1 階)						
授業の目的、概要等						
人体の正常な構造と機能を理解して、生命現象が営まれるメカニズムを分子レベルから個体レベルへと統合的に理解するとともに、組織および器官の発生のしくみと成長、発育、加齢の過程に伴う変化について理解する。						
授業の到達目標						
・運動器(骨格系と筋系)の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・循環器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・循環調節のしくみおよび血液の役割を説明する。						
・内分泌器の構造および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。						
・感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・呼吸器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・泌尿器系の構造と機能、尿の生成機序を説明する。						
・生体の恒常性維持機構(体温調節、体液組成および体液量の調節)を説明する。						
・生殖器の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。						
・体幹・四肢の運動器、循環器、神経系の相互関係と頭頸部へのつながりについて説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎
2	4/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎
3	4/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	骨格系と筋系	肉眼解剖学的にみた骨と筋、全身の骨格と筋の構成	坂本 裕次郎
4	4/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎
5	4/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	心臓と脈管系の構造	心臓と血管・リンパ管の組織学的構造	坂本 裕次郎
6	4/17	09:00-09:50	口腔保健 学科第4	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環器の構成	坂本 裕次郎

			講義室			
7	4/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系	肉眼解剖学的にみた全身の循環 器の構成	坂本 裕次郎
8	4/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄と神経系の基本構 造	神経系の構成、神経細胞と化学シ ナプスの構造	坂本 裕次郎
9	4/18	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄と脊髄神経	坂本 裕次郎
10	4/18	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	体幹体肢の骨格系の観 察	人体骨格標本を使って、体幹・体 肢の骨格系の特徴と頭部とのつ ながりについて	坂本 裕次郎
11	4/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
12	4/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	全身の末梢神経系	脊髄神経系と自律神経系の走行	坂本 裕次郎
13	4/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機 構	坂本 裕次郎
14	5/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環器系の機能と循環 調節	心臓と脈管系の機能とその調節機 構	坂本 裕次郎
15	5/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過 程	井関 祥子
16	5/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	内分泌系の構造と発生	内分泌器官の種類と構造、発生過 程	井関 祥子
17	5/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	血液の機能	血液の構成成分の働きと血液型	坂本 裕次郎
18	5/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の構造	呼吸器系の構成と組織構造	坂本 裕次郎
19	5/29	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	体幹体肢の骨格系の観 察	人体骨格標本を使って、体幹・体 肢の骨格系の特徴と頭部とのつ ながりについて	坂本 裕次郎
20	6/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の働き	呼吸運動、ガス交換のしくみ、呼 吸調節、肺気量の分画	坂本 裕次郎
21	6/12	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の発生	神経系の発生過程とその機構	井関 祥子

22	6/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	呼吸器系の発生	呼吸器系の発生過程とその機構	井関 祥子
23	6/26	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子
24	6/26	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	泌尿器系の構造と発生	泌尿器系の構造と発生のしくみ	井関 祥子
25	7/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	体温調節	発汗、体温調節機構	坂本 裕次郎
26	7/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	尿の生成と体液の調節	尿生成のメカニズム、排尿、体液 量および体液組成の調節	坂本 裕次郎
27	7/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎
28	7/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	生殖器の構造と発生	生殖器の構造と発生のしくみ	坂本 裕次郎
29	7/23	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系 の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎
30	7/23	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	脊髄神経系・自律神経 系・脈管系と周囲の構造	体幹・体肢の末梢神経系・脈管系 の総括と頭頸部とのつながり	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・1 年次開講の「人体の構造と機能Ⅰ」と一連の授業であることを理解しておくこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

参考書

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2010
分担解剖学 第 1 巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第 11 版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリオ、オガワテイゾウ、オウチヒロム、：金原出版、1982-02-20

分担解剖学 第 2 巻 脈管学・神経系 改訂第 11 版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトミチオ、：金原出版、1983-02-10

分担解剖学 第 3 巻 感覚器学・内臓学 改訂第 11 版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オガワテイゾウ、ヤマダエイチ、ヨウロウタケシ、：金原出版、1982-02-20

標準組織学総論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、：医学書院、2015

標準組織学各論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、：医学書院、2017

標準生理学／小澤静司、福田康一郎 監修、本間研一、大森治紀、大橋俊夫、河合康明、黒澤美枝子、鯉淵典之、伊佐正 編集、：医学書院、2014

ラングマン人体発生学／T.W.サドラー 著、安田峯生、山田重人 訳、：メディカル・サイエンス・インターナショナル、2016

解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編、：医歯薬出版、1996

生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、1995

履修上の注意事項 ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。
連絡先 坂本 裕次郎 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp 井関 祥子 s.iseki.emb@tmd.ac.jp
オフィスアワー 坂本 裕次郎 随時 1号館西8階 井関 祥子 随時（必ず事前に連絡すること）

時間割番号	022211						
科目名	科学英語 I						
担当教員	品田 佳世子, 關 奈央子, JANELLE RENEE MOROSS						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1		
科目名: 科学英語 I 時間数: 15 時間 授業形態: 講義(英会話および e-learning 含む)							
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 ・口腔保健に関連する基本的英語表現を修得する。 ・口腔保健に関して、英語で対応するための基礎的能力を身につける。							
授業の到達目標 ・口腔保健関連の専門用語を英語で表現する。 ・英会話で、予約対応、医療面接の補助等を行うための基礎を学ぶ。 ・英語で歯科疾患について説明できるための基礎を学ぶ。 ・英語でブラッシング、フッ化物の応用、シーラントを説明するための基礎を学ぶ。 ・歯科、口腔保健関連の英文を読解し、内容を理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/27	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Health snacks for teeth	Health snacks for teeth	品田 佳世子	演習: 英文を読んで和訳 予習必須
2	5/27	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Toothbrush and brushing, Tooth designating system	Toothbrush and brushing, Tooth designating system	品田 佳世子	演習: 英文を読んで和訳 予習必須
3	6/3	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Making an appointment, emergency appointment	Making an appointment, emergency appointment	關 奈央子, Janelle Renee Moross	演習: 英会話、予 習必須
4	6/3	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	First aid steps for a knocked-out tooth,	First aid steps for a knocked-out tooth,	品田 佳世子	演習: 英文を読んで和訳 予習必須
5	6/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Asking the patient to describe symptoms, Asking the medical history	Asking the patient to describe symptoms, Asking the medical history	關 奈央子, Janelle Renee Moross	演習: 英会話、予 習必須
6	6/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Tobacco and oral health	Tobacco and oral health	品田 佳世子	演習: 英文を読んで和訳 予習必須
7	6/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Periodontal disease	Periodontal disease	Janelle Renee Moross, 關 奈央子	演習: 英会話、予 習必須
8	6/17	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Bleeding and swollen gums during pregnancy(pregnancy gingivitis)	Bleeding and swollen gums during pregnancy(pregnancy gingivitis)	品田 佳世子	演習: 英文を読んで和訳 予習必須
9	6/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第4	Tooth brushing instructions	Tooth brushing instructions	Janelle Renee Moross, 關	演習: 英会話、予 習必須

			講義室			奈央子	
10	6/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	Why Sealants? Fluoride: How does it work?	Why Sealants? Fluoride: How does it work?	品田 佳世子	演習: 英文を読ん で和訳 予習必 須
11	7/1	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	Post operative instructions	Post operative instructions	品田 佳世子	演習: 英文を読ん で和訳 予習必 須
12	7/1	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔保健に関する学術 論文	口腔保健に関する学術論文	品田 佳世子	演習: 英文を読ん で和訳 予習必 須
13	7/8	13:00-13:50	情報検索 室	医療面接、口腔衛生指 導等に関する e-learning	医療面接、口腔衛生指導等に関す る e-learning	關 奈央子	演習: e-learning
14	7/8	14:00-14:50	情報検索 室	医療面接、口腔衛生指 導等に関する e-learning	医療面接、口腔衛生指導等に関す る e-learning	關 奈央子	演習: e-learning
15	7/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔保健に関する学術 論文	口腔保健に関する学術論文	品田 佳世子	演習: 英文を読ん で和訳 予習必 須

成績評価の方法

- ・期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度、英語によるロールプレイの状況を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・教科書や事前に配布された資料中の単語を調べ、声を出して読んで、予習をしておくこと。
- ・単語のテストの範囲を事前に知らせるので、学習しておくこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席していること。

教科書

歯科英語／Thomas R Ward, 川口陽子, 廣瀬浩二, 杉田めぐみ 著, 医歯薬出版, 2013

参考書

丸ごと覚える歯科臨床英会話フレーズ集 川口陽子 監修・著 クインテッセンス出版

TMDU 臨床トレーニングシリーズ 英語医療面接教材: 56yo Female pain, 他9本 關奈央子、須永昌代、福井雄二、ジャーナル・モロス、樺沢勇司、木下淳博 著 東京大学出版会

備考

担当(6時間)教員: 關 奈央子 統合国際機構
Janelle Moross 統合国際機構

連絡先

品田 佳世子: shinada.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

品田 佳世子: 月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022212						
科目名	科学英語Ⅱ						
担当教員	荒川 真一, 矢口 雅江						
開講時期	後期	対象年次	2		単位数	1	
科目名: 科学英語Ⅱ 時間数: 15 時間 授業形態: 講義・発表・討論							
主な講義場所 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 ・口腔保健に関連する科学論文を検索でき、実際に読み内容を理解する能力を身につける。 ・研究に関して、英語で発表できる能力を身につける。							
授業の到達目標 ・英文科学論文の文献検索ができる。 ・口腔保健関連の英語の専門用語を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を理解できる。 ・口腔保健関連英文科学論文の内容を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英文論文の種類・構成 について	様々な英文論文の種類について説明する。英文論文の構成について概説する。これにより、いかに英文論文を読むかを体得する。	荒川 真一, 矢口 雅江	
4-6	10/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	論文検索の方法及び抄読論文の選択	献検索の方法を学ぶ。次回から読む論文を選択する。	荒川 真一, 矢口 雅江	PCを持参すること。班別または、個人ごとで選定する。
7-9	11/1	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読	全身疾患と歯周病など口腔保健関連論文の紹介、読解	荒川 真一, 矢口 雅江	PCを持参すること。
10-12	11/8	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	英語論文抄読・抄読の発表の準備 抄読の継続	次回論文内容を紹介すが、その準備を行う。	荒川 真一, 矢口 雅江	PCを持参すること。
13-15	12/5	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	抄読の発表	抄読の発表 論文内容を発表する	荒川 真一, 矢口 雅江	PCを持参すること。
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、発表等で総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示 あらかじめ配布された英文論文を読み、内容(当該研究の目的・方法・討論)を理解するよう努力する。Abstract を読み内容的に門外漢であった場合は、Introduntion で研究の背景を勉強しておく。							
参考書 英和辞典、PC(文献検索に使用)							
履修上の注意事項 科学論文の種類解説、文献検索の方法、実際に各自(各グループ)で興味のあるテーマについて文献を検索し、当該論文を抄読する。その結果を発表し、評価する。							

備考

- ・英語の辞書(電子辞書)、PC(文献検索に使用)等を持参すること。
- ・事前に配布された論文中のわからない単語を調べ、予習しておくこと。
- ・英文論文を抄読し、発表後、内容について討論する。

時間割番号	022214					
科目名	歯・口腔の構造と機能					
担当教員	坂本 裕次郎					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4	
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2204 授業形態: 講義・(一部実習を含む) 時間数: 必修 4 単位・60 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所 ・口腔保健学科第4 講義室(1 号館西 8 階) ・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階)						
授業の目的、概要等 顎・顔面・口腔領域の組織、器官の構造と機能および分子的基盤を学ぶとともに、それらの発生と成長について学び、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との関連について理解を深める。						
授業の到達目標 ・ 顎顔面と口腔諸器官の構造および発生と成長について説明する。 ・ 歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・ 歯の分類と表記方法について説明する。 ・ 末梢神経系および中枢神経系の構造と機能およびその発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 感覚器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 脳神経の支配様式と働きについて説明する。 ・ 消化器系の構造と機能および発生と成長に伴う変化を説明する。 ・ 唾液線の構造と分泌機構および唾液の成分とその作用について説明する。 ・ 歯と歯周組織の形態と構成成分ならびに機能について説明する。 ・ 歯と歯周組織の発生、成長過程を説明する。 ・ 脳の構造と上行性・下行性伝導路について説明する。 ・ 口腔領域の体性感覚器・味覚器官の構造と働きおよび発生と成長について説明する。 ・ 下顎反射のしくみとその役割について説明する。 ・ 咀嚼運動の神経機構と嚥下・吸引・嘔吐反射のしくみを説明する。 ・ 発声・構音のしくみを説明する。 ・ 口腔諸器官(歯・歯周組織・唾液線を含む)の機能と全身の正常機能とを関連づける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔諸器官の総論	口腔～咽頭の構造と機能の基礎 知識、歯と歯周組織の構成要素	坂本 裕次郎
2	4/10	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と歯列の総論	歯の種類と記号・方向用語、歯列 と咬合の基礎知識	坂本 裕次郎
3	5/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系の構成	脳の基本構成と脳脊髄膜と脳室系	坂本 裕次郎
4	5/7	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎
5	5/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	脳神経	脳神経系の構成と基本走行	坂本 裕次郎

6	5/9	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎
7	5/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感覚器系の構造	感覚器の構造および感覚伝導路 の基本	坂本 裕次郎
8	5/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	興奮伝導・興奮伝達のしくみ、神経 伝達物質の働き	坂本 裕次郎
9	5/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	末梢神経系の働き、脊髄の働きと 脊髄反射	坂本 裕次郎
10	5/16	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	一般体性感覚、内臓感 覚	一般体性感覚、内臓感覚	坂本 裕次郎
11	5/16	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と 機能	坂本 裕次郎
12	5/16	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	特殊感覚	視覚、聴覚、平衡感覚の伝導路と 機能	坂本 裕次郎
13	5/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化器系総論	消化器系の全体像と発生および 基本構造	坂本 裕次郎
14	5/23	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
15	5/23	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
16	5/23	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜・舌・唾液腺	口腔粘膜・舌・唾液腺の構造	坂本 裕次郎
17	5/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口蓋、咽頭、喉頭	口蓋・咽頭・喉頭の構造	坂本 裕次郎
18	5/24	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	食道、胃腸	食道、胃、小腸、大腸の構造	坂本 裕次郎
19	5/24	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	肝臓、膵	肝臓、胆のう、膵臓の構造	坂本 裕次郎
20	5/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎顔面領域の発生	顎顔面領域の初期発生	坂本 裕次郎
21	6/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 1	硬組織形成前までの歯胚の発生 過程	坂本 裕次郎

22	6/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 2	象牙質・歯髄複合体の形成機構	坂本 裕次郎
23	6/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の発生 3	エナメル質の形成機構	坂本 裕次郎
24	6/6	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の形成機構	歯周組織の形成機構	坂本 裕次郎
25	6/19	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の 組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観 察	坂本 裕次郎
26	6/19	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔領域の消化器系の 組織観察	口唇・舌・扁桃・唾液腺の顕微鏡観 察	坂本 裕次郎
27	6/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	象牙質・歯髄複合体	象牙質・歯髄複合体の構造と象牙 質の成長線	坂本 裕次郎
28	6/20	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	エナメル質	エナメル質の構造と成長線	坂本 裕次郎
29	7/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織	歯周組織の構造	坂本 裕次郎
30	7/3	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎
31	7/3	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	顔面の発生・歯の発生 の組織像	顔面の発生、初期歯胚、硬組織形 成期歯胚の顕微鏡観察	坂本 裕次郎
32	7/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯列形成と歯の萌出と 交換	歯列と咬合の形成と歯の萌出と交 換のしくみ	坂本 裕次郎
33	7/31	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の 顕微鏡観察	坂本 裕次郎
34	7/31	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯と歯周組織の組織像	象牙質・エナメル質・歯周組織の 顕微鏡観察	坂本 裕次郎
35	7/31	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	中間まとめ	ここまでのまとめ	坂本 裕次郎

36	11/5	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎
37	11/5	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	中枢神経系の外景と内景	坂本 裕次郎
38	11/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系	上行性・下行性伝導路	坂本 裕次郎
39	12/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	神経系の働き	脳(大脳皮質、大脳辺縁系、間脳、 小脳、脳幹等)の働き	坂本 裕次郎
40	12/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	記憶・学習・情動行動	記憶・学習・情動行動のしくみ	坂本 裕次郎
41	12/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎
42	12/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	歯と口腔の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎
43	12/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎
44	12/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯と口腔の神経	口腔の自律神経系	坂本 裕次郎
45	12/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜感覚	口腔粘膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎
46	12/19	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄感覚・歯根膜感覚	歯髄感覚・歯根膜感覚のしくみ	坂本 裕次郎
47	12/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の分泌機構	坂本 裕次郎
48	12/19	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺の機能	唾液の性状・成分・生理作用	坂本 裕次郎
49	1/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎
50	1/7	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	味覚・嗅覚	味覚と嗅覚のしくみ	坂本 裕次郎
51	1/7	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	顎関節の感覚をつかさどる神経	坂本 裕次郎

52	1/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	咀嚼運動の制御機構	坂本 裕次郎
53	1/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	咀嚼運動	口蓋と咽頭のつながり	坂本 裕次郎
54	1/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	下顎反射、嚥下、吸引、 嘔吐	開口反射と閉口反射のしくみ、嚥 下、吸引、嘔吐のしくみ	坂本 裕次郎
55	1/14	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	発声と構音	発声のしくみと構音	坂本 裕次郎
56	1/14	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化管運動のしくみ	坂本 裕次郎
57	1/17	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	消化液の成分と作用および分泌 調節	坂本 裕次郎
58	1/17	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	消化と吸収	栄養素の消化と吸収および排便 反射のしくみ	坂本 裕次郎
59	1/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	基礎科学実習との関連について	坂本 裕次郎
60	2/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	総まとめ	総まとめ	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。
- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、井出、吉信、1947-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2011

人体の構造と機能／前田健康、山田好秋 ほか著、前田、健康、1959-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会、：医歯薬出版、2010

Ten Cate 口腔組織学／Ten Cate [原著]、Antonio Nanci 編著、川崎堅三 監訳、Ten Cate, Arnold Richard、Nanci, Antonio、川崎、堅三、1942-、：医歯薬出版、2006

分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興、岡本道雄、ヒラサワコウ、オカモトミチオ、：金原出版、1983-02-10

分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三、山田英智、養老孟司、オカワテイゾウ、ヤマダエイイチ、ヨウロウケン、：金原出版、1982-02-20

基礎歯科生理学／森本俊文、山田好秋、二ノ宮裕三、岩田幸一 編、森本、俊文、1939-、山田、好秋、1949-、二ノ宮、裕三、：医歯薬出版、2014

標準組織学各論／藤田尚男、藤田恒夫 原著、藤田、尚男、1928-2014、藤田、恒夫、1929-2012、岩永、敏彦、1954-、石村、和敬、1949-、：医学書院、2017

標準生理学／小澤澗司, 福田康一郎 監修, 本間研一, 大森治紀, 大橋俊夫, 河合康明, 黒澤美枝子, 鯉淵典之, 伊佐正 編集, 小澤, 澗司, 福田, 康一郎, 本間, 研一, 1946-, 大森, 治紀, 1950-, 大橋, 俊夫, 1949-, : 医学書院, 2014 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編 全国歯科衛生士教育協議会, : 医歯薬出版, 1996 生理学／全国歯科衛生士教育協議会 編 全国歯科衛生士教育協議会, : 医歯薬出版, 1995
履修上の注意事項 ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。
備考
連絡先 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時 1号館西8階

時間割番号	022215					
科目名	歯の形態学					
担当教員	坂本 裕次郎					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 歯・口腔の構造と機能 ユニット番号: 2205 授業形態: 講義・実習 時間数: 必須 1 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所 ・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階) ・口腔保健学科第 4 講義室(1 号館西 8 階) ・解剖学実習室(3 号館 B1 階)						
授業の目的、概要等 歯の種類と形態的特徴および役割、頭蓋と顎関節および頭頸部の諸器官の構造を互いに関連付けて学び、歯と口腔の役割を包括的に理解するとともに、顎・顔面・口腔領域の健康と全身の健康との相互関係について理解を深める。						
授業の到達目標 ・ 口腔の構造とはたらきについて説明する。 ・ 歯と歯周組織の構成要素ならびに役割について説明する。 ・ 歯と歯列の方向用語、歯の形態を表す用語について説明する。 ・ 歯の分類と表記方法について説明する。 ・ 永久歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 永久歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 乳歯の種類ごとに歯冠と歯根の形態について説明する。 ・ 乳歯の種類と上下左右の区別について説明する。 ・ 歯の形態について立体的に表現する。 ・ 頭蓋を構成する骨の種類と形態および顎関節の構造について説明する。 ・ 頭頸部の筋の種類と起始・停止、支配神経と作用を説明する。 ・ 頭頸部の動・静脈、リンパ系について説明する。 ・ ヒトの歯の形態と顎運動を互いに関連付けて説明する。 ・ 口腔諸器官の機能と全身の正常機能とを関連づける。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎
2	4/11	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	切歯・犬歯・小臼歯の形態	坂本 裕次郎
3	4/17	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
4	4/17	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 1	切歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎
5	4/18	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎

			科学実習 室				
6	4/18	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 2	犬歯と小臼歯のスケッチと形態形 成	坂本 裕次郎	
7	4/24	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	大臼歯の形態	坂本 裕次郎	
8	4/24	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎	
9	4/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	乳歯の解剖学	乳切歯・乳犬歯・乳臼歯の形態	坂本 裕次郎	
10	4/25	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎	
11	4/25	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎	
12	4/25	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 3	小臼歯と大臼歯のスケッチと形態 形成	坂本 裕次郎	
13	5/9	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 4	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	
14	5/9	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	歯の形態 4	大臼歯のスケッチと形態形成	坂本 裕次郎	
15	5/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	永久歯の解剖学	永久歯のまとめ	坂本 裕次郎	
16	10/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋の外景・内景	坂本 裕次郎	
17	11/12	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋の外景・内景の観察	坂本 裕次郎	
18	11/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈 1	坂本 裕次郎	

19	11/19	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋の外景・内景の観察	坂本 裕次郎
20	11/26	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭蓋	頭蓋を構成する骨	坂本 裕次郎
21	11/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の脈管系	頭頸部の動・静脈2、リンパ管・リンパ節	坂本 裕次郎
22	11/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	表情筋・咀嚼筋・浅頸筋・外側頸筋	坂本 裕次郎
23	11/27	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	頭蓋	頭蓋を構成する骨の観察	坂本 裕次郎
24	12/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部の筋系と頸筋膜	前頸筋(舌骨上筋、舌骨下筋)・後頸筋、頸筋膜	坂本 裕次郎
25	12/12	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎
26	12/12	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎関節と顎運動	顎関節の構造と機能および顎運動	坂本 裕次郎
27	1/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の解説	見学実習・基礎科学実習との関連	坂本 裕次郎
28	1/24	13:00-13:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎
29	1/24	14:00-14:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎
30	1/24	15:00-15:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部を中心とした局所解剖観察	坂本 裕次郎

成績評価の方法

- ・授業は講義と実習を合わせて行い、期末の客観試験、論述試験および実習内容で総合的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、提出物、授業態度等も総合的評価に加える。
- ・前期と後期での講義の評価と実技の評価を総合して年間評価するが、原則として前期と後期に講義と実技のそれぞれに合格しなくてはならない。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に講義と実技を評価するので、前期と後期それぞれに講義と実技での受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

歯・口腔の構造と機能：口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学／全国歯科衛生士教育協議会 監修、井出吉信、山田好秋 ほか著、井出、吉信、1947-、山田、好秋、1949-、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2011

歯の解剖学／藤田恒太郎 原著、藤田、恒太郎、1903-1965、桐野、忠大、1915-、山下、靖雄、1945-、金原出版、1996

分担解剖学 第1巻 総説・骨学・靱帯学・筋学 改訂第11版／森於菟、小川鼎三、大内弘 ほか、モリオ、オガワ、テイゾウ、オウチヒロム、金原出版、

1982-02-20 分担解剖学 第2巻 脈管学・神経系 改訂第11版／平沢興,岡本道雄,ヒラサワコウ,オカモトミチオ,:金原出版, 1983-02-10 分担解剖学 第3巻 感覚器学・内臓学 改訂第11版／小川鼎三,山田英智,養老孟司,オカワテイゾウ,ヤマダエイチ,ヨウロウタケシ,:金原出版, 1982-02-20 解剖学・組織発生学・口腔解剖学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 1996
履修上の注意事項 ・実習室で行われる授業では白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室で行われる授業では、白衣と上履を着用するほか、臨床系実習と同様のゴム手袋(グローブ)やマスク等を着用すること。
連絡先 y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 随時 1号館西8階

時間割番号	022216					
科目名	口腔保健衛生基礎科学					
担当教員	坂本 裕次郎, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂, 青木 和広, 田村 幸彦, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1	
科目名:口腔保健衛生基礎科学 ユニット番号:2206 授業形態:実習 対象年次:2 年・編入 3 年 時間数:必修 1 単位・30 時間 科目責任者・ユニット責任者:坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所 ・口腔保健学科基礎科学実習室(1 号館西 7 階) ・解剖学実習室(3 号館 B1 階) ・上記以外の場所で行う実習項目があるので事前に確認すること。						
授業の目的、概要等 人体の構造と機能及び疾病、歯・口腔の構造と機能、疾病の成り立ちと回復過程の促進などの講義で学習した内容について、実習を通して理解を深める。						
授業の到達目標 ・人体の筋、神経系および主要器官を観察して特徴を説明する。(2 年生対象) ・人体の主要器官の組織標本を観察して特徴を説明する。 ・細菌の分離培養とその細菌の鑑別を行う。 ・組織標本の切片作製と染色を行い、光学顕微鏡観察の意義について説明する。 ・咀嚼その他の各種の運動と筋の働きの検査を行い、筋の種類と働きについて説明する。 ・味覚および体性感覚の感覚検査を行い、感覚のしくみについて説明する。 ・中枢神経に作用する薬物とくに麻酔薬の作用と ED50 について理解する。 ・蛍光色素等の硬組織内への沈着を観察し、硬組織の成長・発育過程を説明する。 ・う蝕および歯周病のリスクおよびその予防法について説明する。(編入生対象) ・口臭の測定や口腔内状況を観察し、口臭の発生や予防について説明する。(編入生対象) ・歯科で用いられる生体材料の基本的な操作法を説明する。(編入生対象)						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	6/21	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察 1	坂本 裕次郎
2	6/21	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察 1	坂本 裕次郎
3	6/21	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 1	組織標本作製(組織切片の作製) と組織標本の顕微鏡観察 1	坂本 裕次郎
4	7/10	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂

5	7/10	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂
6	7/10	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	細菌学実習	細菌標本の作製と観察	鈴木 敏彦, 芦田 浩, 鈴木 志穂
7	7/17	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
8	7/17	10:00-10:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
9	7/17	11:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 2	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 2	坂本 裕次郎
10	7/24	13:00-13:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
11	7/24	14:00-14:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
12	7/24	15:00-15:50	解剖学実 習室	肉眼解剖学見学実習	解剖体を使って、頭頸部以外を中 心にした観察	坂本 裕次郎
13	7/25	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖組織実習 3	組織標本作製(組織切片の染色) と顕微鏡観察 3	坂本 裕次郎
14	1/16	09:00-09:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習	解剖と機能の実習の予告説明	坂本 裕次郎
15	1/27	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測 定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検 査(下顎運動の測定)、3 運動機能 検査(咀嚼・その他の運動と機能 検査)	水口 俊介, 坂本 裕次 郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 上 野 俊明, 中禮 宏
16	1/27	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測 定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検 査(下顎運動の測定)、3 運動機能 検査(咀嚼・その他の運動と機能 検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊 介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上 野 俊明, 中禮 宏
17	1/27	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測 定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検 査(下顎運動の測定)、3 運動機能 検査(咀嚼・その他の運動と機能 検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊 介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上 野 俊明, 中禮 宏

18	1/27	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏
19	1/31	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	全身麻酔薬の作用、アップダウン法による ED50 の検討	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆
20	1/31	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	全身麻酔薬の作用、アップダウン法による ED50 の検討	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆
21	1/31	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	全身麻酔薬の作用、アップダウン法による ED50 の検討	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆
22	1/31	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 1	全身麻酔薬の作用、アップダウン法による ED50 の検討	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆
23	2/3	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	水口 俊介, 坂本 裕次郎, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏
24	2/3	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏
25	2/3	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏
26	2/3	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	解剖と機能の実習 1～3	1 感覚機能検査(皮膚感覚の測定・味覚閾値測定)、2 咀嚼機能検査(下顎運動の測定)、3 運動機能検査(咀嚼・その他の運動と機能検査)	坂本 裕次郎, 水口 俊介, 駒ヶ嶺 友梨子, 上野 俊明, 中禮 宏
27	2/7	13:00-13:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	硬組織内時刻描記法による象牙質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆
28	2/7	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	硬組織内時刻描記法による象牙質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広, 田村 幸彦, 菅森 泰隆

29	2/7	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	硬組織内時刻描記法による象牙 質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広、田村 幸 彦、菅森 泰隆	
30	2/7	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	薬理学実習 2	硬組織内時刻描記法による象牙 質、骨の成長方向、骨形成の観察 骨吸収抑制薬の作用を観察	青木 和広、田村 幸 彦、菅森 泰隆	
成績評価の方法 ・出席状況、実習態度、提出レポート等で総合的評価を行う。 ・各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとの評価を総合して評価するが、原則としてそれぞれに合格しなくてはならない。							
準備学習などについての具体的な指示 ・基礎歯科学系の講義で学習した内容を復習して、実習内容との関連性を確認しておくこと。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、配付された実習書等を読み、関連知識を予習しておくこと。							
試験の受験資格 各基礎系ユニットに該当する実習項目ごとに評価するので、原則としてそれぞれに出席を満たさなくてはならない。							
参考書 ・基礎歯科学系各ユニットの参考書欄を参照。							
履修上の注意事項 ・実習室では、必ず白衣とネームプレートを着用すること。 ・解剖学実習室では、白衣とネームプレートのほかに、上履きを着用するほか、手袋(臨床系実習と同様のグローブ)やマスク等を着用すること。 ・編入生の実施日時は、編入生の履修時間割を確認して、夏季・冬季休暇なども含めて実施可能などに行う。							
備考 ・編入生が時間割の都合上、2 年生と同じ授業時間に実習できない項目は、担当教員と相談して日時を決めること。 ・編入生だけが対象の到達目標に該当する内容の実習は、2 年生に対しては別ユニットの授業で実施されている。							
連絡先 坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsos@tmd.ac.jp 鈴木 敏彦:suzuki.bact@tmd.ac.jp 水口 俊介:s.minakuchi.gerd@tmd.ac.jp 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp 上野 俊明:tueno.spm@tmd.ac.jp 田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 坂本 裕次郎:随時 1 号館西 8 階 鈴木 敏彦:月～金 17:00-19:00 M&D タワー8 階南 細菌感染制御学分野教員室 水口 俊介:随時 青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2 号館 2 階 217 号室(口腔基礎工学分野) 上野 俊明:月・木 16:00-17:00 田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MD タワー7 階北 研究室(N713) 事前にメールなどで御連絡下さい。							

時間割番号	022218					
科目名	病理学総論					
担当教員	坂本 裕次郎 池田 通 栢森 高					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等						
全疾患を先天異常、細胞・組織傷害(代謝障害、退行性病変)、増殖と修復、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍に分類してそれぞれの病因と細胞・組織変化を概説する。						
授業の到達目標						
疾患を医学的な目で見、医学的な見地からとらえることができるようになり、分類ごとの病因論と細胞・組織変化の基礎を理解している。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	病理学序論	病理学の歴史	栢森 高
2	4/9	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	病理学序論	病因論	栢森 高
3	4/16	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	栢森 高
4	4/16	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	遺伝性疾患	染色体異常、遺伝子異常、奇形	栢森 高
5	4/23	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	代謝障害	代謝障害、退行性病変	栢森 高
6	4/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	代謝障害	代謝障害、退行性病変	栢森 高
7	5/7	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	増殖と修復	再生と修復	栢森 高
8	5/7	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	増殖と修復	進行性病変、創傷治癒	栢森 高
9	5/14	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環障害	循環障害	栢森 高
10	5/14	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	循環障害	循環障害	栢森 高
11	5/21	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	炎症	炎症、感染症	栢森 高
12	5/21	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	炎症	炎症、感染症	栢森 高

13	5/28	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫異常	免疫学の基礎	池田 通	
14	5/28	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍総論	腫瘍の発生機序	池田 通	
15	6/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	腫瘍総論	腫瘍の分類と特徴	池田 通	
成績評価の方法 ・授業への取り組みと筆記試験の得点に基づき、評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。							
教科書 病理学・口腔病理学／仙波伊知郎, 高田隆 ほか 著, 医歯薬出版, 2012							
参考書 系統看護学講座 疾病のなりたちと回復の促進[1] 病理学／大橋健一、谷澤 徹 ほか著, 医学書院, 2015 シンプル病理学／笹野公伸, 岡田保典, 安井弥 編集, 南江堂, 2015							
履修上の注意事項 正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。							
参照ホームページ ・日本病理学会 病理コア画像 http://pathology.or.jp/corepictures2010/index.html							
連絡先 坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp 池田 通 tohrupth.mpa@tmd.ac.jp 栢森 高 kayamori.mpa@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 坂本 裕次郎 随時 1号館西8階 池田 通 毎週月、金曜日 PM.16:00-17:00 1号館東4階口腔病理学分野教授室 栢森 高 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室							

時間割番号	022219					
科目名	病原微生物と生体防御					
担当教員	坂本 裕次郎, 永井 重徳, 鈴木 敏彦, 芦田 浩, 砂川 光宏, 礪波 健一					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	2	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進						
ユニット番号: 2208						
授業形態: 講義						
時間数: 必須 2 単位・30 時間						
科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・坂本 裕次郎						
主な講義場所						
口腔保健学科 第 4 講義室						
授業の目的、概要等						
病原微生物の特徴と病原性、口腔および全身の感染症の病因と感染成立の機序および生体の防御反応のしくみについて理解し、その理解に基づく感染予防の方法ならびに実際の対処法を理解する。						
授業の到達目標						
・細菌、ウィルス等による感染について、微生物の病原性を構造、機能、遺伝的因子から理解する。 ・感染の予防と治療の基礎を微生物の特性に着眼して理解する。 ・病原微生物の分類と病原性について説明する。 ・口腔細菌の特徴と病原性について説明する。 ・免疫獲得と免疫寛容の機構および免疫疾患の病因・病態について説明する。 ・病原微生物や様々な外来刺激に対する生態の防御系を説明する。 ・疼痛の病因・病態について説明する。 ・顎・顔面・口腔領域の神経痛の病因・病態について説明する。 ・歯科医療現場で遭遇する感染症について説明する。 ・感染予防の方法と限界について説明する。 ・医療現場における安全対策について説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫概論	免疫システムとは、自己寛容	永井 重徳
2	5/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	免疫担当細胞	免疫担当細胞	永井 重徳
3	6/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	自然免疫	食細胞、抗体、補体、自然免疫	永井 重徳
4	6/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 1	細胞性免疫、エフェクター細胞	永井 重徳
5	6/19	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	適応免疫 2	液性免疫、免疫記憶、ワクチン	永井 重徳
6	6/26	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	アレルギー	過敏症、自己免疫	永井 重徳
7	7/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 1	感染症の歴史	鈴木 敏彦

8	7/1	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 2	微生物の多様性と分類	鈴木 敏彦
9	7/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 3	微生物の構造	鈴木 敏彦
10	7/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	微生物学総論 4	微生物の増殖	鈴木 敏彦
11	7/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と発症 1	感染経路	鈴木 敏彦
12	7/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染と発症 2	ワクチンと病原性	鈴木 敏彦
13	7/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 1	化学療法	芦田 浩
14	7/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 2	化学療法と薬剤耐性	芦田 浩
15	7/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	化学療法と滅菌・消毒 3	滅菌と消毒	芦田 浩
16	7/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 1	グラム陽性菌	鈴木 敏彦
17	7/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 2	グラム陰性菌	鈴木 敏彦
18	7/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	細菌学各論 3	その他の細菌	鈴木 敏彦
19	7/31	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔微生物 1	口腔内フローラ	鈴木 敏彦
20	7/31	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔微生物 2	口腔微生物と疾患	鈴木 敏彦
21	7/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ウイルス学各論	ウイルスと感染症	鈴木 敏彦
22	1/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎・顔面領域の疼痛	脳神経と顎・顔面領域の疼痛の 原因と機序	坂本 裕次郎
23	1/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原 因と機序	坂本 裕次郎

24	1/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	礪波 健一
25	1/21	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	安全対策	歯科医療現場における安全対策	礪波 健一
26	1/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇する おもな感染症	砂川 光宏
27	1/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科医療と感染症	歯科医療現場において遭遇する おもな感染症	砂川 光宏
28	1/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	疼痛総論	疼痛の概念と分類、疼痛発生の原 因と機序	坂本 裕次郎
29	2/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防 法の実際	砂川 光宏
30	2/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防の方法	歯科医療現場における感染予防 法の実際	砂川 光宏

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・随時の演習、小テスト等で形成的評価を行い、出席状況、授業態度等も総括的評価に加える。
- ・前期評価と後期評価を総合して年間評価とするが、原則として前期と後期それぞれに合格しなくてはならない。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

- ・前期末と後期末に評価するので、前期と後期それぞれに受験資格を満たさなくてはならない。

参考書

微生物学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2／木村重信 ほか著、木村、重信、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2011
 微生物学／梅本俊夫、奥田克爾、中山浩次、三宅洋一郎 著、梅本、俊夫、1939-、奥田、克爾、1943-、中山、浩次、全国歯科衛生士教育協議会：医歯薬出版、2007
 標準微生物学／中込治、神谷茂 編集、中込、治、神谷、茂、1952-、医学書院、2015
 からだをまもる免疫のふしぎ／日本免疫学会編集、日本免疫学会、石川、ともこ、羊土社、2008-05

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
 鈴木 敏彦 suzuki.bact@tmd.ac.jp
 砂川 光宏 m.sunakawa.endo@tmd.ac.jp
 礪波 健一 ken1.gend@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階
 鈴木 敏彦 月～金 17:00-19:00 M&D タワー8階南 細菌感染制御学分野教員室
 砂川 光宏 随時(必ず事前に連絡を入れること)
 礪波 健一 毎週水曜日 16:00-18:00 10号館2階総合診療歯科学準教授・講師室

時間割番号	022220					
科目名	口腔病理学					
担当教員	坂本 裕次郎, 池田 通, 坂本 啓, 栢森 高					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等 顎口腔領域の疾患の病理学的分類および病因と病態に関する基本的知識を理解するために、正常と異常との機能的、形態的違いに特に注目して概説する。						
授業の到達目標 ・顎口腔領域の疾患を病理学的に分類し、それぞれについて理解している。 ・顎口腔領域疾患による病理形態学的な変化に関する基礎知識を身につけている。 ・顎口腔領域の主な疾患について臨床症状を含めて病理学的に概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/2	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	坂本 啓
2	10/2	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯の異常	歯の発育異常、歯の損傷と付着物	坂本 啓
3	10/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	齲蝕	齲蝕の病因と組織変化	坂本 啓
4	10/9	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	齲蝕	齲蝕の病因と組織変化	坂本 啓
5	10/16	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄炎、根尖性歯周炎	歯髄炎、根尖性歯周炎の種類と組織変化	坂本 啓
6	10/16	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄炎、根尖性歯周炎	歯髄炎、根尖性歯周炎の種類と組織変化	坂本 啓
7	10/23	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周炎	歯周病の原因と組織変化	池田 通
8	10/23	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周炎	歯周病の原因と組織変化	池田 通
9	10/30	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の発育異常、嚢胞	口腔領域の発育異常 歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞	池田 通
10	10/30	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の発育異常、嚢胞	口腔領域の発育異常 歯原性嚢胞、非歯原性嚢胞	池田 通
11	11/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	栢森 高

12	11/6	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔粘膜疾患	口腔粘膜疾患の種類と組織変化	栢森 高
13	11/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の腫瘍、顎骨病変	口腔の腫瘍 顎骨・唾液腺の腫瘍性、炎症性疾患	栢森 高
14	11/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔の腫瘍、顎骨病変	口腔の腫瘍 顎骨・唾液腺の腫瘍性、炎症性疾患	栢森 高
15	11/27	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	唾液腺疾患	唾液腺の腫瘍性疾患 唾液腺の炎症性疾患	栢森 高

成績評価の方法

・授業への取り組みと筆記試験の得点に基づき、評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

大学の規定に基づいた出席日数授業に出席した者には受験資格を与える。

教科書

病理学・口腔病理学／仙波伊知郎、高田隆 ほか 著、医歯薬出版、2012

参考書

新口腔病理学／下野正基、高田隆 編、医歯薬出版、2008
口腔病理アトラス 第3版／高木貴 監修、高田隆、豊澤 悟 編、文光堂、2018

履修上の注意事項

正常組織の構造と機能に基づいて病的な変化を説明するため、解剖学の知識を整理しておくこと。

参照ホームページ

・口腔病理基本画像アトラス <http://www.dent.nihon-u.ac.jp/OralPathologyAtlas/Ver1/>

連絡先

坂本 裕次郎 y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
坂本 啓 s-kei.mpa@tmd.ac.jp
池田 通 tohrupth.mpa@tmd.ac.jp
栢森 高 kayamori.mpa@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎 随時 1号館西8階
坂本 啓 水 16:30-18:00
池田 通 毎週月、金曜日 PM.16:00-17:00 1号館東4階口腔病理学分野教授室
栢森 高 毎週金曜日 PM.4:00-5:30 1号館東4階口腔病理学第1研究室

時間割番号	022221					
科目名	薬理学					
担当教員	坂本 裕次郎, 青木 和広, 田村 幸彦					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 疾病の成り立ちと回復過程の促進 ユニット番号: 2008 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・青木 和広						
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室						
授業の目的、概要等 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。						
授業の到達目標 ・薬理作用の種類を説明できる。 ・薬物受容体と細胞内情報伝達系について説明できる。 ・薬物の構造活性相関について説明できる。 ・薬物の投与方法とその特徴について説明できる。 ・薬物の生体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)について説明できる。 ・薬物を安全に使用するための基本的考え方を修得する。 ・薬理作用を規定する要因について説明できる。 ・薬物の連用および併用に伴う現象について説明できる。 ・中枢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・末梢神経系作用薬物の種類と作用について説明できる。 ・局所麻酔について説明できる。 ・痛みと薬物について説明できる。 ・抗炎症薬の種類と作用について説明できる。 ・硬組織に作用する薬の種類と作用について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	1/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	薬理学の基礎、医療と 薬物	薬理学、薬力学、薬物動態学、ゲ ノム薬理学の概要	青木 和広
2	1/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物1	薬の使用目的とその作用、受容体 と薬物	青木 和広
3	1/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物2	化学構造と薬理作用、薬物の適用 方法	青木 和広
4	1/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物3	薬物の生体内変化、代謝、排泄	青木 和広
5	1/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物4	薬物の生物学的検定法、用量反応 曲線	青木 和広
6	1/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物5	薬理作用を規定する要因	田村 幸彦

7	1/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	身体と薬物6	ライフステージと薬物	田村 幸彦
8	1/31	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	抗炎症薬	ステロイド性抗炎症薬、非ステロ イド性抗炎症薬、痛風治療薬	青木 和広
9	1/31	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	痛みと薬物	麻薬性鎮痛薬、非麻薬性鎮痛薬、 解熱鎮痛薬	青木 和広
10	1/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系作用薬1	全身麻酔薬、睡眠薬	青木 和広
11	2/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用薬	江面 陽一
12	2/5	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	末梢神経系作用薬物	神経伝達物質、自律神経系作用 薬、運動神経系作用薬	江面 陽一
13	2/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	局所麻酔薬	局所麻酔薬の作用機序・分類・代 謝	田村 幸彦
14	2/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	中枢神経系作用薬2	向精神薬、抗けいれん薬、抗パー キンソン薬、中枢神経興奮薬	田村 幸彦
15	2/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	硬組織に作用する薬物	骨吸収抑制薬・骨形成促進薬・骨 質改善薬	青木 和広

成績評価の方法

- ・授業ごとの小テスト、提出レポート、期末の客観的試験、論述試験で総合的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

試験の受験資格

3 分の 2 の出席

教科書

: 医歯薬出版

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編 川口充、大浦清、大谷啓一、戸荻彰史、加藤有三、篠原光子 著、: 医歯薬出版、2011
 シンプル薬理学／野村隆英、石川直久 編集、: 南江堂、2014
 現代歯科薬理学／大谷啓一、鈴木邦明、戸荻彰史 編 加藤有三、篠田壽 監修、: 医歯薬出版、2012
 コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀、樋口マキエ 編集、: 朝倉書店、2012
 現代歯科薬理学 第 6 版、: 医歯薬出版、2018
 最新薬理学：疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清、戸荻彰史 編集、: 学建書院、2017

備考

一部 TBL 方式の演習を取り入れます。
 あらかじめ勉強してきたことに対する理解を確かめる確認テスト、基本知識を基に考える演習、あるいはクリッカーを用いた双方向授業も
 予定しています。

参照ホームページ

WebClass の OH2 口腔保健衛生基礎科学 2019 のコースの中に薬理学の授業資料をアップします。

連絡先

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bsoh@tmd.ac.jp

青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp

田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1 号館西 8 階

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2 号館 2 階 217 号室(口腔基礎工学分野)

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MD タワー7 階北 研究室(N713)

事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	022222						
科目名	社会保障Ⅱ						
担当教員	樺沢 勇司, 遠藤 康裕						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2		
科目名: 社会保障Ⅱ 時間数: 30 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 本講義では社会保障の制度体系・考え方について学びます。 受講する皆さんには、社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 ・現代社会における社会保障制度の位置づけと課題を説明できる。 ・社会保障制度の概念・理念・対象を説明できる。 ・社会保障制度の体系(各制度の概要)を説明できる。 ・社会保障の財源と費用を説明できる。 ・社会保険と公的扶助の関係を説明できる。 ・社会保険制度と民間保険制度の関係を説明できる。 ・諸外国における社会保障制度の概要を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	6/11	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と社会保障・諸 外国における社会保障	現代における社会保障制度の内 容と意義、諸外国との比較	遠藤 康裕	演習を行なう
5-8	6/18	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障制度の構造	日本の社会保障制度の構造につ いて学ぶ	遠藤 康裕	演習を行なう
9-12	6/25	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障制度の財源と 費用・社会保障制度の 歴史	社会保障の財源、費用負担等、歴 史的展開	遠藤 康裕	演習を行なう
13-16	7/2	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障と民間保険・ 年金保険制度	民間保険と社会保障の異同につ いて、年金保険制度について	遠藤 康裕	演習を行なう
17	7/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度・介護保 険制度 1	医療保険制度、介護保険制度につ いて	遠藤 康裕	演習を行なう
18-21	7/9	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度・介護保 険制度 2	医療保険制度、介護保険制度につ いて	遠藤 康裕	演習を行なう
22	7/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	労働保険制度・社会福 祉制度 1	労働保険制度(雇用保険、労災保 険)、社会福祉制度(生活保護、社 会手当等)	遠藤 康裕	演習を行なう
23-26	7/16	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	労働保険制度・社会福 祉制度 2	労働保険制度(雇用保険、労災保 険)、社会福祉制度(生活保護、社 会手当等)	遠藤 康裕	

27-30	7/23	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会保障が当面する課 題	社会保障の抱える課題について	遠藤 康裕		
成績評価の方法 ・授業内でのリアクションペーパー、レポートや定期試験などで総合的に評価する。								
準備学習などについての具体的な指示 教科書の関連する単元について予習してくる。								
試験の受験資格 全講義 30 時間の 2/3 以上出席すること。								
教科書 新・社会福祉士養成講座 12 社会保障／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2016								
参考書 ・随時、授業中に紹介する。								

時間割番号	022223						
科目名	保健医療サービス						
担当教員	樺沢 勇司, 品田 佳世子, 伊藤 奏, 五十嵐 公, 北原 稔, 岡田 幸之, 山田 麻記子, 矢澤 正人, 岡光 基子, 山田 美代子						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2		
保健医療サービス（樺沢勇司） 科目番号: 2014 授業形態: 講義 コマ数: 30 コマ							
主な講義場所 1 号館西 8 階 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 一般目標 保健医療サービスに関連する法律や衛生行政、医療保険制度、政策動向を理解し、保健医療の専門職の役割や実際、多職種連携やチーム医療を理解する。							
授業の到達目標 到達目標 ・ 保健医療サービスに関連する法律(憲法、地域保健法、健康増進法など)の概要を説明できる。 ・ 保健医療サービスに関連する政策動向を説明できる ・ 衛生行政の概要と政策動向を説明できる。 ・ 医療保険制度(診療報酬に関する内容を含む)の特徴や仕組みを説明できる。 ・ 保健医療サービスにおける専門職(医師、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、看護師、保健師、医療ソーシャルワーカー、他の医療技術職)の役割を説明できる。 ・ 保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。 ・ インフォームドコンセントの概要(関連制度、自己決定・自立尊重原理など)を説明できる。 ・ 災害時の保健医療サービスにおける多職種連携やチームアプローチを説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	11/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 1	憲法、医療法などの基本法規と保 健医療制度	五十嵐 公	演習を行なう
2	11/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 2	保健医療サービスの制度・政策	五十嵐 公	演習を行なう
3	11/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 3	母子保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子	演習を行なう
4	11/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 4	学校保健の関連法規、制度・政策	品田 佳世子	演習を行なう
5	12/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 1	保健医療サービスにおける専門 職の役割、多職種連携	樺沢 勇司, 伊藤 奏	演習を行なう
6	12/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 1	高齢者福祉・介護と保険医療サー ビス	樺沢 勇司, 伊藤 奏	演習を行なう

7	12/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 5	成人・高齢者保健の関連法規、制 度・政策	樺沢 勇司	演習を行なう
8	12/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 6	保健医療サービス従事者の関係 法規と資格制度	北原 稔	演習を行なう
9	12/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 7	健康増進法の概要と制度・政策	北原 稔	演習を行なう
10	12/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 8	地域保健の概要と関連法規、制 度・政策	北原 稔	演習を行なう
11	12/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 9	産業保健の概要と関連法規、制 度・政策	品田 佳世子	演習を行なう
12-13	12/19	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 10	精神保健の関連法規、制度・政策	岡田 幸之	演習を行なう
14	12/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の法・制度 11	インフォームドコンセントの概要	樺沢 勇司	演習を行なう
15	1/6	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 1	医療保険の種類とプロセス	五十嵐 公	演習を行なう
16	1/6	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 2	出来高払い・包括払いの制度と特 徴	五十嵐 公	演習を行なう
17	1/6	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 3	診療報酬制度の概要	五十嵐 公	演習を行なう
18	1/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 4	医療費減免等の諸制度(高額療養 費制度など)	五十嵐 公	演習を行なう
19	1/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療保険制度 5	医療費に関する政策動向と今後 の課題	五十嵐 公	演習を行なう
20	1/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 2	病院における MSW の役割	樺沢 勇司	藤川敬子先生に よる講義および 演習を行なう
21	1/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 3	がん相談支援における MSW の役 割	樺沢 勇司、 山田 麻記子	演習を行なう
22	1/21	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 1	国・都道府県・市区町村の衛生行 政と機能	矢澤 正人	演習を行なう
23	1/21	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	衛生行政 2	歯科口腔保健の推進と保険医療 サービス	矢澤 正人	演習を行なう

24	1/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 2	衛生行政と保健事業の実際およ び衛生行政の政策動向と今後の 課題	矢澤 正人	演習を行なう
25-26	1/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービス関連 の政策動向 3	障害者福祉・児童福祉と保健医療 サービス	岡光 基子	演習を行なう
27	1/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職4	災害時における MSW の役割 1	山田 美代子	演習を行なう
28	2/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職4	災害時における MSW の役割 2	山田 美代子	演習を行なう
29-30	2/3	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	保健医療サービスにお ける専門職 5	被災地医療機関と受け入れ医療 機関との連携	山田 美代子	演習を行なう

成績評価の方法

提出レポート、期末の記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価する。随時の小テスト等で形成的評価を行う。

準備学習などについての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義 30 時間の 2/3 以上出席すること。

教科書

歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険／末高武彦 著、医歯薬出版、2016

参考書

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 2 歯科衛生士と法律・制度：医歯薬出版、2012

保健生態学／可児徳子、松井恭平、眞木吉信 編：医歯薬出版、2007

新・社会福祉士養成講座「保健医療サービス」／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2014

時間割番号	022225					
科目名	歯科保存学					
担当教員	荒川 真一, 井上 剛, 金子 友厚					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
科目名:臨床歯科医学 時間数:30 時間 授業形態:演習・講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 保存系歯科医学の内容を理解し、保存系歯科医療におけるチームアプローチを実践するために必要な知識を修得する。						
授業の到達目標 ・歯の硬組織疾患を説明する。 ・う蝕のリスクファクターと診断法、病理と処置法を説明する。 ・窩洞の分類と修復物の理想的臨床形態を説明する。 ・コンポジットレジン修復を説明する。 ・歯科用セメントの種類と使用目的を説明する。 ・アマルガム修復を説明する。 ・メタルインレー修復を説明する。 ・審美的間接法修復を説明する。 ・う蝕の保存修復治療に必要な器具、器材、前準備、ならびに術後管理を説明する。 ・歯髄保存療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯髄除去療法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・感染根管治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・根管充填法の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯内治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・歯周基本治療の種類、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。 ・外科的歯周治療の種類、目的、器具、器材、前準備を説明する。 ・歯周治療におけるメンテナンスの内容、目的、器具、器材、前準備、術後管理を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/4	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周病の概説及び病因 歯周組織の構造、歯周 組織検査と診断	歯周病と歯どのような疾患か、また、その原因について学ぶ 歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一
3	4/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周組織の構造、歯周 組織検査と診断	歯周組織検査の種類、目的、器具・器材の準備	荒川 真一
4	4/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	スケーリング、ルートプレーニング	スケーリング、ルートプレーニングの目的、器具・器材の準備	荒川 真一
5-6	5/17	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	保存修復治療	歯の構造と硬組織疾患、う蝕のリスクファクターと診断、う蝕の病理と処置法、窩洞の分類、修復物の形態修復学	井上 剛
7	5/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復1	成形充填修復治療の流れ、コンポジットレジン修復	井上 剛

8	5/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復2	歯科用セメント(グラスアイオノマ ーセメント修復)、アマルガム修復	井上 剛
9	5/31	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形充填修復2	歯科用セメント(グラスアイオノマ ーセメント修復)、アマルガム修復	井上 剛
10	5/31	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	鑄造修復	間接法修復治療の流れ、メタルイ ンレー修復、審美的間接法修復	井上 剛
11-12	6/6	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	スケーリング、ルートブ レーニング	スケーリング、ルートプレーニン グの目的、器具・器材の準備	荒川 真一
13-14	6/7	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	鑄造修復	間接法修復治療の流れ、メタルイ ンレー修復、審美的間接法修復	井上 剛
15-16	6/14	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	う蝕の保存修復歯科治療における 診療の流れと器材の準備、治療計 画とメンテナンス	井上 剛
17-18	6/20	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯周外科手術、咬合調 整、固定	歯周外科手術、咬合調整、固定の 種類	荒川 真一
19-20	6/26	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根分岐部病変、習癖、メ インテナンス(含 SPT)	根分岐部病変、習癖、メインテナ ンス(含 SPT)について学ぶ	荒川 真一
21-22	6/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯内治療	歯内治療概説、歯髄保存療法の種 類、目的、器具・器材の準備	金子 友厚
23-24	7/4	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類、目的、器 具・器材の準備	金子 友厚
25-26	7/11	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染根管治療	感染根管治療の種類、目的、器 具・器材の準備	金子 友厚
27-28	7/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	根管充填法	根管充填法及び外科的歯内治療 の種類、目的、器具・器材の準備	金子 友厚
29-30	7/25	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケーススタディー	歯内治療における診療の流れと 器材準備	金子 友厚

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、授業態度等も総括的評価に加える。
- ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
- ・講義、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

規定にの出席日数(2/3 以上)を満たす。

構成ユニット 保存修復学、歯周病学、歯内療法学
モジュールの単位判定 期末試験結果および出席状況を勘案して決定する。
参考書 ・新歯科衛生士教本「歯科診療補助 歯科器械の知識と取り扱い」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 ・沼部幸博監修:新人歯科衛生士のためのペリオドンタルインストルメンテーション. クインテッセンス出版 ・日本歯周病学会編: 歯科衛生士のための歯周治療ガイドブック. 医歯薬出版 ・最新歯科衛生士教本「歯周疾患 歯周治療」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版（この書籍は必ず購入してください: 荒川） ・最新歯科衛生士教本「微生物学」全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 ・「ザ・ペリオドントロジー」和泉雄一、沼部幸博、山本松男、木下淳博 編 永末書店 ・新歯科衛生士教本「保存修復学・歯内療法学」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 ・接着ここが知りたい歯科衛生士編 日本接着歯学会編 口腔保健協会 ・保存修復学21 田上順次、千田彰、奈良陽一郎、桃井保子 永末書店
履修上の注意事項 教本を用い事前学習をし、また講義終了後復習を行うこと。
備考 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。 ・講義内容について、演習を行う。

時間割番号	022226						
科目名	小児歯科学						
担当教員	樺沢 勇司, 吉田 直美, 伊藤 奏, 大木 明子, 塩沢 真穂, 宮新 美智世, 岸 光男						
開講時期	通年	対象年次	2		単位数		
主な講義場所							
1号館西8階、第4講義室							
授業の目的、概要等							
小児の心身の成長・発達をふまえ、発達期口腔保健の意義および発達期口腔疾患の特徴、予防・治療法を理解する。							
授業の到達目標							
・出生から青少年期までの心身の成長・発達を理解する。 ・小児の情緒と社会性の発達を理解する。 ・小児の健康を育む食生活と支援の重要性を理解する。 ・歯の萌出と乳歯・幼若永久歯の特徴を理解する。 ・顎・顔面頭蓋の成長過程を理解する。 ・歯列咬合の発育過程を理解する。 ・小児期の口腔疾患とその治療法、チーム医療を理解する。 ・歯科治療時の小児の行動への対応法を理解する。 ・小児に特有な心身の問題とその解決策を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	小テスト、合同反転授 業、討論（工学との合 同講義）	反転授業小テスト 課題の学習発 表・討論(グループワーク)	樺沢 勇司, 大木 明子, 塩沢 真穂 吉田 直美 伊藤 奏 岸 光男	
2-3	10/2	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科と成長発育、機 能・情緒・社会性の発達	成長発育の特徴、身体の発育とそ の評価、器官の発育、運動・感覚 機能の発達、情緒・社会性の発達	宮新 美智世	演習を行なう
4-5	10/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児の生理的特徴、摂 食機能と言語の発達	原始反射、哺乳に関する反射、小 児の生理的特徴、栄養摂取と摂食 機能の発達、哺乳期、離乳期、幼 児期、児童・生徒期、発達期の食 の問題、言語の基礎知識、言語の 発達、発達期にみられる構音障害	宮新 美智世	演習を行なう
6-7	10/16	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	顎・頭蓋・顔面、歯列・咬 合の発達	頭蓋の構成要素と相対的発育、頭 蓋発育の機構と評価法、側貌頭部 エックス線規格写真計測による日 本人小児の平均身長、歯列咬合 の発育(無歯期、乳歯萌出期、乳 歯列期、混合歯列前期、混合歯列 後期、永久歯列期)、歯列発育の 評価法	宮新 美智世	演習を行なう
8-9	10/23	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応	乳歯・幼若永久歯の特徴、歯・歯 数・萌出の異常、乳歯う蝕の特徴、 小児う蝕の実態、重症乳歯う蝕の 為害作用、青少年期のう蝕、発達 期の歯周疾患、口腔軟組織疾患	宮新 美智世	演習を行なう

					の原因と予防		
10-11	10/30	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科治療時の小児 行動への対応法	小児の歯科診療時の留意事項(診 療環境の整備、小児歯科治療三 角、コミュニケーションの確立)、 小児の情動の特徴、行動変容法、 強制的な行動抑制	宮新 美智世	演習を行なう
12-13	11/6	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達期の口腔疾患と歯 科的対応(臨床)	不正咬合、咬合誘導、不良習癖、 外科的疾患と対応、う蝕治療の実 際、小児歯科治療における歯科医 療従事者の役割	宮新 美智世	演習を行なう
14-15	11/20	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児歯科の症例紹介	小児歯科臨床における疾患の予 防と治療、管理・チーム医療・臨床 例	宮新 美智世	演習を行なう
成績評価の方法 随時小テストを行い、形成的評価を行う。 期末に客観試験、記述試験を行い、総括的評価を行う。 出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。 受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則に順ずる。							
準備学習などについての具体的な指示 授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこ と。							
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書 最新歯科衛生士教本 小児歯科／大嶋隆 ほか著、大嶋 隆, 1947-, 全国歯科衛生士教育協議会, : 医歯薬出版, 2009							
参考書 小児歯科学 = Pediatric Dentistry／白川哲夫, 飯沼光生, 福本敏 編、白川, 哲夫、飯沼, 光生、福本, 敏 : 医歯薬出版, 2017							

時間割番号	022227					
科目名	歯科補綴学					
担当教員	古屋 純一, 駒田 亘, 金澤 学, 和田 淳一郎, 野村 太郎, 猪原 健					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、駒田亘、和田淳一郎、金澤学、猪原健(猪原歯科・リハビリテーション科)、野村太郎(岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座)						
主な講義場所						
口腔保健学科 第 4 講義室						
授業の目的、概要等						
・補綴歯科医療と補綴装置の特徴を理解し、補綴装置の予後管理に必要な口腔健康管理の知識を習得する。						
授業の到達目標						
・補綴歯科治療の意義と目的、種類と特徴を説明する。						
・補綴歯科治療に関連する顎口腔系の機能と形態を説明する。						
・冠橋義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。						
・有床義歯の種類・特徴を説明し、製作過程を概説する。						
・補綴装置使用時における口腔の健康法管理を説明する。						
・超高齢社会の補綴歯科治療の特徴や現状を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	補綴歯科治療の基礎	補綴歯科治療の意義と目的、歯と 歯列の欠損、補綴装置の役割、種 類と特徴	古屋 純一
2	10/8	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴1	咀嚼効率と食事、様々なクラウン とその特徴 1	古屋 純一、 駒田 亘
3	10/15	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴2	様々なクラウンとその特徴 2、冠 橋義歯の材質	古屋 純一、 駒田 亘
4	10/29	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯の種類と特徴3	ブリッジとボンティックの種類と特 徴	古屋 純一、 駒田 亘
5	10/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療 1	冠橋義歯の印象採得と咬合採得、 テンポラリークラウン、冠橋義歯 の装着、仮着と合着	古屋 純一、 駒田 亘
6	11/5	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療 2	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジ の失敗症例と対応方法 冠橋義歯 のメンテナンス	古屋 純一、 駒田 亘
7	11/5	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	冠橋義歯による治療 3	冠橋義歯のケア、クラウンブリッジ の失敗症例と対応方法	古屋 純一、 駒田 亘
8	11/12	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療 1	全部床義歯の印象採得と咬合採 得、筋圧形成による最終印象と咬 合床による咬合採得	古屋 純一、 金澤 学
9	11/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第4	全部床義歯による治療 2	全部床義歯の咬合採得、咬合床に よる咬合採得	古屋 純一、 金澤 学

			講義室				
10	11/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療1	部分床義歯の印象採得と咬合採得の特徴、歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	古屋 純一、 和田 淳一郎	
11	11/19	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療2	歯根膜負担と粘膜負担、部分床義歯の構成要素	古屋 純一、 和田 淳一郎	
12	11/26	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	全部床義歯による治療3	ゴシックアーチ、フェイスボウトランスファー、咬合器装着、義歯安定剤とは	古屋 純一、 金澤 学	
13	11/26	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	部分床義歯による治療3	有床義歯の試適・装着・調整・患者指導、短期予後と長期予後、義歯の管理と支台歯のメンテナンス	古屋 純一、 和田 淳一郎	
14	12/17	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会の補綴歯科治療1	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	古屋 純一、 野村 太郎	
15	12/17	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会の補綴歯科治療2	高齢者の補綴歯科治療、訪問診療での補綴歯科治療と衛生管理の重要性	古屋 純一、 猪原 健	
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総合的評価に加味する。 ・随時的小テスト等で形成的評価を行い、総合的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修赤川安正 ほか著、:医歯薬出版, 2009							
参考書 5つのテーマでわかる若手歯科医師のための高齢者歯科ハンドブック：全身疾患・義歯・口腔ケア・摂食嚥下・訪問診療／松尾浩一郎 編著、岩佐康行、古屋純一、戸原玄、大野友久、原豪志 著、:医歯薬出版, 2016							
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では課題発表・討論・グループワークなどを行う							

時間割番号	022228				
科目名	口腔外科・歯科麻酔学				
担当教員	樺沢 勇司, 関谷 秀樹				
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室					
授業の目的、概要等 ・口腔外科・歯科麻酔科でのチーム医療を行なうにあたって必要な基礎的知識を習得する。 ・歯科治療における全身管理、精神鎮静法、局所麻酔および全身麻酔の基本を理解する。 ・救急救命処置の初期対応に必要なバイタルサインの意味や処置器材を理解する。					
授業の到達目標 1. 口腔外科の概要、口腔外科疾患の種類と診断法について説明できる。 2. 口腔外科でのチーム医療・多職種連携について説明できる。 3. 顎顔面口腔に症状を現す先天異常と発育異常を列挙し、その治療法を説明できる。 4. 顎口腔領域の損傷の診断と治療法を説明できる。 5. 顎口腔領域の炎症の診断と治療法を説明できる。 6. 顎口腔領域の嚢胞の診断と治療法を説明できる。 7. 顎口腔領域の腫瘍の診断と治療法を説明できる。 8. 口腔粘膜疾患の診断と治療法を説明できる。 9. 顎口腔領域の神経系疾患の診断および治療法を説明できる。 10. 唾液腺疾患の病因と病態について説明できる。 11. 顎口腔領域に症状を現す血液疾患、出血性素因について説明できる。 12. 代謝性疾患の口腔症状、口腔顎顔面領域に関連した疾患について説明できる。 13. 口腔外科疾患に関連する補綴治療について説明できる。 14. 顎関節疾患の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 15. 口腔外科を受診する患者、口腔がん患者の口腔保健管理について説明できる。 歯科麻酔 16. 麻酔の目的について説明できる。 17. 局所麻酔薬の薬理学作用と局所麻酔法の施術時の注意点を説明できる。 18. 全身麻酔の適応症と種類について説明できる。 19. 精神鎮静法の適応症と種類について説明できる。 20. バイタルサインの項目や、測定法を説明できる。 21. バイタルサインの測定を実施できる。 22. 安全で快適な歯科治療のための各種方法を説明できる。 23. 歯科治療時の偶発症とその対策について説明できる。 救命救急処置 24. 一次救命処置の手順を説明できる。 25. 一次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 26. 二次救命処置の手順を説明できる。 27. 二次救命処置に用いる器材を説明し、準備ができる。 28. AED の取り扱いを実施できる。 29. 神経性ショックを説明し、患者対応ができる。 30. 過換気症候群を説明し、患者対応ができる。					

授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
2	10/1	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
3	10/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
4	10/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
5	10/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
6	10/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
7	10/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
8	10/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
9	10/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
10	10/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔外科	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
11	10/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
12	10/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
13	10/29	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	周術期等口腔機能管理	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司, 関谷 秀樹
14	10/29	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	周術期等口腔機能管理	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司, 関谷 秀樹
15	10/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科麻酔	演習、課題発表、討論を行なう	樺沢 勇司
成績評価の方法						

・2 学年後期末に筆記試験を行なう。 ・筆記試験および出席状況、随時実施する、授業中の演習、討論、授業態度により総合的に評価する。
準備学習などについての具体的な指示 授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。
試験の受験資格 ・受験資格は東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。
教科書 口腔外科学・歯科麻酔学／池邊哲郎, 升井一郎, 吉増秀實, 伊賀弘起 編:クインテッセンス出版, 2013
参考書 顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著,:医歯薬出版, 2011 口腔外科学／古森孝英 編著,:永末書店, 2017 最新口腔外科学 = Oral and Maxillofacial Surgery／榎本昭二, 道健一, 天笠光雄, 小村健 監修,:医歯薬出版, 2017 口の中がわかるビジュアル歯科口腔科学読本／全国医学部附属病院歯科口腔外科科長会議 監修,:クインテッセンス出版, 2017
備考 担当教員の Office hour 樺沢勇司 健康支援口腔保健衛生学分野 随時 kabasawa.ocsh@tmd.ac.jp

時間割番号	022230						
科目名	臨床医学Ⅰ						
担当教員	樺沢 勇司						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2		
本講座は３年前期で行なわれる臨床医学Ⅱと併せて、基礎疾患をもつ患者に対しての適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の修得を目指している。							
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室							
授業の目的、概要等 基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口腔保健活動を行なうために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働について考える。							
授業の到達目標 臨床医学を学び、適切な口腔ケアについて考えることができる。 臨床医学を学び、継続的な口腔ケアを提供するための多職種連携と協働について検討できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/2	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	呼吸器疾患の発症機序・症状・診断・治療(アレルギー性疾患、気道閉塞性疾患、気胸、肺水腫、肺がん、結核、インフルエンザなど)について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 立石 知也	
3-4	10/9	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	循環器系疾患の発症機序・症状・診断・治療(高血圧症、動脈硬化症、虚血系心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈などの心疾患、動・静脈瘤、閉塞性動脈硬化症など血管系の疾患)について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 田尾 進	
5	10/16	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	1. 内分泌疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 代謝性疾患の発症機序・症状・診断・治療について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 池田 賢司	
6	10/16	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	1. 内分泌疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 代謝性疾患の発症機序・症状・診断・治療について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 柴 久美子	
7	10/23	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	1. 消化管疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の発症機序・症状・診断・治療 3. 消化器系感染症について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 北畑 富貴子	
8	10/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	1. 消化管疾患の発症機序・症状・診断・治療 2. 肝・胆・膵疾患の発症機序・症状・診断・治療 3. 消化器系感染症について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 清水 寛路	
9	10/30	15:00-15:50	口腔保健 学科第4	臨床医学	神経変性疾患の発症機序・症状・診断・治療について演習・討論を	樺沢 勇司, 西田 陽一郎	

			講義室		行なう		
10	10/30	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	腎臓疾患の発症機序・症状・診断・ 治療(人工透析を含む)について 演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 安藤 史顕	
11	11/6	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	血液内科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療について演習・討論を 行なう	樺沢 勇司, 山本 正英	
12	11/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	自己免疫疾患の発症機序・症状・ 診断・治療について演習・討論を 行なう	樺沢 勇司, 木村 直樹	
13-14	11/13	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	脳神経外科疾患の発症機序・症 状・診断・治療について演習・討論 を行なう	樺沢 勇司, 唐鎌 淳	
15	11/27	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	1. 食道外科疾患の発症機序・症 状・診断・治療について演習・討論 を行なう	樺沢 勇司, 川田 研郎	
16	11/27	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	2. 胃外科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療について演習・討論を 行なう	樺沢 勇司	油谷和毅先生の 講義
17	12/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	肝・胆・膵外科疾患の発症機序・症 状・診断・治療について演習・討論 を行なう	樺沢 勇司, 小川 康介	
18	12/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	乳腺外科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療について演習・討論を 行なう	樺沢 勇司, 中川 剛士	
19	12/11	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	大腸・肛門外科疾患の発症機序・ 症状・診断・治療について演習・討 論を行なう	樺沢 勇司, 松山 貴俊	
20	12/11	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	整形外科(神経系)疾患の発症機 序・症状・診断・治療について演 習・討論を行なう	樺沢 勇司, 猪瀬 弘之	
21-22	12/18	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	整形外科(関節系)疾患の発症機 序・症状・診断・治療について演 習・討論を行なう	樺沢 勇司, 片桐 洋樹	
23-24	1/8	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	・不妊治療、異常妊娠、高齢出 産、婦人科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療(子宮筋腫、子宮内膜 炎、子宮癌など)、婦人科疾患の 発症機序・症状・診断・治療(卵巣 嚢腫、卵巣がん、更年期障害な ど)について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 岩原 由樹	
25	1/15	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	妊娠、出産の機序・診断・身体 の変化について演習・討論を行なう	樺沢 勇司, 関口 将軌	
26	1/15	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	性感染症について演習・討論を行 なう	樺沢 勇司, 増田 美香子	
27-29	1/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第4	臨床医学	1. 精神科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療(統合失調症、うつ病不	樺沢 勇司	杉原玄一先生の 講義

			講義室		安障害、PTSD、依存症など） 2. 認知症の発症機序・症状・診断・治療および予防について演習・討論を行なう		
30	1/22	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床医学	講義全体についてのまとめ、医科 歯科連携について演習・討論を行 なう	樺沢 勇司, 沼沢 祥行	
成績評価の方法 随時の小テスト・レポートで形成的評価、期末の客観試験、記述試験で総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。							
モジュールの単位判定 2 学年後期末に試験を行なう。 出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。							
参考書 メディックメディア社 病気が見える シリーズ に代表される、 医科臨床系教科書など							

時間割番号	022232						
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅰ						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2		
ユニット名:口腔疾患予防基礎学Ⅰ							
科目名:口腔疾患予防学							
時間数:2 単位 30 時間							
授業形態:講義							
主な講義場所							
口腔保健学科第4 講義室							
授業の目的、概要等							
・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。							
・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。							
・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識を修得する。							
授業の到達目標							
・口腔衛生学(母子保健、学校保健、産業保健、成人保健、高齢者保健、地域保健等)に関して理解する。							
・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。							
・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。							
・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティケアの内容を説明できる。							
・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。							
・口腔清掃について説明できる。							
・プラークコントロールについて説明できる。							
・歯磨剤や洗口剤について説明できる。							
・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。							
・歯周病の予防について説明できる。							
・う蝕発生のメカニズムについて説明できる。							
・う蝕の発生要因とう蝕活動性試験について説明できる。							
・フッ化物の応用とう蝕予防効果について説明できる。							
・フッ化物の代謝や毒性について説明できる。							
・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。							
・口臭の分類、原因、予防、処置について説明できる。							
・歯科予防処置のうち、う蝕予防処置・フッ化物歯面塗布・フッ化物洗口を実施できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯・口腔の健康と予防総 論	歯・口腔の健康と予防総論	品田 佳世子	
2	4/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯・口腔の健康と予防総 論	歯・口腔の健康と予防総論	品田 佳世子	
3	4/8	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯・口腔の付着物・沈着 物	歯・口腔の付着物・沈着物	品田 佳世子	演習:ミニテスト1
4	4/8	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯・口腔の付着物・沈着 物	歯・口腔の付着物・沈着物	品田 佳世子	
5	4/8	15:00-15:50	口腔保健 学科第4	地域保健・公衆衛生	地域保健・公衆衛生	品田 佳世子	

			講義室				
6	4/8	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域保健・公衆衛生	地域保健・公衆衛生	品田 佳世子	
7	4/15	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔清掃、う蝕予防	口腔清掃、う蝕予防	品田 佳世子	演習:ミニテスト2
8	4/15	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔清掃、う蝕予防	口腔清掃、う蝕予防	品田 佳世子	
9	4/15	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	口腔疾患のリスクの悦 明とリスクテスト実施	口腔疾患のリスクの悦明とリスク テスト実施	品田 佳世子	実習:自分の口腔 疾患のリスクを調 べる
10	4/15	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	リスクテスト実施	リスクテスト実施	品田 佳世子	実習:自分の口腔 疾患のリスクを調 べる
11	4/22	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	母子保健	母子保健	品田 佳世子	演習:ミニテスト3
12	4/22	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	母子保健	母子保健	品田 佳世子	演習:1歳6か月 児および3歳児 の歯科検診の記 入、う蝕罹患型
13	5/13	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	フッ化物によるう蝕予防	フッ化物によるう蝕予防	品田 佳世子	演習:ミニテスト3
14	5/13	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	フッ化物によるう蝕予防	フッ化物によるう蝕予防	品田 佳世子	演習:フッ化物の 局所応用におけ る急性中毒量の 計算
15	5/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	学校保健	学校保健	品田 佳世子	演習:ミニテスト4
16	5/14	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	学校保健	学校保健	品田 佳世子	演習:学校歯科検 診の記入
17	5/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科疾患や口腔清掃状 態の評価、Index	歯科疾患や口腔清掃状態の評 価、Index	品田 佳世子	演習:ミニテスト5
18	5/20	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科疾患や口腔清掃状 態の評価、Index	歯科疾患や口腔清掃状態の評 価、Index	品田 佳世子	演習: CPI、PMA Index、 OHI、OHI-S、PII、 GIの評価と計算
19	5/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	成人歯科保健	成人歯科保健	品田 佳世子	演習:ミニテスト6

20	5/21	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	産業歯科保健	産業歯科保健	品田 佳世子	
21	5/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科疾患の疫学、歯科 疾患実態調査	歯科疾患の疫学、歯科疾患実態調 査	品田 佳世子	演習:ミニテスト 7
22	5/28	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科疾患の疫学、歯科 疾患実態調査	歯科疾患の疫学、歯科疾患実態調 査	品田 佳世子	
23	6/4	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者保健	高齢者保健	品田 佳世子	演習:ミニテスト 8
24	6/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	精神保健	精神保健	品田 佳世子	
25	6/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	その他の口腔疾患:口 内炎、歯の形成不全、口 臭症、口腔乾燥症の原 因と予防	その他の口腔疾患:口内炎、歯の 形成不全、口臭症、口腔乾燥症の 原因と予防	品田 佳世子	演習:ミニテスト 9
26	6/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	その他の口腔疾患:口 内炎、歯の形成不全、口 臭症、口腔乾燥症の原 因と予防	その他の口腔疾患:口内炎、歯の 形成不全、口臭症、口腔乾燥症の 原因と予防	品田 佳世子	
27	6/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	その他の口腔疾患:口 内炎、歯の形成不全、口 臭症、口腔乾燥症の原 因と予防	その他の口腔疾患:口内炎、歯の 形成不全、口臭症、口腔乾燥症の 原因と予防	品田 佳世子	
28	7/18	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	小児、学童、青少年に対 する口腔疾患の予防	小児、学童、青少年に対する口腔 疾患の予防	品田 佳世子、 大塚 紘未	
29	7/18	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	国際保健、国際協力	国際保健、国際協力	品田 佳世子、 田中 健一	
30	7/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔疾患予防基礎 I の まとめ	口腔疾患予防基礎 I のまとめ	品田 佳世子	ミニテスト 10

成績評価の方法

提出レポート、期末の客観試験、記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

教科書

最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版／可児徳子、松井恭平、眞木吉信 編：医歯薬出版、2015

最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著：医歯薬出版、2011

参考書

・フッ化物応用の科学/日本口腔衛生学会フッ化物応用委員会 編

・ずっとずっとじぶんの歯:児童・生徒向/丸森英史、竹内博朗 監修:少年写真新聞社、2007

- ・歯が溶ける!: エロージョンの診断から予防まで/小林賢一 著: 医歯薬出版,2009
- ・口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション/深井稔博,池主憲夫,川口陽子,米山武義 編: 医歯薬出版,2009

連絡先

shinada.pvoh@tmd.ac.jp

オフィスアワー

月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022233					
科目名	口腔疾患予防基礎学Ⅱ					
担当教員	近藤 圭子, 品田 佳世子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 30 時間 授業形態: 講義・実習						
主な講義場所 口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・歯・口腔の健康と予防の定義について説明できる。 ・歯・口腔の健康と予防の方法と健康づくりについて説明できる。 ・セルフケア、プロフェッショナルケア、コミュニティーケアの内容を説明できる。 ・歯・口腔の付着物、沈着物について説明できる。 ・歯周病の症状、種類、検査を説明できる。 ・歯周病の予防について説明できる。 ・歯質損耗(tooth wear)の症状、種類、予防、治療法を説明できる。 ・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。 ・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/11	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の進め方	実習使用器材の準備” ”実習使用 器材の取扱方法	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
3-4	4/18	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本 1	インスツルメントの把持法と操作 法	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
5-6	4/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	実習の基本 2	インスツルメントの基本操作	近藤 圭子, 戸田 花奈子
7-8	4/25	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 1	位置と姿勢	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
9-10	5/9	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 2	スケーリングの基本操作	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
11	5/16	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	インスツルメンテーショ ン 3	部位別のスケーリング方法(上顎 前歯部)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子

			室			
12	5/23	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 4	部位別のスケーリング方法(下顎 前歯部)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
13	6/13	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 5	部位別のスケーリング方法(上下 顎前歯部)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
14	6/20	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 6	部位別のスケーリング方法(下顎 臼歯部 1)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
15	6/27	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 7	部位別のスケーリング方法(下顎 臼歯部 2)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
16	7/4	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 8	部位別のスケーリング方法(上顎 臼歯部 1)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
17	7/11	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 9	部位別のスケーリング方法(上顎 臼歯部 2)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
18	7/18	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 10	ブローピングとは	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
19-22	7/19	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 11	スケーリング・ルートプレーニング とは スケーリング・ルートプレー ニングの操作	近藤 圭子, 戸田 花奈子
23	7/25	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 12	前歯部の SRP	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
24	9/30	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 13	臼歯部の SRP	近藤 圭子, 戸田 花奈子
25	9/30	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	評価	基本技術のスキル評価	近藤 圭子, 戸田 花奈子
26	10/3	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	シャープニング 歯面 研磨	シャープニングの基本シックス ケーラー・グレイシーキュレットス ケーラーのシャープニング歯面研 磨に使用する器材と取扱方法	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子

27-28	10/7	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨	歯面研磨の実際	近藤 圭子, 戸田 花奈子	
29	10/10	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 14	超音波スケーラーについて	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
30	10/17	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 15	超音波スケーリングの実際	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
成績評価の方法 提出レポート、期末の記述試験で総合的評価を行う。出席状況および授業態度を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 全講義の 2/3 以上出席すること。							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、：医歯薬出版、2011 ：医歯薬出版							
参考書 目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅠベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、吉田直美、小森朋栄 監訳、堀江明子、富田裕子 訳：医歯薬出版、2009 目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅡアセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2009 目で見るペリオドンタルインスツルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著、和泉雄一、吉田直美、小森朋栄 監訳：医歯薬出版、2010 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著、遠藤圭子、中垣晴男、西真紀子、眞木吉信、松井恭平、山根瞳、若林則幸 監訳：医歯薬出版、2015							
履修上の注意事項 実習の際は身だしなみを整え、白衣を着用すること。							
連絡先 近藤 圭子:solan.ltoho@tmd.ac.jp 品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 近藤 圭子:随時(メール等で連絡の上、約束してから来室してください) 品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室							

時間割番号	022234					
科目名	口腔疾患予防基礎学実習					
担当教員	近藤 圭子, 伊藤 奏, 中山 玲奈, 田澤 千鶴, 戸田 花奈子					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	2	
時間数: 105 時間						
授業形態: 講義・実習						
主な講義場所						
口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等						
・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防について理解する。						
・歯・口腔の状態を把握するためのアセスメント方法を修得する。						
・口腔疾患予防に必要なアセスメント、スケーリング、歯面清掃に必要な技術を修得する。						
授業の到達目標						
・生体への配慮(器具の消毒・滅菌、感染予防、手指消毒法、偶発事故の防止)の基本を実践しながら、歯科予防処置を実施できる。						
・歯科予防処置のうち、歯石除去・歯面清掃を実施できる。						
・歯科衛生過程における情報収集・アセスメントの実践方法を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/11	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の進め方	実習の目的と基本事項実習使用 器材の準備	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
2	4/18	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	実習の基本 1	実習使用器材の取扱方法マネキン の取扱方法	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
3	4/25	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 1	インスツルメントの基本操作位置 と姿勢	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
4	5/9	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 2	スケーリングの基本操作	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
5-6	5/16	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 3	前歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
7-8	5/23	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 4	前歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
9-10	6/13	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 5	前歯部のスケーリング 3	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
11-12	6/20	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床	インスツルメンテーショ ン 6	臼歯部のスケーリング 1	近藤 圭子, 田澤 千鶴

			基礎実習 室			戸田 花奈子
13-14	6/27	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 7	臼歯部のスケーリング 2	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
15-16	7/4	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 8	臼歯部のスケーリング 3	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
17-18	7/11	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 9	臼歯部のスケーリング 4	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
19-20	7/18	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 10	ブローピング	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
21-22	7/25	10:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 12	スケーリング・ルートプレーニング	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
23-25	9/30	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 13	スケーリング・ルートプレーニング	近藤 圭子, 戸田 花奈子
26	10/3	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 14	スケーリング・ルートプレーニング	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
27-29	10/7	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	評価	グレーシーキュレットスケーラー によるスケーリングの技術評価	近藤 圭子, 戸田 花奈子
30	10/10	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	シャープニング 歯面 研磨 1	シャープニングの基本シクルスケーラ ー・グレーシーキュレットスケーラーのシャ ープニング歯面研磨に使用する器材 の取り扱い方法	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
31	10/17	14:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯面研磨 2	歯面研磨の実際	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
32	10/21	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習について	相互実習について	近藤 圭子, 戸田 花奈子
33	11/18	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	器材準備	実習器材の準備	近藤 圭子, 戸田 花奈子

			室 口腔 保健学科 相互実習 室				
34-38	11/25	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習 1	アセスメント 1 (医療面接・口腔内 診査検査)	近藤 圭子, 戸田 花奈子, 伊藤 奏	
39-43	11/28	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 2	アセスメント 2 (プラークの付着・歯 石の沈着状態の評価)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
44-48	12/2	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 3	ハンドスケーリング上顎前歯	近藤 圭子, 戸田 花奈子, 伊藤 奏	
49-53	12/12	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 4	ハンドスケーリング下顎前歯	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子, 伊藤 奏, 中 山 玲奈	
54-56	1/7	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 15	超音波スケーラーの基本操作	近藤 圭子, 戸田 花奈子	
57-61	1/9	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 5	ハンドスケーリング下顎臼歯	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子, 伊藤 奏, 中 山 玲奈	
62-64	1/14	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インスツルメンテーショ ン 16	超音波スケーリングの実際	近藤 圭子, 戸田 花奈子	
65-69	1/16	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 6	ハンドスケーリング上顎臼歯	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子, 伊藤 奏, 中 山 玲奈	
70-74	1/20	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 7	超音波スケーリング 1	近藤 圭子, 戸田 花奈子, 伊藤 奏	
75-79	1/23	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習	相互実習 8	超音波スケーリング 2	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子,	

			室			伊藤 奏, 中山 玲奈	
80-84	1/28	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 9	歯面研磨	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
85-89	1/30	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	相互実習 10	再評価	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
90	2/4	17:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	まとめ		近藤 圭子, 戸田 花奈子	
成績評価の方法 提出レポート、期末の客観試験で総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロードがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 全講義の 2/3 以上出席すること。							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2011 ：医歯薬出版							
参考書 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠベーシックスキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,吉田直美, 小森朋栄 監訳,堀江明子, 富田裕子 訳,：医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡアセスメントとインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳,：医歯薬出版, 2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢデブライドメント／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳,：医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣアドバンススキル／Jill S.Nield-Gehrig 著,和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳,：医歯薬出版, 2010 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳,：医歯薬出版, 2015							
履修上の注意事項 実習の際は身だしなみを整え、所定の白衣およびユニフォームを着用すること。							

時間割番号	022236						
科目名	健康教育の基礎 I						
担当教員	吉田 直美						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1		
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術を修得する。							
授業の到達目標 ・健康教育の概念を説明する。 ・行動変容に関する理論を説明する。 ・ライフステージ別の口腔健康課題を説明する。 ・歯口清掃の方法、用具の種類、用途を説明する。 ・健康教育実践に用いるツールを説明する。 ・対象者に合わせた健康教育を計画立案する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の概念	健康教育の定義 健康の捉え方 健康教育のテーマ	吉田 直美	
2	4/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎 1	保健行動・行動変容にかかわる理 論①	吉田 直美	
3	4/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎 2	保健行動・行動変容にかかわる理 論②	吉田 直美	
4	5/14	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	健康教育の基礎 3	口腔清掃用具①	吉田 直美	鈴木
5	5/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎 4	口腔清掃用具②	吉田 直美	5/22 コマ PBL
6-7	5/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎 5	海外研修発表会 健康教育の実 践	吉田 直美	2-4 年合同 2 -3 年合同
8-10	5/28	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	健康教育の基礎	歯ブラシと歯磨剤および歯垢染色 について 口腔観察と口腔清掃 実習	吉田 直美	傳坂

			第4講義 室				
11	6/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎	歯科保健指導の説明演習	吉田 直美	
12-14	6/11	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	健康教育の基礎	口腔観察と口腔清掃実習	吉田 直美	鈴木
成績評価の方法 課題レポート、期末の試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 2/3 以上の出席							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修、高阪利美 ほか著、医歯薬出版、2011							
備考 演習、実習							

時間割番号	022237						
科目名	健康教育の基礎Ⅱ						
担当教員	吉田 直美 近藤 圭子						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1		
主な講義場所 口腔保健学科 第4講義室							
授業の目的、概要等 口腔健康教育の実践に必要な知識・技術・態度を修得し、実践力を培う。							
授業の到達目標 ・生活と健康行動の関連を説明する。 ・歯科衛生過程の流れに従って、健康教育を組み立てる。 ・個人の口腔保健と生活習慣に関するアセスメントをする。 ・小学校における健康教育の実践の流れを説明する。 ・ライフステージ別の口腔健康課題への解決方法を説明する。 ・口腔内写真から読み取れる情報を述べる。 ・行動変容に関する理論を用いて健康教育を行う。 ・歯口清掃指導を実施する。 ・ツールを用いて健康教育を実践する。 ・対象者に合わせた健康教育を立案、実施、評価する。 ・健康教育実践時に対象者へ配慮する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/6	09:00-11:50	その他	健康教育の基礎	T 小学校健康教育実習 3年補助	吉田 直美	鈴木
4-5	7/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎	T 小学校健康教育実習振り返り/食 生活指導の基礎	吉田 直美	鈴木
6-7	10/3	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	健康教育の基礎	歯みがき剤	吉田 直美	歯磨き工業会 鈴木
8-9	10/10	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	健康教育の基礎	電動歯ブラシ実習	吉田 直美	Y 鈴木
10-11	10/17	09:00-10:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	健康教育の基礎	演習	吉田 直美	鈴木
12-13	10/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	ライフステージと健康課題 演習 課題の割り振りとグループ決定	吉田 直美	鈴木

14-15	10/31	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	ライフステージ別歯科的課題の抽 出と対応策	吉田 直美	鈴木
16-17	11/7	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	ライフステージ別歯科的課題の抽 出と対応策	吉田 直美	鈴木
18-19	11/13	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	ライフステージ別歯科的課題の抽 出と対応策	吉田 直美	鈴木
20-21	11/14	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	ライフステージ別歯科的課題の抽 出と対応策	吉田 直美	鈴木
22-24	11/19	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影	吉田 直美 近藤 圭子	鈴木
25-27	11/26	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影(相互実習)	吉田 直美 近藤 圭子	鈴木
28	11/26	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育	健康課題の抽出	吉田 直美	鈴木
29-30	12/3	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	発表	吉田 直美	鈴木
31-34	12/3	11:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育1	グループ編成の決定指導内容、 計画立案(シナリオ作成及び媒体 の検討、作成)	吉田 直美	鈴木
35	12/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	口腔内写真からのアセスメントの ポイント	吉田 直美	鈴木
36-37	12/5	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育2	計画および媒体の作成	吉田 直美	鈴木
38	1/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	ライフステージ別健康課 題演習	口腔内写真からのアセスメントの ポイント	吉田 直美	鈴木
39-40	1/15	10:00-11:50	口腔保健 学科第4	幼稚園児・小学生対象健 康教育3	媒体の作成	吉田 直美	鈴木

			講義室				
41	1/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育 4	媒体の作成	吉田 直美	鈴木
42	1/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育 5	リハーサルと相互評価	吉田 直美	鈴木
43	2/5	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	幼稚園児・小学生対象健 康教育 6	相互評価に基づく修正	吉田 直美	鈴木
成績評価の方法 ・課題レポート、期末の試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況、TOFLE の結果等を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 4 分の 3 以上の出席							
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,：医歯薬出版, 2011							
備考 実習、演習							

時間割番号	022239						
科目名	食生活教育						
担当教員	品田 佳世子, 吉田 直美, 大木 明子, 豊島 瑞枝						
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1		
科目名:食生活教育 時間数:30 時間(3 時間は 2 年の衛生・工学合同のPBL) 授業形態:講義・演習・実習							
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 栄養と代謝の知識を基に、健康を維持するための栄養と食生活について理解し、食生活教育に必要な知識と技能を修得する。							
授業の到達目標 ・栄養や食生活に関する国の取り組みについて理解し説明できる。 ・日本人の食事摂取基準について理解し説明できる。 ・健康づくりのための食育の必要性を理解し説明できる。 ・日本人の食生活の現状を理解できる。 ・ライフステージに適した食生活について理解し説明できる。 ・保健機能食品について理解し説明できる。 ・食生活指導の意義を理解し説明できる。 ・食生活と口腔保健の関連を理解し説明できる。 ・食品の形態と食べやすさの関係について理解し説明できる。 ・疾病と食生活指導の必要性を理解し説明できる。 ・個人の栄養・食事バランスを分析できる。 ・自らの食生活の現状を知り問題および課題を発見し、食生活教育方法を検討できる。 ・事例検討を通し、口腔健康教育のひとつとして食生活教育を企画立案する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/22	15:00-15:50	歯学部演習室	PBL	PBL	吉田 直美 大木 明子	PBL
2	5/29	13:00-13:50	歯学部演習室	PBL	PBL	吉田 直美 大木 明子	PBL
3	5/29	14:00-14:50	歯学部演習室	PBL	PBL	吉田 直美 大木 明子	PBL
4	6/24	15:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	国民健康栄養調査	国民健康栄養調査	品田 佳世子	
5	6/24	16:00-16:50	口腔保健学科第4講義室	食事摂取基準	食事摂取基準	品田 佳世子	
6	6/24	17:00-17:50	口腔保健学科第4講義室	食事調査	食事調査、自分の食生活の振り返り(課題に対するレポート)	品田 佳世子	演習:課題に対するレポート
7	7/1	15:00-15:50	口腔保健学科第4講義室	食育、食事バランスガイド、食生活の指針	食育、食事バランスガイド、食生活の指針	品田 佳世子	演習:自分の食事バランスのチェック
8	7/1	16:00-16:50	口腔保健学科第4講義室	食育推進計画	食育推進計画	品田 佳世子	

9	7/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	食育と口腔保健	食育と口腔保健	品田 佳世子	
10	7/8	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	特定保健用食品(トクホ)、栄養機能食品、機能性表示食品、特別用途食品	特定保健用食品(トクホ)、栄養機能食品、機能性表示食品、特別用途食品	品田 佳世子	演習:市販の特定保健用食品と栄養機能食品の実見
11	7/8	16:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	う蝕と甘味料、甘味飲食物	う蝕と甘味料、甘味飲食物	品田 佳世子	実習:甘味飲料のpH測定、糖度測定
12	7/8	17:00-17:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	う蝕と甘味料、甘味飲食物	う蝕と甘味料、甘味飲食物	品田 佳世子	実習:甘味飲料のpH測定、糖度測定
13	7/22	14:00-14:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	ライフステージにおける食事、食形態、栄養について:離乳、幼児食	ライフステージにおける食事、食形態、栄養について:離乳、幼児食	品田 佳世子	演習:離乳食の実際、試食
14	7/22	15:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	ライフステージにおける食事、食形態、栄養について:高齢者の食事、口腔機能との関連	ライフステージにおける食事、食形態、栄養について:高齢者の食事、口腔機能との関連	品田 佳世子	演習:高齢者のやわらか食、介護食の試食
15	7/22	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	食品の物性	食品の物性	品田 佳世子	
16	11/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔疾患と栄養、食生活との関係	口腔疾患と栄養、食生活との関係	品田 佳世子	
17	11/11	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	口腔疾患と栄養、食生活との関係	口腔疾患と栄養、食生活との関係	品田 佳世子	
18	11/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	糖尿病、高血圧症、腎疾患、脂質代謝異常症の患者の栄養に関する基礎	糖尿病、高血圧症、腎疾患、脂質代謝異常症の患者の栄養に関する基礎	品田 佳世子	

19	11/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	病態栄養	病態栄養、歯学部附属病院におけ る食事について	品田 佳世子, 豊島 瑞枝	
20	11/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	病態栄養、栄養補助食 品	病態栄養、歯学部附属病院におい て用いられている栄養補助食品 の説明と試食	品田 佳世子, 豊島 瑞枝	演習:歯学部附属 病院において用 いられている栄 養補助食品の試 食
21	12/9	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	食事・栄養調査、栄養分 析、食品成分表	食事・栄養調査、栄養分析、食品 成分表、	品田 佳世子	
22	12/9	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	栄養分析ソフトを用いて 自分の食事の栄養成分 分析を行う	栄養分析ソフトを用いて自分の食 事の栄養成分分析を行う	品田 佳世子	演習:栄養分析ソ フトを用いて自分 の食事の栄養成 分分析を行う
23	12/16	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	栄養指導の相互実習	栄養指導の相互実習	品田 佳世子	実習:2人一組 で、対象者の食 事調査、栄養分 析、情報収集から 栄養指導を行う
24	12/16	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	栄養指導の相互実習	栄養指導の相互実習	品田 佳世子	実習:2人一組 で、対象者の食 事調査、栄養分 析、情報収集から 栄養指導を行う
25	1/6	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	伝統食、各自の家庭や 地域で受け継がれてい る食事に関する発表	伝統食、各自の家庭や地域で受 け継がれている食事に関する発 表	品田 佳世子	課題発表:各自の 家庭や地域で受 け継がれている 食事に関する発 表
26	1/6	15:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	伝統食、各自の家庭や 地域で受け継がれてい る食事に関する発表	伝統食、各自の家庭や地域で受 け継がれている食事に関する発 表	品田 佳世子	課題発表:各自の 家庭や地域で受 け継がれている 食事に関する発 表
27	1/6	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	課題発表:各自の家庭 や地域で受け継がれて いる食事に関する発表	課題発表:各自の家庭や地域で受 け継がれている食事に関する発 表	品田 佳世子	課題発表:各自の 家庭や地域で受 け継がれている 食事に関する発 表
28	1/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	卒業研究発表会(工学) 見学	卒業研究発表会(工学)見学	品田 佳世子	
29	1/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	卒業研究発表会(工学) 見学	卒業研究発表会(工学)見学	品田 佳世子	
30	1/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	卒業研究発表会(工学) 見学	卒業研究発表会(工学)見学	品田 佳世子	

成績評価の方法 演習の課題レポートおよび前期・後期の期末客観試験・記述試験で総括的評価を行う。 出席状況、グループ討論、発表の態度等を総括的評価に加味する。
準備学習などについての具体的な指示 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。
試験の受験資格 授業の 2/3 以上の出席を要する。
教科書 人体の構造と機能 2 栄養と代謝／高橋信博, 江指隆年 ほか著, 医歯薬出版, 2016 保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編可児, 徳子, 1935-, 松井, 恭平, 1947-, 眞木, 吉信, 1954-, 全国歯科衛生士教育協議会, 医歯薬出版, 2015
参考書 糖尿病食事療法のための食品交換表／日本糖尿病学会 編・著, 日本糖尿病協会, 2013 腎臓病食品交換表：治療食の基準／黒川清 監修, 中尾俊之 編集代表, 医歯薬出版, 2016 日本食品成分表 = STANDARD TABLES OF FOOD COMPOSITION IN JAPAN：文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会報告／医歯薬出版 編, 医歯薬出版, 2016
備考 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 後期の午前に歯学部附属病院管理栄養士(豊島瑞穂)講義と演習あり。
連絡先 品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM。10:00-PM. 6:00 1号館西8階品田室

時間割番号	022240						
科目名	生体材料学						
担当教員	高橋 英和, 伊藤 奏						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1		
科目名: 生体材料学 時間数: 15 時間 授業形態: 講義, 討論							
主な講義場所 口腔保健学科 第 4 講義室							
授業の目的、概要等 顎口腔歯科領域の治療に使用される歯科生体材料の種類と使用法について学習する。							
授業の到達目標 ・歯科生体材料の一般的性質を理解する。 ・石膏の種類と使用方法を理解する。 ・印象材の種類と使用方法について理解する。 ・セメント(合着用セメント、成形修復用セメント)の種類と使用方法について説明する。 ・アクリルレジンおよびコンポジットレジンの種類と使用方法を説明する。 ・歯科補綴治療(セラミックス、インプラントを含む)に使用する材料の種類と使用方法を概説する。 ・歯科生体材料の安全性について理解する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科生体材料の特徴、 模型材 1	歯科生体材料の特徴とその素材、 歯科材料の所要性質 直接法と 間接法 模型材の所要性質、石膏 の種類と性質	高橋 英和	SBO's 1, 2
3-4	4/16	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	模型材 2 印象材 1	石膏の硬化反応に影響する各種 因子 印象材の概論, 印象材の 種類と特徴, ハイドロコロイド印象 材, ゴム質印象材	高橋 英和	SBO's 2, 3
5-6	4/23	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科生体材料の物理的 性質と化学的性質	歯科生体材料の物理的性質、機械 的性質、ひずみ線図 歯科生体 材料の機械的性質、硬さ、 歯科 生体材料の溶解性と腐食	高橋 英和	SBO's 1
7-9	5/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の加工法、 鋳造, 重合, 焼結	歯科精密鋳造の概要とその特徴 鋳造用合金の種類と特徴 義歯 床用レジンの特徴、レジンの重 合、裏装材、 歯科用陶材の種 類, 製作方法 義歯安定剤	高橋 英和	SBO's 6-9
10-11	5/14	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	合着材と接着材	合着材の所要性質と種類 グラス アイオノマーセメントの特徴 接 着性レジンセメントの特徴	高橋 英和	SBO's 5
12-13	5/21	10:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	成形修復材	歯科用アマルガムの性質と取扱 方法、グラムアイオノマーセメント の性質と取り扱い方法 コンポジット レジンの性質と取り扱い方法、接 着機序	高橋 英和	SBO's 4
14-15	6/4	10:00-11:50	口腔保健 学科第4	生体適合性 歯ブラシ まとめ	生体適合性の重要性和評価方法 歯ブラシの構造 歯科生体材料	高橋 英和	SBO's 10

			講義室		のまとめ		
授業方法							
講義, 討論							
成績評価の方法							
・期末の筆記試験で総括評価を行う。 ・必要に応じて小テストによる形態的評価を行う。 ・出席状況、平常学習態度等を総括評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
Webclass に講義資料をアップするので、疑問点があれば質問すること。							
試験の受験資格							
3 分の 2 以上の出席							
教科書							
歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017							
参考書							
・ 中 嶋 裕ほか編「スタンダード歯科理工学 ―生体材料と歯科材料― 第 6 版」学建出版 2016 年 ・ 小倉英夫ほか編「コア歯科理工学」医歯薬出版 2008 年 ・必要に応じてプリントを配布する。							
備考							
事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。また、学習する内容について各自で参考文献を読み、理解を深めること。							
連絡先							
高橋 英和takahashi.bmoe@tmd.ac.jp							
オフィスアワー							
高橋 英和あらかじメールにて面談時間を相談のこと							
2 号館 2 階 213 号室							

時間割番号	022241					
科目名	臨床検査					
担当教員	樺沢 勇司, 水口 俊介, 濱 洋平, 三浦 宏之, 栢森 高, 吉野 教夫					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
科目名:臨床検査 時間数:15 時間 授業形態:講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 口腔保健の実践に必要な臨床検査についての理論と実際を理解し、個々の対象者に応用できる問題解決能力を身につける。						
授業の到達目標 - 臨床検査の目的および意義を説明する。 - 主な臨床検査について説明する。 - 口腔領域のエックス線写真を読影する。 - 歯科金属アレルギー検査を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	12/4	13:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査1	総論、血液検査1	樺沢 勇司
2	12/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査2	血液検査2、課題発表、演習	樺沢 勇司
3-5	12/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査3	歯と歯周組織の X 線診断、X 線写真の読影法等	吉野 教夫
6-7	12/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査4	血液検査3、演習	樺沢 勇司
8	12/17	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査5	血液検査4、演習	樺沢 勇司
9	12/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査6	咀嚼機能検査	水口 俊介, 濱 洋平
10-11	12/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査7	病理検査	樺沢 勇司, 栢森 高
12-13	1/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査8	歯科用金属によるアレルギー検査	三浦 宏之
14-15	1/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	臨床検査9	口腔内の検査、演習、討論	樺沢 勇司
成績評価の方法 講義、グループ討論、発表の態度等を総合的評価に加味する。						

受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。 定期試験を実施する。
準備学習などについての具体的な指示
教科書 適時講義中に参考書等を紹介する。
備考 事前に資料の配布・アップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022243						
科目名	歯科診療補助論Ⅰ						
担当教員	伊藤 奏, 中山 玲奈, 高橋 英和, 中山 玲奈						
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2		
科目名: 歯科診療補助論Ⅰ							
時間数: 60 時間							
授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所							
口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
- 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 - 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 - 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。							
授業の到達目標							
- 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 - 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 - 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 - 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 - 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 - 印象材の種類とその特徴を説明する。 - 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療補助の概要	三大業務について 歯科診療補助の範囲、法的な定義	伊藤 奏	
3-4	4/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における医療安全	医療安全の基本的概念、BLS、医療法 医療安全に関わる用語の整理	伊藤 奏	
5-8	4/12	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	生体材料学実習: 石膏	石膏の練和方法、硬化時間、硬化膨張、硬化時の発熱	高橋 英和 伊藤 奏	
9-10	4/16	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	感染予防Ⅰ	感染予防の重要性、スタンダードプリコーションの概念、手指衛生	伊藤 奏	
11-12	4/17	13:00-14:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	感染予防Ⅱ	手指衛生、グローブ、エプロン、マスクの装着方法	伊藤 奏, 中山 玲奈	
13-16	4/19	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	生体材料学実習: 石膏	練和溶液が石膏の効果に及ぼす影響	高橋 英和 伊藤 奏	
17-18	4/23	13:00-14:50	口腔保健 学科第4	滅菌と消毒、医療廃棄物の取扱い	滅菌、消毒、洗浄の概念 歯科用器材の滅菌と管理、医療廃棄物の	伊藤 奏	

			講義室		取り扱い		
19-20	4/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療室の基礎知識	歯科診療室の環境、設備と構造	伊藤 奏	
21-23	5/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科診療における患者 対応	歯科診療の流れと患者の接遇、医 療者としての心構え	伊藤 奏	
24-27	5/10	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	生体材料学実習:印象	ハイドロコロイド印象材と模型の 再現性	高橋 英和 伊藤 奏	
28-31	5/15	13:00-16:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	医療面接	主訴、現病歴、既往歴について 医療コミュニケーション(良い例、 悪い例)	伊藤 奏	
32	5/29	15:00-15:50	その他	PBL(工学専攻と合同)			場所は適宜指定
33-36	5/31	13:00-16:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	生体材料学実習:印象	ゴム質印象材と模型の再現性	高橋 英和 伊藤 奏	
37-39	6/5	13:00-15:50	その他	PBL(工学専攻と合同)		伊藤 奏	場所は適宜指定
40-42	6/7	13:00-15:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	生体材料学実習:成形修 復材料と合着材の種類 と特徴	成形修復材料と合着材の種類と特 徴	高橋 英和 伊藤 奏	
43	6/12	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	バキューム、ライティン グ、3way シリンジの操 作	1 時間講義、2 時間実習(マネキ ン)	伊藤 奏 中 山 玲奈	
44-46	6/17	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科材料の取り扱いと 管理について	石膏、印象材、薬品等の管理と取 り扱い	伊藤 奏	
47-49	6/19	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	教材演習	シミュレーション教材の実施	伊藤 奏	
50-51	6/26	13:00-14:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健	共同動作の概念と基本 術者、補助者、患者の姿 勢	1 時間講義、1 時間相互実習室で 実習+演習	伊藤 奏	

			学科第4 講義室				
52-55	7/3	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	診療室の環境整備	下拭き、中拭き、清拭の違い(3年生の実習見学) グループワーク	伊藤 奏	
56-57	7/4	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	フォーハンドシステム	講義と実習(マネキン) トランス ファーゾーン、デンジャラスゾーン	伊藤 奏、中 山 玲奈	
58-60	7/19	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室	スキル評価(OSCE 形式)	トレーセッティングから患者の誘導、位置と姿勢	伊藤 奏	その他教員1名

成績評価の方法

- ・提出課題、試験の結果により総括的評価を行う。
- ・出席状況および平常学習態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第2版)／合場千佳子 ほか 著,合場, 千佳子,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

デンタルスタッフのクリニカルマナー：歯科医院における受付・患者対応と事務／合場千佳子, 品田和美, 水木さとみ, 山根瞳 編,合場, 千佳子,品田, 和美,水木, さとみ,:医歯薬出版, 2018

歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬, 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

履修上の注意事項

- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。講義開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022244						
科目名	歯科診療補助論Ⅱ						
担当教員	伊藤 奏						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	2		
科目名: 歯科診療補助論Ⅰ							
時間数: 60 時間							
授業形態: 演習・実習・講義							
主な講義場所							
口腔保健学科第 4 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
・ 口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。 ・ 歯科診療の補助における医療安全、感染予防の概要および留意点を理解する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、基本的な歯科衛生士に必要な技術を身につける。 ・ 歯科材料を実際に使用し、その性質や特徴を知り、取り扱い方を学ぶ。							
授業の到達目標							
・ 医療安全、スタンダードプリコーションの基本的概念を説明する。 ・ 歯科診療補助の基本的な枠組みと法的定義について説明する。 ・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明する。 ・ 歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的技術を修得する。 ・ 石膏の所要性質および操作時の注意点を説明する。 ・ 印象材の種類とその特徴を説明する。 ・ 合着材やコンポジットレジンの特徴を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	10/1	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	医療安全管理	危険予知トレーニング、医療安全管理 相互実習マニュアル配布	伊藤 奏	
4-6	10/3	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施①	各種機器材の準備実習(リネン包み、滅菌パック)	伊藤 奏	10/15 発表課題学 習の告知
7-9	10/8	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施②	診療室の管理(下拭き、中拭き、清拭)	伊藤 奏	
10-12	10/10	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	滅菌と消毒の実施③	相互実習シミュレーション 診療室の管理(トラップ清掃等)	伊藤 奏	
13-15	10/15	13:00-15:50	口腔保健	歯科疾患と全身疾患	課題演習および発表	伊藤 奏	ノートパソコン持

			学科第4 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室				参
16-18	10/17	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科用セメントの取り扱い(実習)	グラスアイオノマーセメント(フジIX)	伊藤 奏	株式会社 GC
19-22	10/21	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	概形印象採得(マネキン)	アルジネート印象材と石膏の取り扱い	伊藤 奏	株式会社 GC
23-25	10/29	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	診療補助各論(保存修復)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
26	11/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	留学報告会	2, 3, 4 年生合同	伊藤 奏	場所は適宜指示
27-29	11/5	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	バイタルサイン	バイタルサイン関連実習	樺沢 勇司, 伊藤 奏	秒付き砂時計持 参(あれば)
30-32	11/18	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	診療補助各論(歯内療法)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
33-36	12/10	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	診療補助各論(歯周治療)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
37-39	12/17	11:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	器材試験 1	保存、歯内、歯周	伊藤 奏	

40-42	1/8	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(歯科補綴)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
43-45	1/21	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(口腔外科 1)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
46-48	1/23	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(口腔外科 2)	診療補助の概要、器材を扱う実習	伊藤 奏	
49-53	1/29	13:00-17:50	その他	障害者口腔保健センターの見学		伊藤 奏	学外施設(飯田橋) 現地集合現地解散 スーツ着用
54-56	1/30	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	器材試験 2	歯科補綴、口腔外科	伊藤 奏	
57-60	2/4	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	スキルチェック		伊藤 奏	

成績評価の方法

- ・ 提出課題、試験の結果により総括的評価を行う。
- ・ 出席状況および平常学習態度等を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・ e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・ Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・ 事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著、医歯薬出版、2017

デンタルスタッフのクリニカルマナー：歯科医院における受付・患者対応と事務／合場千佳子、品田和美、水木さとみ、山根瞳 編、合場千佳子、品田、和美、水木、さとみ、著、医歯薬出版、2018

歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義、三浦英司 著、宮田、孝義、1946-、三浦、英司、1957-、学建書院、2018

履修上の注意事項

- ・ 教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。
- ・ 講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。講義開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・ 実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022246						
科目名	臨床口腔保健衛生実習Ⅰ						
担当教員	伊藤 奏, 樺沢 勇司, 中山 玲奈, 上條 真吾						
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	1		
科目名:臨床口腔保健衛生実習Ⅰ 時間数:45 時間 授業形態:演習・実習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室・臨床基礎実習室・相互実習室・歯学科補綴実習室							
授業の目的、概要等 ・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な技術を身につける。 ・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標 ・器材の種類・特性・用途を理解する。 ・診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。 ・器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。 ・器材の管理方法を説明する。 ・患者を安全に誘導する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	6/12	14:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	バキューム、ライティン グ、3way シリンジの操 作	マネキン実習	伊藤 奏	
4-5	6/27	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	衛生材料の作製	綿球、ロールワッテ、小折ガー ゼ、アルコールワッテ	伊藤 奏	
6-8	7/5	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室 口腔保健 学科第4 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	滅菌物の取り扱い	リネン、滅菌パックの準備と取扱 い カスト、ピンセット、鉗子の取 り扱い	伊藤 奏	
9-11	7/12	09:00-11:50	口腔保健 学科相互 実習室	診療室の管理	ユニットの整備(トラップ、パキュ ーム装置の管理)	伊藤 奏	

			口腔保健 学科第4 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室				
12-16	10/28	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	共同動作(相互実習1)	姿勢と位置の確認、ライティング、 バキューム、3way シリンジの操作	伊藤 奏	その他教員2名
17-20	10/31	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	概形印象採得(相互実 習・下顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏、中 山 玲奈	その他教員1名
21-24	11/7	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	概形印象採得(相互実 習・上顎)	アルジネート印象材と石膏の取り 扱い	伊藤 奏、中 山 玲奈	その他教員1名
25-27	11/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	頭頸部、顎関節、軟組織 の評価	シミュレーターを用いた実習	樺沢 勇司、 伊藤 奏	M&D タワースキ ルスラボ
28-31	11/14	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室 口腔 保健学科 第4講義 室	共同動作(相互実習2)	フォーハンドテクニックの実際、器 具の受け渡し	伊藤 奏、中 山 玲奈	その他教員1名

32-36	11/15	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室 補綴実習 室 口腔 保健学科 臨床基礎 実習室	平行模型の作製 1	平行模型の作製実習	上條 真吾, 伊藤 奏	持ち物:上下顎模 型、ワックスパイ ト、ゴーグル、マ スク、筆記用具
37-40	11/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	課題演習	スキルスラボの利用	伊藤 奏	
41-45	11/29	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室 補綴実習 室 口腔 保健学科 臨床基礎 実習室	平行模型の作製 2	平行模型の作製実習	上條 真吾, 伊藤 奏	持ち物:上下顎模 型、ワックスパイ ト、ゴーグル、マ スク、筆記用具

成績評価の方法

- ・筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。

実習は 3/4 以上出席すること。

教科書

歯科診療補助論(第2版)／合場千佳子 ほか 著, 医歯薬出版, 2017

参考書

- ・ 器材準備マニュアル第5版 全国歯科衛生士教育協議会編 財団法人 口腔保健協会

履修上の注意事項

- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。講義開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。 ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022248						
科目名	歯科衛生過程の基礎						
担当教員	吉田 直美						
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1		
科目名: 歯科衛生過程の基礎 時間数: 15 時間 授業形態: 講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室							
授業の目的、概要等 人々の健康ニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を理解する。							
授業の到達目標 ・歯科衛生過程の概念を説明する。 ・歯科衛生過程の構成要素を説明する。 ・歯科衛生過程の必要性と重要性を説明する。 ・対象者の情報を分類・整理する。 ・対象者の歯科衛生分野における問題を明確化し、優先順位をつける。 ・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。 ・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。 ・歯科衛生評価を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	10/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の概念	歯科衛生過程とは、歯科衛生過程 の構成要素	吉田 直美	
2	10/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント	情報収集	吉田 直美	
3	10/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント	情報処理(分類・整理)	吉田 直美	
4	10/31	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生アセスメント	情報処理(解釈・分析)	吉田 直美	
5	11/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断	情報の統合	吉田 直美	
6	11/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生診断	歯科衛生診断文	吉田 直美	
7	11/14	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生計画	計画立案	吉田 直美	
8	11/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生介入	介入方法の決定 業務記録	吉田 直美	
9	11/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生介入	介入方法の決定 業務記録	吉田 直美	

10	12/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生評価	評価	吉田 直美	
11	12/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の展開	事例演習	吉田 直美	12/13 卒業研究 発表会
12	12/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	歯科衛生過程の展開	事例演習	吉田 直美	
成績評価の方法 課題レポート、期末の試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編：医歯薬出版，2015 歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美，遠藤圭子，渡邊麻理，鈴木純子 著：クインテッセンス出版，2015							
参考書 歯科衛生ケアプロセス／下野正基 監修，佐藤陽子，齋藤淳 編著，下野正基，保坂誠，Ginny Cathcart 著：医歯薬出版，2007 よくわかる歯科衛生過程／全国歯科衛生士教育協議会 編：医歯薬出版，2015 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド／佐藤陽子，齋藤淳：医歯薬出版株式会社，2015							
備考 演習							

時間割番号	022249					
科目名	児童・家庭福祉Ⅰ					
担当教員	樺沢 勇司, 雨宮 由紀枝					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 児童・家庭福祉Ⅰ 時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。						
授業の到達目標 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や社会的養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/14	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と子ども、家庭	児童を取り巻く社会環境、子育て ニーズ	雨宮 由紀枝
4-6	6/21	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	児童・家庭福祉とは何か、子どもと家庭の権利保障	児童観、児童の権利に関する条約 理念・意義	雨宮 由紀枝
7-9	6/28	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	児童福祉の発展・児童福祉と法	児童・家庭福祉の歴史(日本・欧米) 関連法、実施体制、行財政、専門職、権利擁護	雨宮 由紀枝
10-12	7/5	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	母子保健 障害・難病のある子どもと家庭への支援地域における子育てと青少年育成保育	母子保健施策、母子保健法、障害・難病のある子どもと家族のニーズ、支援制度 児童健全育成施策 保育制度、保育施策	雨宮 由紀枝
13-15	7/12	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	子育て支援 ひとり親家庭の福祉	子育て支援施策 母子及び父子並びに寡婦福祉法、自立支援	雨宮 由紀枝
成績評価の方法 講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						

試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること
教科書 新・社会福祉士養成講座15児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集,：中央法規出版, 2016
備考 担当教員(非常勤) 雨宮由紀枝 日本女子体育大学

時間割番号	022250					
科目名	障害児・者福祉Ⅰ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 山田 美代子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 山田美代子(西方医療福祉研究会)、中山玲奈、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・障害福祉制度の変遷について学び、保健・医療・福祉・教育・労働の連携について理解する。						
・障害者福祉の理念の変化を概観し、障害者自身の活躍に注目する中で「共に歩む」を考える。						
授業の到達目標						
・医療従事者に必要な障害児・者福祉について理解できる。						
・国際的な障害の概念と障害者福祉制度の変遷と現代社会における障害者の福祉課題を理解できる。						
・障害者と家族の生き方や社会的役割、保健・医療・福祉などの専門職に共通する価値・倫理との関連を説明できる。						
・ノーマライゼーション、リハビリテーション、インクルージョンなどの障害者福祉の理念を説明できる。						
・障害児教育の変遷について学び、「共に学ぶ」「共に生きる」の意義を理解し、福祉教育や心のバリアフリーと社会のあり方を理解できる。						
・現代の障害者福祉の法体系について学び、「障害者が地域で生きる」ことの意義、ユニバーサル社会の本質について説明できる。						
・国連・障害者権利条約の特徴と意義について理解し、障害者差別とは何かを考え、「共生社会」を築くためのわが国の課題について理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	6/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の現状	わが国の障害者の生活実態、現代社会における障害児・者福祉の課題	中山 玲奈, 山田 美代子, 古屋 純一
4-6	6/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉制度の変遷 「障害」概念の変遷	「障害」概念とわが国の障害者観の変遷	山田 美代子
7-9	7/2	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念1 障害者福祉の理念2	リハビリテーション理念の進展 国際的な ICIDH/IICF モデル 自立生活運動と当事者活動 優生保護法と障害者観	山田 美代子
10-12	7/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者福祉の理念3 障害者福祉の理念4	ノーマライゼーション理念の進展 特殊教育、特別支援教育 インクルージョン理念と多様性の尊重	山田 美代子
13-15	7/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害者と「生命の尊厳」 障害者福祉のまとめ	障害者福祉制度の現状、改革 グループディスカッション	中山 玲奈, 山田 美代子
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						

・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2019
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022251					
科目名	地域福祉Ⅰ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 藤高 直之					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 藤高直之(立正大学)、中山玲奈、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域福祉の歴史や基本的考え方を理解する。						
・地域福祉に係る組織や専門職の役割について理解する。						
授業の到達目標						
・地域福祉に関わる基本的な用語を理解し、説明できる。						
・地域福祉の関わる法制度を理解し説明できる。						
・地域福祉の歴史と発展に寄与した人物について説明できる。						
・地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について説明できる。						
・地域福祉の推進方法(ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の基本理念	地域コミュニティと住民、社会福祉法、人権尊重、権利擁護、社会的包摂	藤高 直之
4-6	4/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の歴史的展開	地域福祉の源流、COS 活動とセツルメント運動、戦後日本の地域福祉	藤高 直之
7-9	4/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	コミュニティケアの展開	地域コミュニティ視点の登場	藤高 直之
10-12	4/26	13:00-15:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉を支える組織	行政組織、地方自治体、民間組織、社会福祉協議会、地域住民、民生委員、児童委員の役割と実際	藤高 直之
13-15	5/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の現状と課題、まとめ	地域福祉に関する基本的用語、今日の地域福祉における課題	藤高 直之, 古屋 純一, 中山 玲奈
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。						
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						

試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2015
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022252					
科目名	高齢者福祉Ⅰ					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数:15 時間 1 単位						
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:古屋純一、中山玲奈、清水行栄、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域で活躍する歯科衛生士に必要なとなる、高齢者の特徴や社会情勢、高齢者の生活支援に必要な医療・保健・福祉の知識、生活機能や栄養など生活支援に必要な評価法を理解する。						
授業の到達目標						
・超高齢社会について説明できる。						
・高齢者の身体的・精神的特徴や高齢者に多い全身疾患や口腔の変化を説明できる。						
・高齢者の生活支援に必要な生活機能評価や栄養評価を説明できる。						
・包括的な高齢者支援を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	超高齢社会とは	高齢者を取り巻く社会環境の変化、高齢者・高齢化の定義	古屋 純一
2	4/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 1	身体・精神機能の変化	古屋 純一
3	4/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の特性 2	口腔機能の変化、高齢者の総合的理解	古屋 純一
4	4/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 1	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一
5	4/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 2	脳血管疾患、循環器疾患、変性疾患、認知症、糖尿病	古屋 純一
6	4/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者に多い全身疾患 3	高齢者の高次脳機能障害の実際	古屋 純一
7	4/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の居住と生活	高齢者の居住環境、生活環境	古屋 純一
8	4/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活機能の評価	ADL、IADL、ICF、ICIDH	古屋 純一
9	4/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知機能の評価	MMSE、HSDR、ウェクスラー知能検査、ADAS	古屋 純一
10	5/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第4	高齢者の栄養評価	栄養評価法、必要栄養量、高齢者で不足しやすい栄養	古屋 純一

			講義室				
11	5/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の栄養ケア	栄養ケアの実際	古屋 純一	
12	5/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の食事・栄養と口 腔機能	栄養サポートチーム(NST)と歯科 医療	古屋 純一, 中山 玲奈	
13	5/27	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の実際 1	高齢者福祉の実際例、ゴミ屋敷	古屋 純一	
14	5/27	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の実際 2	高齢者福祉の実際例、若年性認知 症	古屋 純一	
15	5/27	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一	
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総合的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総合的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総合的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総合的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2016 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版、2015							
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。							

時間割番号	022253					
科目名	介護福祉Ⅰ					
担当教員	古屋 純一, 中山 玲奈, 早田 雅美, 中澤 栄理, 川崎 つま子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、中山玲奈、早田雅美(NPO 法人ハート・リング運動)、川崎つま子、中澤栄理(特別養護老人ホームベタニアホーム)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域で活躍する歯科衛生士に必要な、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。						
授業の到達目標						
・介護と介護予防の概念、対象について説明できる。						
・生活支援に必要な介護の技術について説明できる。						
・認知症とその生活支援について説明できる。						
・介護の実際例から社会における介護の問題点を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/13	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知症ケアと介護の実際例 1	自宅での介護の実際	古屋 純一, 中山 玲奈, 早田 雅美
2	5/13	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知症ケアと介護の実際例 2	自宅での介護の実際	古屋 純一, 中山 玲奈, 早田 雅美
3	5/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	認知症ケアと介護の実際例 3	介護に関わる多職種と連携の重要性	古屋 純一, 中山 玲奈, 早田 雅美
4	6/3	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護の概念と対象	介護と介護予防の概念・理念と対象	古屋 純一, 中澤 栄理
5	6/3	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	ケアプランと自立支援	自立支援と介護過程	古屋 純一, 中澤 栄理
6	6/3	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護の実際	介護の実際	古屋 純一, 中澤 栄理
7	6/10	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 1	口腔衛生の看護と介護	古屋 純一
8	6/10	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 2	身支度・移動・睡眠の看護と介護	古屋 純一, 川崎 つま子
9	6/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 3	入浴・清潔・排泄の看護と介護	古屋 純一, 川崎 つま子

10	6/17	09:00-09:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	高齢者の生活支援 1	高齢者の介護の問題	古屋 純一
11	6/17	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活支援 12	高齢者医療と介護の連携	古屋 純一
12	6/17	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者の生活支援 3	高齢者の介護と口腔機能	古屋 純一
13	6/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 4	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	古屋 純一, 中山 玲奈
14	6/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 5	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	古屋 純一, 中山 玲奈
15	6/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	生活支援技術 6	車いすの操作・介助方法 杖の 種類および使用・介助方法	古屋 純一, 中山 玲奈
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席						
教科書 新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2016 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版, 2015						
参考書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2016						
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。						

時間割番号	022254					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅰ					
担当教員	吉田 直美					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
主な講義場所 口腔保健学科第4講義室						
授業の目的、概要等 保健・医療・福祉に携わる専門職として、対象との信頼関係を構築するためにカウンセリングの基本知識、基本技術、基本的態度を修得する						
授業の到達目標 ・保健・医療・福祉サービスの専門職として対象とコミュニケーションをとる際の基本的態度・基本姿勢を説明する ・保健・医療・福祉サービスの専門職として対象とコミュニケーションをとる際のカウンセリング基本スキルを説明する ・保健・医療・福祉サービスの専門職としてカウンセリング基本スキルを用いて、コミュニケーションする						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助と専門職	カウンセリング概説	吉田 直美
2	4/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	基本的態度	吉田 直美
3-5	5/13	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	基本姿勢・質問法	吉田 直美
6-8	5/20	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	確認・要約	吉田 直美
9	5/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	感情	吉田 直美
10-12	6/3	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	感情・共感	吉田 直美
13-15	6/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	カウンセリング基本演習	まとめ	吉田 直美
成績評価の方法 ・授業内でのレポートおよび小テストで総括的評価を行う。 ・受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。						
準備学習などについての具体的な指示 e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格 2/3 以上の出席						
教科書 みるみる身につく歯科衛生士のコミュニケーション力／中村千賀子, 吉田直美 著.: 口腔保健協会, 2014						
備考 演習						

時間割番号	022255					
科目名	相談援助演習Ⅰ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 30 時間 1 単位						
授業形態: 演習						
担当教員: 古屋純一、中山玲奈						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、歯科衛生士に求められる相談援助の係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標						
・相談援助の特徴を説明することができる。						
・相談援助の内容・方法・プロセスを説明することができる。						
・相談援助に関する実践上の課題について、自ら意見を述べることができる。						
・相談援助と口腔保健における実践の関連性について関心をもち、調べ考えることができる。						
・相談援助実習に向けた自分の興味や関心を持ったことと学習課題を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	10/4	09:00-13:50	口腔保健 学科第4 講義室	オリエンテーション ソーシャルワーク実践	演習の進め方についてのグループワーク	中山 玲奈, 古屋 純一
5-7	10/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	専門職としての価値・倫理と自己覚知	ロールプレイ	中山 玲奈
8-10	10/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎Ⅰ	言語・非言語コミュニケーション	中山 玲奈
11-12	11/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎Ⅱ	面接技法について	中山 玲奈
13-15	11/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎Ⅲ まとめ	記録法と情報整理法 今までの授業のまとめ	中山 玲奈
16-18	11/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際Ⅰ	グループワーク	中山 玲奈
19-21	11/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実際Ⅱ	グループワーク	中山 玲奈
22-24	11/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎Ⅳ	事例検討(アセスメントまで)	中山 玲奈
25-27	12/6	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の基礎Ⅴ	事例検討(アフターケアまで)	中山 玲奈

28-30	12/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	中山 玲奈 古屋 純一	
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I / 社会福祉士養成講座編集委員会 編集: 中央法規出版, 2015							
履修上の注意事項 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。							
備考 課題発表、グループワーク含む							

時間割番号	022256					
科目名	児童・家庭福祉Ⅱ					
担当教員	樺沢 勇司、雨宮 由紀枝					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
科目名: 児童・家庭福祉Ⅱ 時間数: 15 時間 授業形態: 講義						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について理解するとともに、現代社会における児童福祉の社会的背景、理念と意義について理解する。 ・社会福祉士に必要な児童福祉の特質への理解を深める。						
授業の到達目標 ・現代社会における児童の成長・発達と生活実態について説明できる。 ・ライフサイクルにおける児童期の位置づけ・とらえ方を説明できる。 ・近代・現代社会における子どもの権利および子どもを巡る問題について説明できる。 ・現代社会における児童福祉の理念と意義について説明できる。 ・児童福祉に関する法とサービス体系について説明できる。 ・児童のための地域・住環境整備と相談援助活動について説明できる。 ・近代・現代社会における国家・家族・児童の関連について説明できる。 ・児童福祉の歴史、児童福祉の仕組み、問題発生の際の機序について説明できる。 ・児童福祉サービスの種類やあり方について説明できる。 ・少年非行や社会的養護について説明できる。 ・母子保健、保育政策など発達期の児童福祉について説明できる。 ・子ども虐待の問題とその防止の取り組みについて概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	8/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児の福祉、児童虐待対策	障害について、療育・福祉施策、特別支援教育、自立支援、社会的背景・実態、被虐待児保護、児童虐待防止法	雨宮 由紀枝
9-15	9/27	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	非行児童・情緒障害児の支援、社会的養護、子ども家庭への相談援助活動	非行・情緒障害の理解・動向、非行児童・情緒障害児とその家族への支援、相談援助の方法、社会的養護と児童・家庭福祉援助活動	雨宮 由紀枝
成績評価の方法 講義内のディスカッション、授業への参加状況、課題レポート等により総合的に評価する。						
準備学習などについての具体的な指示						
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。						
教科書 新・社会福祉士養成講座15 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集.: 中央法規出版、2016						
備考 担当教員(非常勤) 雨宮由紀枝 日本女子体育大学						

時間割番号	022257					
科目名	障害児・者福祉Ⅱ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 山田 美代子					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 山田美代子(西方医療福祉研究会)、中山玲奈、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・障害種別の特性について理解し、具体的な支援の在り方を学び、自分なりの障害者観・関わり方を確立できるよう学ぶ。						
・現代社会における障害児・者福祉の課題について、保険・医療・福祉専門職として果たせる役割を考える。						
授業の到達目標						
・身体障害、知的障害、精神障害、発達障害、高次脳機能障害など、具体的な障害種別の特性について理解し、支援にあたり求められる視点・姿勢を獲得する。						
・知的障害と出生前診断、発達障害と児童虐待、精神障害の長期入院と隔離施策、重症心身障害児と医療的ケア・生命の尊厳など、障害児・者福祉と医療的課題に着目し、医療専門職として自分なりの視点や姿勢の確立をめざす。						
・障害者雇用施策の変遷と就労支援の現状について学ぶなかで、「働くこと」の意義、ILO が提唱する「ディーセントワーク(decent work)(人間らしい尊厳をもった働き方)」について説明できる。						
・エンパワメントの視点に立った支援について学び、障害児・者が地域で暮らすことの意義、まちづくりについて考え、自分なりの支援の在り方・関わり方を修得することをめざす。						
・当事者主体の視点から、自己決定の尊重、意思決定支援などについて学び、自分なりに実践する具体的な方法の修得をめざす。						
・障害児・者福祉の学びを通して、医療者として福祉的な支援を必要とする人に関わる際の価値観・倫理観を獲得する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	9/24	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	障害児・者福祉の現状、 障害者の種類と特性、 障害と出生前診断、精神 障害と「隔離施策」、発達 障害の種類と特性	日本の障害児・者福祉の現状、現代社会 における障害児・者福祉の課題、3 障害 の分類と「障害」の定義、出生前診断の 変遷と「障害者の生命」、精神障害者福 祉の変遷と「隔離施策」の関係性、発達 障害者支援法と自閉症、学習障害、注意 欠陥多動性障害の特性	中山 玲奈, 山 田 美代子, 古 屋 純一
9-15	9/25	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	発達障害児と児童虐待、 高次脳機能障害と特性、 エンパワメントと地域生 活、重症心身障害児・者 と生命の尊厳、当事者 主体と自己決定 の尊 重・意思決定支援	発達障害児と虐待の関係、人格形成へ の影響、高次脳機能障害の種類と特性、 支援における課題、重症心身障害児・者 の概念と支援の実態、「生命の尊厳」を 考える、当事者主体の地域生活支援、自 己決定の尊重と意思決定支援	山田 美代子, 中山 玲奈
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						

・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 14 障害者に対する支援と障害者自立支援制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2019
備考 課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022258					
科目名	地域福祉Ⅱ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 藤高 直之					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 藤高直之(立正大学)、中山玲奈、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第 4 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域福祉の基本的考え方を踏まえ、地域福祉の現状を理解する。						
・ネットワークングをはじめとする地域福祉の推進方法と課題について理解する。						
授業の到達目標						
・対象者、地域によって異なる地域福祉の現状を理解し、課題について考察することができる。						
・地域福祉を推進していくために、必要な資源や対策を考察することができる。						
・地域福祉の推進方法(ネットワークング、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む)について具体的に説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-8	7/29	09:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉の推進法 地 域福祉の実際Ⅰ	社会福祉法、コミュニティワーク、 ネットワークング、社会資源の活 用・調整・開発、社会福祉施設の地 域拠点、福祉教育とボランティア 活動	中山 玲奈、 藤高 直之、 古屋 純一
9-15	7/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	地域福祉計画策定 地 域福祉の実際Ⅱ	地域福祉計画策定の流れ、実践 「住民参加による福祉のまちづく り」地域福祉計画における住民主 体形成、福祉輪—ビスの評価方 法、第三者評価事業、福祉の情報 提供と苦情解決システム	藤高 直之、 中山 玲奈
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。						
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格						
3 分の 2 以上の出席						
教科書						
新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2015						
備考						
課題発表、グループワークを含む						

時間割番号	022259					
科目名	高齢者福祉Ⅱ					
担当教員	古屋 純一, 中山 玲奈, 清水 文, 竹内 純, 郷田 瑛					
開講時期	後期	対象年次	2	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、清水文(東大病院口腔顎顔面外科)、竹内純(原宿リハビリテーション病院歯科)、中山玲奈、郷田瑛(逗子メディスタ イルクリニック訪問診療センター)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第 4 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者福祉の歴史、高齢者福祉に関する法律、介護保険制度、介護保険サービス、高齢者支 援の実際を理解する。						
授業の到達目標						
・高齢者福祉の成り立ちを説明できる。						
・高齢者福祉に関する法律を説明できる。						
・介護保険制度と介護保険サービスを説明できる。						
・包括的な高齢者支援の実際を理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	9/30	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者福祉の歴史	高齢者保健福祉の起源と生成、発 展	古屋 純一
2	9/30	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に 関する法律 1	高齢者保健福祉の法体系と関連 法規	古屋 純一
3	9/30	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者医療保険福祉に 関する法律 2	老人福祉法、高齢者の医療の確 保に関する法律、高齢者虐待防止 法	古屋 純一
4	10/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 1	介護保険制度の概要、目的	中山 玲奈, 古屋 純一
5	10/7	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 2	要介護認定、保険給付、介護報酬	中山 玲奈, 古屋 純一
6	10/7	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険制度 3	地域支援事業、介護保険事業計画	中山 玲奈, 古屋 純一
7	10/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 1	居宅サービス	古屋 純一
8	10/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 2	施設サービス	古屋 純一
9	10/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	介護保険サービス 3	介護予防サービス	古屋 純一

10	10/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 1	急性期病院における高齢者支援	古屋 純一, 清水 文
11	10/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 2	回復期病院における高齢者支援	古屋 純一, 竹内 純
12	10/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 3	地域における高齢者支援	古屋 純一, 中山 玲奈
13	11/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 4	在宅における高齢者支援	古屋 純一, 郷田 瑛
14	11/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第4 講義室	高齢者支援の実際 5	多職種連携による高齢者支援	古屋 純一, 郷田 瑛
15	11/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2016

高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版, 2015

備考

担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)

古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022260					
科目名	現代社会と福祉 I					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
時間数: 30 時間 2 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、中山玲奈						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
- 保健・医療・福祉の専門職に共通する人権擁護や社会正義などの価値・倫理を理解する。 - 現代社会における社会福祉の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。						
授業の到達目標						
- 事実としての社会福祉が、なぜ現代社会に存在しているのかを、人々の生活と社会のあり方から理解する - 現代の社会福祉の課題を多様な側面から理解する - 社会福祉の手段と利用資格を規定している考え方について考えることが出来る - 社会福祉を仕掛けている主体、利用者、専門職の多様性を理解する - 市民参加の必要性を理解することが出来る						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	オリエンテーション	社会福祉入門	中山 玲奈, 古屋 純一
2	4/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉という「仕掛け」	中山 玲奈
3	4/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
4	4/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	生活の変動と「強い個人」	中山 玲奈
5	4/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
6	4/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	福祉国家と生活のリスク管理	中山 玲奈
7	5/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
8	5/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	福祉国家の「再編」と社会的排除	中山 玲奈
9	5/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈

10	5/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉の多様な供給主体と新しい公私関係	中山 玲奈
11	5/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
12	5/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	地方分権と「地域福祉計画」	中山 玲奈
13	5/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
14	5/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉のニーズと利用資格	中山 玲奈
15	5/31	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
16	6/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉の具体的手段と資源	中山 玲奈
17	6/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
18	6/7	16:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	施設という生活形態と脱施設化	中山 玲奈
19	6/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
20	6/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	地域で生活すること ― 自立生活運動の歴史と展開	中山 玲奈
21	6/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
22	6/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	地域福祉の具体的展開	中山 玲奈
23	6/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
24	6/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	地域の問題と支え合いによる解決の課題	中山 玲奈
25	6/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈

26	6/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉の現業組織と市民への 「窓口」	中山 玲奈
27	7/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	グループワーク	中山 玲奈
28	7/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	「援助する人々」ー専門職、ボラ ンティア、そして「当事者」	中山 玲奈
29	7/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	放送大学	社会福祉は誰のためにあるのか ー自立・参加・連帯ー	中山 玲奈
30	7/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	中山 玲奈 古屋 純一

成績評価の方法

・放送大学での試験を実施する。

・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

・放送大学による授業のため事前に教務係に申し込むこと

・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。

・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。

・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

放送大学テキスト

履修上の注意事項

・放送大学による授業のため事前に教務係に申し込むこと

・授業履修者は、事前に担当教員に履修について相談すること

備考

課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022261					
科目名	現代社会と福祉Ⅱ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 遠藤 康裕					
開講時期	前期	対象年次	2	単位数	2	
時間数:30 時間 2 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 遠藤康裕、中山玲奈						
主な講義場所 口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等 ・本講義では多様化する社会、その社会が抱える課題と福祉のかかわりについて学ぶ中で、自分自身の生活が社会とつながっていることを理解し、社会の課題について考える。						
授業の到達目標 ・現代社会の課題と福祉について説明できる。 ・現代社会における社会福祉の価値やその意義を説明できる。 ・福祉政策の展開過程や方法について説明できる。 ・国際的な比較を踏まえ今後の福祉のあり方について考えられる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	8/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	現代社会と福祉	現代社会と福祉について、社会の変化と福祉	遠藤 康裕, 古屋 純一, 中山 玲奈
4-7	8/27	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策と福祉の思想・哲学	福祉と福祉政策、福祉の思想と哲学	遠藤 康裕
8-10	8/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	社会政策と福祉政策	社会政策と福祉政策	遠藤 康裕
11-14	8/28	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の展開	福祉政策の発展過程、少子高齢化時代の福祉政策	遠藤 康裕
15-17	8/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の実際	福祉政策における必要と資源、福祉政策の理念・主体・手法	遠藤 康裕
18-22	8/29	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	制度体系と関連領域	福祉政策の関連領域、社会福祉制度の体系	遠藤 康裕
23-29	8/30	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉サービスと方法	福祉サービスの提供、福祉サービスと援助活動	遠藤 康裕
30	8/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	福祉政策の国際比較と今後の展望	福祉政策の国際比較、福祉政策の課題と展望	遠藤 康裕
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						

・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 4 現代社会と福祉 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2014
備考 課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022262					
科目名	ソーシャルワークⅠ					
担当教員	中山 玲奈, 金原 明子					
開講時期	通年	対象年次	2	単位数	4	
時間数: 60 時間 4 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 中山玲奈、金原明子(東京大学)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第4 講義室						
授業の目的、概要等						
・相談援助の理論と方法に関する基本的事項について学ぶ。						
・相談援助の事例を通じて、相談援助の実践について学ぶ。						
授業の到達目標						
・相談援助の対象者が置かれている社会的背景を理解できる。						
・相談援助の知識・技術を具体的な事例の提示を通して理解できる。						
・相談援助に対する考え方(人権尊重・権利擁護・自立支援等)を理解し、総合的かつ包括的な援助のあり方を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-7	4/5	09:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助とは	ソーシャルワークの定義と構成要素について	中山 玲奈
8-9	4/26	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の構造と機能	ソーシャルワークの構造、ソーシャルワークの機能から導き出されるソーシャルワーカーの役割とは	中山 玲奈
10-14	5/17	13:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	人と環境の交互作用	ソーシャルワーク理論の展開	中山 玲奈
15-17	5/24	15:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のためのアウトリーチの技術	ミクロからマクロまでの実践領域について	中山 玲奈
18-19	6/14	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助における援助関係、展開過程Ⅰ	ケースの発見から支援の実施まで、事例検討	中山 玲奈
20-21	6/21	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践Ⅰ	モニタリングから支援の強化まで	中山 玲奈
22-23	6/28	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の展開過程Ⅱ	事例検討	中山 玲奈
24-25	7/5	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助の実践Ⅱ	アウトリーチの機能と方法、留意点	中山 玲奈
26-27	7/12	16:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための契約の技術	契約の意義と目的	中山 玲奈
28-35	7/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第4	相談援助のためのアセスメントの技術	アセスメントツールや得た情報の使い方について	中山 玲奈

			講義室				
36-39	10/4	14:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための介入 の技術、ソーシャルワ ークと援助関係	介入の意義と戦略について、ソー シャルワークにおける援助関係、 援助関係の形成と活用	中山 玲奈 金原 明子	
40-41	10/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための経過 観察、再アセスメント、 効果測定、評価の技術	モニタリングの手続きや効果測定 のための方法について	金原 明子	
42-43	10/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための面接 の技術	面接技法	金原 明子	
44-45	11/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための記録 の技術	ミクロ・メゾ・マクロレベルでの記 録の活用法	金原 明子	
46-47	11/8	13:00-14:50	口腔保健 学科第4 講義室	相談援助のための交渉 の技術	コミュニティエンパワメントの理論 と技術	金原 明子	
48-51	11/22	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	事例検討	グループディスカッション	金原 明子	
52	11/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第4 講義室	事例検討	グループディスカッション	中山 玲奈	
53-56	12/6	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	事例検討	グループディスカッション	金原 明子	
57-60	12/20	13:00-16:50	口腔保健 学科第4 講義室	まとめ	これまでのまとめ	中山 玲奈 金原 明子	
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 新・社会福祉士養成講座 7 相談援助の理論と方法 I 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015							
備考 課題発表、グループワークを含む							

第 3 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022263					
科目名	歯科薬理・薬剤学					
担当教員	坂本 裕次郎 田村 幸彦 青木 和広					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
科目名: 歯科薬理・薬剤学 ユニット番号: 3001 授業形態: 講義 時間数: 必修 1 単位・15 時間 科目責任者・ユニット責任者: 坂本 裕次郎・田村 幸彦						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 医薬品の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に利用するために必要な基本的知識を修得する。						
授業の到達目標 ・呼吸器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・消化器系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・内分泌系薬物、ホルモン剤の種類と作用について概説できる。 ・悪性腫瘍治療薬の種類と作用について概説できる。 ・痛みと薬物について概説できる。 ・血液・造血系に作用する薬物について概説できる。 ・免疫系作用薬の種類と作用について概説できる。 ・歯科用医薬品の特徴および使用の留意点について概説できる。 ・歯内療法薬、歯周疾患治療薬の種類と作用について概説できる。 ・病原微生物作用薬(消毒薬・化学療法薬)の種類と作用について概説できる。 ・漢方薬物療法について概説できる。 ・医薬品の剤形、処方箋および保管方法について概説できる。 ・薬事関連法規について概説できる。 ・臨床試験と薬害について概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	呼吸器系作用薬	鎮咳薬、去痰薬、気管支拡張薬、 喘息治療薬、呼吸促進	田村 幸彦
2	4/16	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	消化器系作用薬	食欲・消化作用薬、消化性潰瘍治 療薬、胃腸運動改善薬、腸疾患作 用薬	田村 幸彦
3	4/23	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	内分泌系作用薬・代謝系 疾患治療	糖尿病治療薬、ホルモン拮抗薬	田村 幸彦
4	5/7	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	悪性腫瘍治療薬	化学療法薬、口腔領域の悪性腫瘍 治療薬	田村 幸彦
5	5/14	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	免疫調節薬・免疫療法薬	免疫抑制薬、免疫増強薬、ワクチ ン製剤、抗アレルギー薬、特異的 抗リウマチ薬、抗ヒスタミン薬	江面 陽一
6	5/21	13:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科用医薬品の特徴と 使用	歯科保存薬・歯内療法薬・歯周疾 患治療薬	大槻 昌幸

7	5/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	血液と薬物	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広
8	6/4	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	循環器作用薬	貧血治療薬、局所性・全身性止血薬、抗血栓療法薬、血液製剤	青木 和広
9	6/11	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	漢方薬物療法	漢方薬	高橋 悦子
10-11	6/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	感染と薬物 1, 2	消毒薬、抗菌薬(抗生物質、抗真菌薬、抗結核薬、抗ウイルス薬)	高橋 悦子
12	6/25	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	医薬品の分類・薬事関連法規	薬機法、日本薬局方及び局方薬、毒薬劇薬、麻薬、向精神薬、覚せい剤、医薬部外品、化粧品	小林 英文
13	7/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	薬物の取り扱い・服薬指導	処方箋、調剤と製剤、配合変化、保存方法、剤形	小林 英文
14	7/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	医薬品の特徴と使用	医薬品の特徴と剤形、医薬品の使用方法と留意点	小林 英文
15	7/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床試験と薬害	臨床試験に関わる倫理規定、臨床試験のあり方・方法、臨床試験の課題、薬害	小林 英文

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況および授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に資料配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、必ず目を通してから講義に臨むこと。
- ・すでに終了している講義の復習をすることを勧める。

参考書

薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編:医歯薬出版, 2018
 薬理学／全国歯科衛生士教育協議会 編,川口充, 大浦清, 大谷啓一, 戸苅彰史, 加藤有三, 篠原光子 著,川口, 充, 1948-,大浦, 清, 1950-, 大谷, 啓一, 1949-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2015
 現代歯科薬理学／鈴木邦明, 戸苅彰史,青木和広他編, 大谷啓一監修:医歯薬出版, 2018
 薬理学／全国歯科衛生士教育協議会:医歯薬出版, 2013
 最新薬理学: 疾病の成り立ち及び回復過程の促進／大浦清, 戸苅彰史 編集,大浦, 清, 1950-,戸苅, 彰史,:学建書院, 2017
 絵でみる和漢診療学／寺沢捷年 著,寺沢, 捷年, 1944-,,:医学書院, 1996
 ラング・デール薬理学: 電子書籍(日本語・英語版)付／渡邊 直樹 監修,渡邊 直樹 翻訳,渡邊 直樹,:丸善出版, 2018-12-17
 コメディカルのための薬理学／渡邊泰秀, 樋口マキエ 編集,渡邊, 泰秀, 1954-,樋口, マキエ, 1944-,,:朝倉書店, 2012

履修上の注意事項

- ・アクティブラーニング型講義中に各自の学内無線 LAN につながるスマートフォン、PC あるいはタブレット端末をクリックカー代わりに用いて回答を求める場合がある

備考

演習によるアクティブラーニングの実施

連絡先

坂本 裕次郎:y.sakamoto.bs@tmd.ac.jp
 青木 和広: kazu.hpha@tmd.ac.jp
 田村 幸彦:tamu.hpha@tmd.ac.jp

オフィスアワー

坂本 裕次郎:随時 1号館西8階

青木 和広: 随時(必ず事前に連絡を入れること)2号館2階 217号室(口腔基礎工学分野)

田村 幸彦:毎週金曜日 16:00-19:00 MDタワー7階北 研究室(N713)

事前にメールなどで御連絡下さい。

時間割番号	022264						
科目名	矯正歯科学						
担当教員	樺沢 勇司、辻 美千子						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
科目名:臨床歯科医学							
時間数: 15 時間							
授業形態: 講義							
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
授業の目的、概要等							
・顎口腔機能の発達過程および不正咬合との関連を理解し、顎口腔機能の育成および個性正常咬合獲得を、口腔保健の立場から支援するための知識を修得する。							
授業の到達目標							
・正常な歯列咬合の状態を理解する。							
・不正咬合の種類とその影響を理解する。							
・不正咬合の診断に必要な資料・情報を理解する。							
・不正咬合の診断・治療法を概説できる。							
・歯科矯正器材と装置の種類・取り扱い方を概説できる。							
・歯科矯正治療におけるチーム医療を理解する。							
・歯科矯正治療中の患者の口腔保健指導を理解する。							
・歯科矯正治療中の患者の口腔ケアと心理的支援を理解する。							
・顎口腔機能の育成を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	9/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科矯正学概論/成長発 育/咬合	不正咬合の生理的・心理的障害、 矯正治療の目的とその必要性、矯 正歯科治療の歴史、矯正歯科臨床 における歯科衛生士の役割、成長 発育曲線、顎・顔面・頭蓋の成長発 育歯列の成長発育、正常咬合の 定義、不正咬合の種類と分類、不 正咬合の原因、不正咬合の予防、 演習を行なう。	辻 美千子	
4-5	10/4	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	口腔習癖/歯の移動	口腔習癖の種類と頻度、咬合・咀 嚼・発音・嚥下への影響、口腔筋 機能療法、矯正力、歯の移動・組 織反応、歯の移動様式について の演習を行なう	辻 美千子	
6-7	10/18	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正診断 1,2	診査と情報の収集(相談・問診・写 真・口腔模型・パノラマエックス線 写真・頭部エックス線規格写真、口 腔機能検査等)、症例分析法、治 療方針の立て方について演習を 行なう。	辻 美千子	
8-9	10/25	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正器具/矯正材料	矯正用器具の種類とその取扱い、 矯正材料の種類と取扱い、につい て演習を行なう。	辻 美千子	

10-11	11/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正装置/不正咬合の 治療法と保定	舌側弧線装置、マルチブラケット 装置、床矯正装置、機能的顎矯正 装置、側方拡大装置、顎外固定装 置、保定装置など、各装置の説明 と注意事項、前後の関係・垂直的 関係の不調和に対する治療法と その保定について演習を行なう。	辻 美千子	
12-13	11/8	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療/矯正歯科 関連実習説明・国試対策	先天異常疾患・顎変形症に対する チーム医療、矯正歯科関連実習説 明、国試対策について演習を行な う。	辻 美千子	
14-15	11/15	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	矯正歯科治療における 歯科衛生士の役割2	診査の補助、歯科矯正治療の補 助、各種装置の取扱い、矯正治療 中の口腔保健管理等について演 習を行なう	樺沢 勇司、 辻 美千子	歯科衛生保健部 の古澤実夏講師 による講義
成績評価の方法							
随時の小テスト・レポートで形成的評価、期末の客観試験、記述試験で総括的評価を行う。							
準備学習などについての具体的な指示							
・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、各自予習して授業に臨むこと。							
試験の受験資格							
・3 分の 2 以上の出席							
参考書							
咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修 氷室利彦 ほか著、：医歯薬出版、2011 歯科矯正学(新・歯科衛生士教育マニュアル)／葛西一貴、新井一仁、須田直人、三浦廣行 編集、：クインテッセンス出版、2015 歯科矯正学と診療補助／遠藤敏哉 著、：クインテッセンス出版、2001 矯正歯科治療とオーラルハイジーン・コントロール／高田健治 監修、保田好隆、日高修 著、：クインテッセンス出版、2000 歯科矯正学／相馬邦道、飯田順一郎、山本照子、葛西一貴、後藤滋巳 編、：医歯薬出版、2008							
履修上の注意事項							
事前に資料の配布、e-learning 上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。							

時間割番号	022265					
科目名	歯科放射線学					
担当教員	樺沢 勇司、大林 尚人					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
主な講義場所						
1号館西 7 階、第3講義室						
授業の目的、概要等						
歯科診療の診断に必要な放射線に関して、チーム医療に必要な知識、基本的手技を習得する。						
授業の到達目標						
・放射線物理の基本的な内容を説明できる。						
・歯科放射線の撮影方法について説明できる。						
・放射線撮影にあたり、撮影の意味とその被爆の程度や適切な防護について説明できる。						
・放射線治療の概要について説明できる。						
・CT や MRI などの画像診断法について概説できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/9	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線物理	放射線と放射能って何？ X線の性質、X線の発生、物質との相互作用について演習を行なう	大林 尚人
3-4	4/16	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影法と画像形成	X線撮影装置の基本構造、フィルムの現像と管理について演習を行なう	大林 尚人
5-6	4/23	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助 1	パノラマX線装置と撮影用機材、口内法撮影(二等分法、平行法、咬合法)について演習を行なう	大林 尚人
7-8	5/7	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	X線撮影の補助 2	パノラマX線写真の撮影と読影、デジタルX線撮影法の仕組みについて演習を行なう	大林 尚人
9-10	5/14	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	放射線治療—腫瘍学と生物学	放射線の生物学的影響とその防護についての演習を行なう	大林 尚人
11-12	5/21	14:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	放射線の管理と防護	放射線被曝、被曝線量の測定、放射線防護学についての演習を行なう	大林 尚人
13	5/28	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診断1	画像診断についての演習を行なう	大林 尚人
14	6/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎口腔領域の放射線診断2	画像診断についての演習を行なう	大林 尚人
15	6/11	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	画像診断機器	CT,MRI,PET/CT,RI 検査、超音波画像についての演習を行なう	大林 尚人
成績評価の方法						
必要に応じてレポートの提出を課すとともに、期末の客観試験、記述試験で総括的評価を行う。出席状況、授業態度を総括評価に加味する。						
準備学習などについての具体的な指示						
事前に対応する講義内容の教科書等にて事前学習を行なって参加すること。						

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。

教科書

歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほかに著,岡野, 友宏, 1947-,全国歯科衛生士教育協議会,: 医歯薬出版, 2009

時間割番号	022266						
科目名	チーム医療の基礎						
担当教員	吉田 直美, 木村 文香, 河野 章江, 高柳 久与, 柴崎 美紀, 本松 裕子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科第3 講義室							
授業の目的、概要等							
・チーム医療の重要性を理解し、歯科衛生活動の実践に生かすために必要な知識・技能・態度を修得する。							
授業の到達目標							
・医科歯科連携の重要性を説明する。							
各多職種連携によるチーム医療の意義目的を説明する。							
・多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	9/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療における歯 科衛生士の役割	多職種連携の実際、口腔衛生管理 の重要性	吉田 直美	鈴木
3	9/27	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 1	有病者に対する口腔ケアと医科歯 科連携	木村 文香	鈴木
4-5	10/4	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 2		河野 章江	鈴木
6-7	10/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 3	歯科診療所における周術期口腔 機能管理	高柳 久与	鈴木
8-9	11/1	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 4	病院歯科におけるチーム医療の 実践		柴崎美紀 鈴木
10	11/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 5	地域一体型 NST における歯科の 役割		鈴木
11	11/8	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 6	歯科を標榜しない急性期病院にお ける活動		鈴木
12	11/15	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 7	在宅における歯科衛生士の活動		鈴木
13	11/15	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 8	在宅における管理栄養士の活動		鈴木
14-15	11/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	多職種連携実践 9	緩和医療の看護ケアについて」と 「看護職との多職種連携」	本松 裕子	鈴木
成績評価の方法							
講義への出席状況、態度、課題により総合的に判断する。							
準備学習などについての具体的な指示							
・講義において必要な資料があれば、e-learning にアップしておくので、事前に確認の上、講義に出席すること。							

・高齢者歯科学で使用した講義資料をもとに、高齢者に対する基本知識を事前に確認しておくこと。
試験の受験資格 2/3 以上出席のこと。
履修上の注意事項 講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。
備考 演習

時間割番号	022267						
科目名	チーム医療の実践						
担当教員	吉田 直美、本村 一郎						
開講時期	後期	対象年次	3		単位数	1	
主な講義場所 口腔保健学科第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等 ・多職種連携実践に必要な知識・技術・態度を修得する。							
授業の到達目標 ・医科歯科連携の重要性を説明する。 ・口腔衛生管理の観点から、多職種連携実践の意義を説明する。 ・有病者および高齢者における口腔衛生上の問題を抽出し、必要な支援方法を計画・立案できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	1/6	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践1	高齢者疑似体験	吉田 直美 本村 一郎	鈴木
4-6	1/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践2	口腔機能の評価	吉田 直美	鈴木
7-9	1/17	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践3	歯科衛生計画の立案・発表	吉田 直美	鈴木
10-12	1/24	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践4	指導計画の立案	吉田 直美	鈴木
13-15	1/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	チーム医療実践5	有病者・要介護高齢者の口腔健康 管理に関する指導の展開	吉田 直美	鈴木
成績評価の方法 ・定期試験、提出課題により包括的な評価を行う。 ・出席状況および態度を加味して、評価を行う							
準備学習などについての具体的な指示 ・指定された教科書の内容を確認しておくこと。 ・事前に e-learning に資料がアップされている場合は、事前に内容を確認しておくこと。							
試験の受験資格 2/3 以上の出席が必要							
教科書 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子:医歯薬出版							
履修上の注意事項 講義中に行う演習に対する取り組み状況も成績評価に加味する。							
備考 演習、実習							

時間割番号	022268						
科目名	口腔機能管理実習						
担当教員	吉田 直美, 古屋 純一, 樺沢 勇司, 中山 玲奈, 豊島 瑞枝						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
歯学部附属病院内、学外施設他							
授業の目的、概要等							
加齢や障害に伴う身体・精神諸機能の変化や、高齢者・障害者の疾病の特徴を理解し、高齢者・障害者の医療・歯科医療に関する知識や技能の基礎を修得する。							
授業の到達目標							
・ 加齢や障害に伴う身体的・精神的・社会的変化を理解する							
・ 高齢者や障害者の疾病の特徴を理解する							
・ 高齢者や障害者の医療・歯科医療の留意点を理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	1/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	有病者・高齢者への口 腔衛生管理の実際 合 同実習のオリエンテー ション	専門的口腔衛生管理の実際 合同 実習の概要説明	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
3-4	1/10	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	要介護高齢者の口腔内 アセスメント マナボット	口腔ケアシミュレータを用いた実 習	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
5-7	1/17	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病高齢者の口腔衛生 管理 マナボット	各種口腔ケア用品の特徴 専門的 口腔衛生管理の実際(口腔ケアシ ミュレータを用いた実習)	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
8-9	1/24	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科相互 実習室	有病高齢者の口腔衛生 管理(相互実習)	専門的口腔衛生管理の実際 (相互実習)	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
10-12	1/31	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	摂食嚥下リハビリテーシ ョン	専門的口腔機能管理の実際(相互 実習)	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木

13-15	1/31	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	口腔吸引実習/食事介助 実習	食事介助実習 吸引器の操作(相 互実習)	樺沢 勇司, 古屋 純一, 中山 玲奈, 吉田 直美	鈴木
16	1/31	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	有病者・要介護高齢者 の口腔健康管理に関す る指導の展開1	実習指導案の検討	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
17-19	2/3	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	有病者・要介護高齢者 の口腔健康管理に関す る指導の展開2	合同実習シミュレーション	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
20-22	2/3	13:00-15:50	第1 総合 診療室	有病者・要介護高齢者 の口腔健康管理に関す る指導の展開3	医学科・歯学科との合同実習	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
23-25	2/5	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	食事介助 口腔衛生管理 時の吸引	食事介助実習 吸引器の操作(相 互実習)	中山 玲奈, 吉田 直美, 古屋 純一, 樺沢 勇司	鈴木
26-31	2/6	09:00-15:50	その他		施設見学実習	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
32-34	2/7	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	栄養管理と食支援		豊島 瑞枝	鈴木
35-36	2/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習の振り返り・シナリ オの修正	実習の振り返り・シナリオの修正	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
37-39	2/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	施設見学発表会	高齢者施設見学の成果発表	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
40-42	2/10	13:00-15:50	第1 総合 診療室	合同実習	医学科・歯学科との合同実習 高齢者施設見学の成果発表	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木
43-45	2/12	09:00-11:50	口腔保健 学科基礎 科学実習 室	食支援の実際	嚥下調整食の調理	吉田 直美 中山 玲奈	鈴木

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・高齢者の生理的特徴、口腔清掃用具の使用方法を復習しておくこと。
試験の受験資格 3/4 以上出席のこと。
教科書 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション
参考書 ・老年医学テキスト(日本老年医学会編) ・健康長寿診療ハンドブック(日本老年医学会編) ・高齢者総合的機能評価ガイドライン(鳥羽研二)
履修上の注意事項 ・施設見学の実習に際しては、事前のオリエンテーションを受けなければ実習に出席することはできない。
備考 演習、実習

時間割番号	022269					
科目名	高齢者歯科学					
担当教員	古屋 純一, 戸原 玄, 長谷 理恵, 阿部 里紗子, 大庭 優香, 松尾 浩一郎, 玉田 泰嗣, 猪原 光					
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、戸原玄、大庭優香、松尾浩一郎(藤田保健衛生大学歯科学講座)、猪原光(猪原歯科・リハビリテーション科)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、高齢者歯科学を理解する。特に、訪問診療による、入院や施設、在宅で療養する高齢者・要介護高齢者の口腔ケアや、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援を理解する。						
授業の到達目標						
・高齢者歯科学の概要を説明できる。						
・摂食嚥下のメカニズムと病態を説明できる。						
・摂食嚥下障害のスクリーニングテスト、VF、VE などの検査と診断を説明できる。						
・摂食嚥下リハビリテーションの目的と概要、間接訓練と直接訓練を説明できる。						
・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアを理解できる。						
・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療を理解できる。						
・オーラルフレイルと口腔機能低下症を説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	11/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科学とは 摂食嚥下のメカニズム	高齢者歯科学概論 口から食べる機能のメカニズム、解剖、生理	古屋 純一
2	11/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者に多い基礎疾患 フレイルとオーラルフレイル 摂食嚥下障害の病態	摂食嚥下障害の原疾患、異常像	古屋 純一
3	11/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔健康管理 の検査 摂食嚥下障害 の検査と診断	スクリーニングテスト、診察法、VF、VE、総合評価	古屋 純一、 長谷 理恵、 阿部 里紗子
4	11/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション 1	間接訓練	大庭 優香、 古屋 純一
5	11/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下リハビリテーション 2	直接訓練	大庭 優香、 古屋 純一
6	11/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者歯科医療の実際	高齢者歯科治療の考え方	古屋 純一、 玉田 泰嗣
7	12/2	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	在宅における摂食嚥下 リハビリテーションの実際 1	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄、古 屋 純一
8	12/2	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	在宅における摂食嚥下 リハビリテーションの実際 2	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄、古 屋 純一
9	12/2	11:00-11:50	口腔保健 学科第3	在宅における摂食嚥下 リハビリテーションの実際	事例検討、ロールプレイ	戸原 玄、古 屋 純一

			講義室	際 3		
10	12/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔ケア、チ ーム医療	誤嚥性肺炎予防、経口摂取支援を 目的とした口腔ケアと歯科治療、 NST、PCT	古屋 純一
11	12/20	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔機能管理 1 急性期・周術期の口 腔機能管理と口腔衛生 管理 1	急性期や周術期における口腔機 能管理・口腔衛生管理と多職種連 携	古屋 純一、 松尾 浩一郎
12	12/20	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者の口腔機能管理 2 回復期・終末期の口 腔機能管理と口腔衛生 管理 2	回復期・終末期における口腔機能 管理・口腔衛生管理と多職種連携	古屋 純一、 松尾 浩一郎
13	1/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	訪問歯科診療 1	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、 食支援、低栄養改善、QOL 向上を 目的とした訪問歯科診療	古屋 純一、 猪原 光
14	1/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	訪問歯科診療 2	誤嚥性肺炎予防、経口摂取確立、 食支援、低栄養改善、QOL 向上を 目的とした訪問歯科診療	古屋 純一、 猪原 光
15	1/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	オーラルフレイルと口腔 機能低下症 まとめ	フレイル、オーラルフレイル、口腔 機能低下症 これまでのまとめ	古屋 純一

成績評価の方法

- ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版，2015

歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編 日本歯科衛生士会 監修 金子 芳洋，1932-，日本歯科衛生士会：医歯薬出版，2011

備考

担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)

古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022270						
科目名	障害者歯科学						
担当教員	樺沢 勇司, 楠本 康香, 安田 昌代, 浅川 剛吉, 落合 聡, 綾野 理加, 壬生 美智子						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
1号館西7階 口腔保健学科 第3講義室							
授業の目的、概要等							
障害児・者に対して口腔保健の立場から支援する際に必要な知識、技術を習得する。							
授業の到達目標							
・障害の概念を理解する。							
・障害の種類と歯科的特徴について理解する。							
・障害児・者の歯科治療における行動調整について理解する。							
・障害児・者の歯科治療における健康支援と口腔管理について理解する。							
・障害児・者のチーム医療における歯科衛生士の役割について理解する。							
・障害児・者の歯科治療における医療体制（一次、二次、三次歯科医療体制）について理解する。							
・障害児・者のリスク評価と安全管理について理解する。							
・障害児・者の摂食嚥下障害とリハビリテーションの基本について理解する。							
・発音機能の発達とその異常について理解し、構音障害の訓練法を概説できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	11/11	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療	障害の分類およびその特徴、歯科 的特徴について、行動調整法につ いて演習を行なう	楠本 康香	
3-4	11/18	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	障害と歯科医療	診療計画立案、予後管理、医療体 制などについて演習を行なう	楠本 康香	
5-6	11/25	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	広汎性発達障害児・者 への歯科治療	演習・討論を行なう	浅川 剛吉	
7-8	12/2	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	発達障害児の食べる機 能、発達障害とその対 応	顎口腔の先天異常と摂食機能の 発達、唇顎口蓋裂児の哺乳と離 乳、ホッツ床、PNAMの治療効 果、家族・本人への精神的支援に ついて演習・討論を行なう	落合 聡	
9-10	12/9	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	摂食嚥下機能の遅滞、 重症障害児の摂食訓練	摂食嚥下機能の発達遅滞、遅滞を 助長する外部環境因子、異常パタ ーンの定着、重症心身障害児の摂 食訓練について演習・討論を行な う	綾野 理加	
11-12	1/6	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	言語聴覚療法	構音発達、機能性構音障害、器質 性構音障害(口蓋裂、舌小帯短縮 症)について演習・討論を行なう	壬生 美智子	
13	1/20	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯学部附属病院におけ る障害児・者に対する口 腔健康教育の実際	演習・討論を行なう	樺沢 勇司	歯科衛生保健部 の小西富代先生 による講義
14	1/20	14:00-14:50	口腔保健 学科第3	2次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士	障害児センター等の対応、障害 児・者と歯科衛生士の関わりにつ	安田 昌代	

			講義室	の関わり1	いて演習・討論を行なう		
15	1/27	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	2次医療機関における 障害児・者と歯科衛生士 の関わり2	事例紹介・まとめを行なう	安田 昌代	
成績評価の方法 期末の記述試験で総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。随時の小テスト等で形成的評価を行う。 出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書 障害者歯科／向井美恵 ほか 著、医歯薬出版、2013							
履修上の注意事項 授業では、授業範囲についてのディスカッションも行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							

時間割番号	022271						
科目名	臨床医学Ⅱ						
担当教員	樺沢 勇司						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2		
時間数: 30 時間							
授業形態: 演習・講義							
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
授業の目的、概要等							
・基礎疾患をもつ患者に対して、適切な口保健活動を行うために必要な臨床医学の知識を習得するとともに、患者の QOL 向上に寄与する継続的な口腔ケアのための多職種連携および多職種協働を検討する。							
授業の到達目標							
・感染の成り立ちおよび感染対策について学び、有病者に対して感染対策に配慮した口腔ケアを検討できる。また、感染症患者および易感染患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・小児科疾患について学び、小児患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・遺伝性疾患、染色体異常および遺伝カウンセリングについて学び、それらの患者の心情に配慮して、適切な口腔ケアを検討できる。							
・皮膚科疾患について学び、皮膚科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・耳鼻咽喉科疾患について学び、耳鼻咽喉科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・眼科疾患について学び、眼科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・泌尿器科疾患について学び、泌尿器科疾患患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・リハビリテーション医学について学び、リハビリテーションが必要な患者に対する適切な口腔ケアを検討できる。							
・スポーツ関連外傷・障害・疾患について学び、それらの患者に対して適切な口腔ケアを検討できる。							
・救急災害医学について学び、被災者に対する災害フェーズに適した口腔ケアを検討できる。							
・緩和医療・緩和ケア・心療医療について学び、患者の心身を支えつつ QOL を向上させるために、適切な口腔ケアを検討できる。							
・臨床医学を学び、基礎疾患をもつ患者に対して継続的な口腔ケアを提供するための多職種連携と協働を検討する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	小児が罹患しやすい感染症、幼 期以降にみられる小児内科疾患 の発症機序・症状・診断・治療につ いて演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 柳町 昌克	
3-4	4/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	低出生体重児・先天性疾患など新 生児期から乳児期に多くみられる 疾患の発症機序・症状・診断・治療 について演習、討論等を行なう	樺沢 勇司	医学部講義担当 者:勝崎 静香
5-6	4/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	主な皮膚科疾患の発症機序・症 状・診断・治療(加齢に伴う皮膚疾 患の変化を含む)について演習、 討論等を行なう	樺沢 勇司、 宇賀神 つか さ	
7	5/14	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	スポーツ関連の外傷・障害・疾患 の治療とその予防について演習、 討論等を行なう	樺沢 勇司、 柳下 和慶	
8	5/21	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	リハビリテーション医学について 演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 酒井 朋子	
9-10	5/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第3	臨床医学	リハビリテーション医学について 演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 酒井 朋子	

			講義室				
11-12	6/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	主な耳鼻咽喉科疾患の発症機序・ 症状・診断・治療について演習、討 論等を行なう	樺沢 勇司、 堤 剛	
13-14	6/5	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	頭頸部腫瘍の症状・診断・治療に ついて演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 朝蔭 孝宏	
15	6/12	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	総合診療医学について演習、討論 等を行なう	樺沢 勇司、 竹村 洋典	
16-17	6/25	14:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	主な眼科疾患の発症機序・症状・ 診断・治療について演習、討論等 を行なう	樺沢 勇司、 高橋 洋如	
18-19	7/3	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	主な泌尿器科疾患の発症機序・症 状・診断・治療(腎臓移植、加齢に 伴う変化を含む)について演習、 討論等を行なう	樺沢 勇司、 上原 翔	
20-21	7/10	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	災害時における救急医療につい て演習、討論を行なう	樺沢 勇司、 植木 穰	
22-23	7/16	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	緩和医療・緩和ケアの役割と早期 診断時からの緩和医療・緩和ケア について演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 三宅 智	
24-25	7/18	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	患者の心身を支える心療・緩和医 療について演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 宮島 美穂	
26	7/24	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	遺伝性疾患、染色体異常、遺伝カ ウンセリングについて演習、討論 等を行なう	樺沢 勇司、 江花 有亮	
27	7/24	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	講義全体のまとめ、医科歯科連携 の在り方について等の演習、討論 等を行なう	樺沢 勇司、 沼沢 祥行	
28-29	7/29	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床医学	感染性疾患の発症機序・症状・診 断・治療・感染対策(予防接種を含 む)について演習、討論等を行な う	樺沢 勇司、 貫井 陽子	

成績評価の方法

3 学年前期末に試験を行う。

講義中に行なう演習、討論、出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。

受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

準備学習などについての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッションも行なうので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。担当教員数も資料も多い講義なので、必ず復習して内容を確認すること。

試験の受験資格

試験の受験資格は、東京医科歯科大学歯学部試験規則第 11 条に準ずる。

履修上の注意事項

教科書等の資料は適時講義中に指示する。

時間割番号	022272					
科目名	口腔疾患予防応用学					
担当教員	近藤 圭子, 田澤 千鶴, 戸田 花奈子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、介入および歯科衛生業務記録を記載する。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	5/9	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュレーション)3	アセスメント3回目(主観情報、歯周組織検査、プラークチャート等)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
5-7	5/30	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	集団に対する口腔疾患予防の実践1	小児に対するフッ化物応用	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
8-10	7/16	13:00-15:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュレーション)10	評価2	近藤 圭子, 戸田 花奈子
11-12	7/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	歯科衛生業務記録の作成	ケースプレゼンテーションの準備 終了報告書の作成	近藤 圭子, 戸田 花奈子

			相互実習 室				
13-15	7/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースプレゼンテーショ ン	全体発表	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
成績評価の方法 ・定期試験、実技試験及び提出レポート・課題により総合的評価する。 ・出席状況、実習態度などを総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。							
試験の受験資格 2/3 以上出席が必要							
教科書 保健生態学／可児徳子，松井恭平，眞木吉信 編：医歯薬出版，2007 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修，高阪利美 ほか著：医歯薬出版，2011							
参考書 口腔保健推進ハンドブック：地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井稔博，池主憲夫，川口陽子，米山武義 編：医歯薬出版，2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著，吉田直美，小森朋栄 監訳，堀江明子，富田裕子 訳：医歯薬出版，2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著，和泉雄一，吉田直美，小森朋栄 監訳：医歯薬出版，2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著，和泉雄一，吉田直美，小森朋栄 監訳：医歯薬出版，2009 ・「歯科衛生士の臨床」ウイルキンス著 医歯薬出版 ・最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 ・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅠ「ベーシック スキル」 医歯薬出版 ・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅡ「アセスメントとインスツルメンテーション」 医歯薬出版 ・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅢ「デブライドメント」 医歯薬出版 ・目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーションⅣ「アドバンス スキル」 医歯薬出版 ・「歯科衛生ケアプロセス」下野正基監修 医歯薬出版 ・ザ・ペリオドントロジー 和泉雄一、沼部幸博、山本松男、木下淳博 編 永末書店 ・歯周病診断のストラテジー 吉江弘正、宮田 隆 編 医歯薬出版 ・最新歯科衛生士教本 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 ・臨床歯周病学 吉江弘正、伊藤公一、村上伸也、申 基詰 編 医歯薬出版 ・チームアプローチで成功させる実践的歯周治療 野口俊英、横田 誠 編 医学情報社 ・最新歯科衛生士教本 歯周疾患 歯周治療 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版 ・授業の際に印刷物を配付、または e-learning システム上にアップロードする。							
履修上の注意事項 ・実習態度いかんによっては、実習停止とすることがある。 ・原則として、欠席した実習について補講は行わないので、必ず実習に出席すること。							

時間割番号	022273					
科目名	口腔疾患予防応用学実習					
担当教員	近藤 圭子, 吉田 直美, 伊藤 奏, 中山 玲奈, 田澤 千鶴, 戸田 花奈子					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	2	
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室・臨床基礎実習室・相互実習室						
授業の目的、概要等 ・歯・口腔の健康状態を維持するための要因と、予防可能な口腔疾患の種類、その原因と予防法について理解する。 ・歯・口腔の状態把握および歯科予防処置の基本的知識と技術を修得する。						
授業の到達目標 ・う蝕予防と歯周歯科疾患予防の基礎を理解する。 ・歯、口腔(歯、歯肉、歯の付着物・沈着物)状態を把握できる。 ・器具の消毒・滅菌、感染予防、手指の消毒法、偶発事故の予防など生体への配慮の基本を実践しながら、歯科予防処置に必要な知識と技術を修得する。 ・歯科予防処置のうち、歯石除去、歯面清掃、SRP、う蝕予防処置、フッ化物歯面塗布、フッ化物洗口を実施できる。 ・歯科衛生過程にそって、口腔ケアを実施できる。 ・集団を対象としたう蝕予防の処置を計画実践する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	試験ケース	4年生試験ケース発表聴講	近藤 圭子, 戸田 花奈子
2-6	4/11	13:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実習ガイダンス1 口腔 内写真撮影 実習準備	試験ケースシミュレーション実習 の進め方 9枚法による口腔内写 真撮影(マネキン実習)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
7	4/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生業務記録の作 成1	SOAP 形式による歯科衛生業務の 記載方法の原則	近藤 圭子, 戸田 花奈子, 伊藤 奏
8-12	4/15	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)1	アセスメント1回目(口腔内写真撮 影)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
13-14	4/19	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	セルフケア用品の選択1	各種口腔衛生用品の選択につい て	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子

			相互実習 室				
15	4/22	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 2	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 戸田 花奈子	
16-20	4/25	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)2	アセスメント 2 回目(主観情報、歯 周組織検査、プラークチャート等)	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
21-22	4/26	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	セルフケア用品の選択2	音波ブラシの特徴と使用方法の指 導	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
23	5/8	13:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 3	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
24-28	5/13	11:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	計画書の作成	データの整理歯科衛生ケア計画 の立案	近藤 圭子, 戸田 花奈子	
29	5/20	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 4	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
30-33	5/23	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)4 口腔ケア 臨床体験実習 1	歯科衛生介入 1 口腔ケア診療室 見学 1	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	

			室			
34	5/27	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 5	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
35-39	6/13	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)5 口腔ケア 臨床体験実習 2	歯科衛生介入 2 口腔ケア診療室 見学 2	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
40-42	6/24	09:00-11:50	その他	集団に対する口腔疾患 予防の実践	幼稚園でのフッ化物塗布実習と健 康教育実習	
43-47	6/26	11:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	リーフレットの作成と終 了報告書の作成 ケー スプレゼンテーションの 基本	患者指導用媒体の作成ケースプ レゼンテーションの進め方	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
48-52	6/27	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)6 口腔ケア 臨床体験実習 3	歯科衛生介入 3 口腔ケア診療室 見学 3	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
53	7/1	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 6	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
54-58	7/3	11:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	根分岐部病変の評価 他	フアーケーションプローブの基本 操作	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子
59-63	7/4	13:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科	相互実習(ケースシミュ レーション)7 口腔ケア 臨床体験実習 4	歯科衛生介入 4 口腔ケア診療室 見学 4	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子

			相互実習 室				
64-67	7/9	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)8 口腔ケア 臨床体験実習 4	歯科衛生介入 5 口腔ケア診療室 見学 5	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
68	7/10	11:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成	情報の整理・解釈業務記録の記載	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
69-72	7/10	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯周インスツルメンテー ション(スキル評価)	技術の確認と評価	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
73-78	7/11	11:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)9	評価 1	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
79	7/16	16:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	相互実習(ケースシミュ レーション)10	評価2	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
80-81	7/17	15:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科衛生業務記録の作 成 10	ケースプレゼンテーションの準備 終了報告書の作成	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	
82-86	7/18	11:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	ケースプレゼンテーショ ン	グループ発表	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子	

			室				
87-88	7/30	11:00-13:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実技試験	OSCE	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子, 吉田 直美 伊藤 奏, 中 山 玲奈	
89-90	7/30	16:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	実技試験	OSCE	近藤 圭子, 田澤 千鶴 戸田 花奈子, 吉田 直美 伊藤 奏, 中 山 玲奈	
成績評価の方法 ・前期末の筆記試験、実技試験及び提出レポート・課題により総括的評価する。 ・出席状況、実習態度などを総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習して授業に臨むこと。 ・歯科予防処置、歯科保健指導、口腔疾患予防等に関する復習しておくこと。							
試験の受験資格 3/4 以上の出席が必要							
教科書 保健生態学／可児徳子, 松井恭平, 眞木吉信 編: 医歯薬出版, 2007 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修, 高阪利美 ほか著: 医歯薬出版, 2011							
参考書 口腔保健推進ハンドブック: 地域を支えるオーラルヘルスプロモーション／深井穫博, 池主憲夫, 川口陽子, 米山武義 編: 医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著, 吉田直美, 小森朋栄 監訳, 堀江明子, 富田裕子 訳: 医歯薬出版, 2009 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著, 和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2010 目で見えるペリオドンタルインスツルメンテーション／Jill S.Nield-Gehrig 著, 和泉雄一, 吉田直美, 小森朋栄 監訳: 医歯薬出版, 2009							
履修上の注意事項 ・実習態度いかんによって、実習中止とすることがある。							

時間割番号	022275						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅰ						
担当教員	吉田 直美						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科 1 号館 7 階第 3 講義室							
授業の目的、概要等							
・地域歯科保健活動を展開するために必要なアセスメント、ニーズ診断、企画立案能力を高めるとともに、介入後の変化を評価する手法を培う。							
・ライフステージごとの健康課題に応じた健康教育の計画立案、実践を行う。							
授業の到達目標							
・ライフステージごとの健康課題を説明する。							
・多様なライフステージの歯科衛生ニーズを把握する。							
・小学生および幼稚園児、大学対象の健康教育を企画立案し、実践する。							
・健康教育実施後の健康行動の変容を評価する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/8	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学生の健康課題	学童期の生活習慣と歯科的問題 講義 グループ編成の決定 前回の小学生への健康教育(ビデオ視聴) 小学1,2 年生への事前調査項目の検討	吉田 直美	鈴木
3-5	4/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2 年生への健康教育 1	グループディスカッション① 指導内容の検討 媒体の検討 使用媒体の決定	吉田 直美	鈴木
6-8	4/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2 年生への健康教育 2	シナリオと媒体の作成①	吉田 直美	鈴木
9-11	4/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2 年生への健康教育 3	シナリオと媒体の作成②	吉田 直美	鈴木
12-14	5/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 1	幼稚園歳児の健康課題 グループ編成の決定指導内容、計画立案(シナリオ作成及び媒体の検討)	吉田 直美	鈴木
15-17	5/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2 年生への健康教育 4	相互評価(リハーサル)に基づく改善点の抽出	吉田 直美	鈴木
18-19	5/27	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2 年生への健康教育 5	リハーサル(OH2 と合同)	吉田 直美	鈴木
20-22	5/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 2	媒体の作成①	吉田 直美	鈴木
23-25	6/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 3	媒体の作成②	吉田 直美	鈴木

26	6/5	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 6	最終リハーサル	吉田 直美	鈴木
27-28	6/5	10:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 7	実習準備(媒体の確認と歯磨きカ レンダーの印刷)	吉田 直美	鈴木
29-31	6/6	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 8	T 小学校での健康教育実習	吉田 直美	鈴木
32	6/6	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 9	T 小学校実習の振り返り、H 小グル ープによるシナリオ見直し	吉田 直美	鈴木
33-34	6/10	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 5	リハーサルと相互評価	吉田 直美	鈴木
35	6/10	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 10	H 小学校健康教育準備	吉田 直美	鈴木
36-39	6/12	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 11	H 小学校での健康教育実習	吉田 直美	鈴木
40	6/12	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 12	H 小学校実習の振り返り、片付け	吉田 直美	鈴木
41-42	6/19	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	大学生への健康教育	リーフレット作成	吉田 直美	鈴木
43	6/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	幼稚園児対象健康教育 6	実習準備	吉田 直美	鈴木
44-45	7/11	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	小学1・2年生への健康 教育 13	歯みがきカレンダーコメント 健 康教育実習振り返り	吉田 直美	鈴木

成績評価の方法

- ・小テスト、期末試験、レポートによる総括的評価を行う。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

成績評価の基準

準備学習などについての具体的な指示

- ・2 年次の健康教育の基礎で使用した資料を事前に確認しておくこと。
- ・Webclass に事前に配布された資料を確認しておくこと。

試験の受験資格

- ・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。

備考

演習 実習

時間割番号	022276						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅱ						
担当教員	吉田 直美, 小松 佳子, 鬼澤 かおる, 渡邊 麻理, 河野 章江						
開講時期	後期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科 1 号館 7 階第 3 講義室							
授業の目的、概要等							
・個性性を重視した健康教育を実践するために必要な知識・技術・態度を修得する。							
授業の到達目標							
・医療コミュニケーションの重要性を説明できる。							
・医療コミュニケーションスキルを実演できる。							
・医療コミュニケーション演習において患者役に配慮できる。							
・インプラントの特徴とセルフケアの重要性を説明できる。							
・障がい者に対する健康教育について説明できる							
・周術期口腔機能管理、在宅療養管理指導の意義目的を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	10/4	11:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	医療コミュニケーション ①	医療コミュニケーションの重要性 禁煙指導5A5R	吉田 直美 渡邊 麻理	
3-5	10/18	11:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	医療コミュニケーション ②	モチベーションインタビュー グの実際 医療面接の分析	吉田 直美 渡邊 麻理	
6	11/1	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外における歯科保健 活動	海外研修発表会	吉田 直美	鈴木
7-8	11/22	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	インプラント患者への口 腔健康管理	インプラントの特徴とセルフケア の重要性	吉田 直美 河野 章江	
9	11/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	障がい者に対する口腔 健康管理	障害者に対する健康教育の実際	吉田 直美	鈴木
10-11	11/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	周術期における口腔健 康管理	周術期患者へのセルフケア支援 周術期口腔機能管理の実際	吉田 直美	鈴木
12-13	1/17	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護概論	看護の視点 看護の基本となるもの	吉田 直美 小松 佳子	
14-15	1/24	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	看護過程	看護過程による看護の実際	吉田 直美 鬼澤 かおる	
成績評価の方法							
・小テスト、期末試験、レポートによる総括的評価を行う。							
・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
・2 年次の健康教育の基礎で使用した資料を事前に確認しておくこと。							
・Webclass に事前に配布された資料を確認しておくこと。							

試験の受験資格 ・試験規則を確認すること。 ・出席時間不足の場合は、受験することができない。
教科書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,高阪 利美,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2011
参考書 ウィルキンス歯科衛生士の臨床／E・M・ウィルキンス 著,遠藤圭子, 中垣晴男, 西真紀子, 眞木吉信, 松井恭平, 山根瞳, 若林則幸 監訳,Wilkins, Esther M,遠藤 圭子,中垣 晴男, 1945-,西, 真紀子,:医歯薬出版, 2015
備考 演習

時間割番号	022277						
科目名	歯科診療補助論Ⅲ						
担当教員	伊藤 奏, 近藤 圭子, 中山 玲奈, 隅田 由香, 黒田 真司						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
時間数: 30 時間							
授業形態: 講義・演習・実習							
主な講義場所							
口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室							
授業の目的、概要等							
・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な 技術を身につける。							
・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標							
・ 器材の種類・特性・用途を理解する。							
・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。							
・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。							
・ 各科で必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。							
・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。							
・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。							
・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。							
・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。							
・ 歯科診療報酬について理解する							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について1	社会保障制度の体系と医療保険	伊藤 奏	
4-6	4/17	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について2	歯科診療報酬の構成と各論	伊藤 奏	
7-8	5/15	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について3	事例演習	伊藤 奏	
9-12	5/20	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 第3講義 室	歯科保存処置関連実習	防湿法について ラバーダム防 湿法(基礎実習)	伊藤 奏, 中 山 玲奈	その他教員1名
13-14	5/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際1	顎顔面補綴学が対応する症例、補 綴症例 顎顔面補綴治療におけ る口腔衛生指導	隅田 由香, 伊藤 奏	
15-16	6/3	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	顎顔面補綴学 顎顔面 補綴治療の実際2	顎顔面補綴治療の実際に求めら れる心理ケア 顎顔面補綴治療 におけるチーム医療	隅田 由香, 伊藤 奏	
17-18	6/3	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科保険について4	事例演習	伊藤 奏	

19-22	6/10	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	診療補助各論(小児歯 科)	診療補助の概要 器材を扱う体験	近藤 圭子, 伊藤 奏	
23-26	7/22	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	外科手術における診療 補助	手術用ガウンの着用方法 メス、 縫合針の取り扱い 手術用器材 の展開方法	伊藤 奏	その他教員 3 名
27-30	7/23	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの埋入法 インプラ ントの補綴法	黒田 真司, 伊藤 奏	

成績評価の方法

- ・中間試験、前期末の筆記試験、提出レポート課題により 総括的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

- ・e ラーニングシステムに事前掲載された資料に目を通し、指示がある場合は事前準備(WebClass へのログイン、資料のダウンロード、リンクサイトからの情報収集等)を行うこと。予習や事前作業が必要な場合は、事前に詳細な指示を行う。
- ・Webclass に実験結果をアップするので、レポートの作成に用いること。
- ・事前に資料の配布、e-learning へのアップロード等があった場合には、予習して授業に臨むこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席が必要

教科書

歯科診療補助論(第 2 版)／合場千佳子 ほか 著、:医歯薬出版、2017

歯科衛生士のための歯科診療報酬入門／日本歯科衛生士会 監修,鳥山佳則, 石井拓男, 武井典子, 金澤紀子, 吉田直美 編集,鳥山, 佳則,石井, 拓男,武井, 典子,日本歯科衛生士会,:医歯薬出版, 2018

参考書

歯科材料／全国歯科衛生士教育協議会 監修,末瀬一彦 ほか 著,末瀬 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

歯科機器／末瀬一彦 ほか 著,末瀬 一彦, 1951-,全国歯科衛生士教育協議会,:医歯薬出版, 2017

履修上の注意事項

- ・教科書「歯科診療補助論 第 2 版」を必携とする。
- ・講義場所が実習室となっている場合は、必ず白衣を着用し、実習の身だしなみを整えた状態で、講義開始時間までに実習室に集合すること。講義開始時間までに身だしなみが整っていない場合は、遅刻扱いとする。
- ・実習に欠席しても、原則的に補講は行わないため、必ず実習に出席すること。

時間割番号	022278						
科目名	臨床口腔保健衛生実習Ⅱ						
担当教員	伊藤 奏, 樺沢 勇司, 中山 玲奈						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
科目名:臨床口腔保健衛生実習Ⅱ							
時間数:45 時間							
授業形態:実習・演習・講義							
主な講義場所							
口腔保健学科第3講義室・臨床基礎実習室・相互実習室 歯学科補綴実習室 歯学科保存・矯正実習室							
授業の目的、概要等							
・歯科臨床の場で必要な知識・器材の取扱い・技術を理解し、歯科衛生士に必要な基本的な 技術を身につける。							
・口腔保健・歯科医療の変遷と現状、歯科医療従事者の種類と役割、歯科診療の概要を理解する。							
授業の到達目標							
・ 器材の種類・特性・用途を理解する。							
・ 診療に必要な器械・材料・薬品の適切な準備と取り扱いを行う。							
・ 器材の特性にあわせ、滅菌・消毒を行う。							
・ 器材の管理の方法を説明できる。							
・ 患者の誘導の方法・患者とのコミュニケーションの取り方を理解する。							
・ チーム医療に必要な技能を理解し実践する。							
・ 各科に必要な器材を選択し、診療の流れにそって説明できる。							
・ バイタルサイン(意識レベルを含む)を測定し、判断できる。							
・ 救急蘇生について説明し、ダミーを使用し体験する。							
・ 歯科患者の特徴、心理状態を理解し説明できる。							
・ ライフサイクルに合わせた、歯科衛生士の関わりを理解する。							
・ 歯科保健医療に関わる職種をあげ、それぞれの役割を説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-4	4/8	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科用セメントの取扱い	セメント練和の実習(復習含む)	伊藤 奏	
5-8	4/18	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室 補綴実習 室	歯科補綴関連実習1	暫間被覆冠の種類と作製の実際	三浦 宏之 大竹 志保 伊藤 奏	
9-12	4/22	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科保存処置関連実習1	器材の取り扱いの実際(接着材)	井上 剛 伊 藤 奏	
13-16	5/16	13:00-16:50	保存矯正 実習室	歯科保存処置関連実習2	器材の取り扱いの実際(充填物)	井上 剛 伊 藤 奏	
17-20	5/30	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習	歯科保存処置関連実習3	防湿法の実際 ラバーダム防湿 法(相互実習)	金子 友厚 近藤 圭子 伊藤 奏	その他教員1名

			室				
21-24	6/17	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	小児歯科関連実習	小児における診療補助の実際(相互実習)	和田 奏絵 近藤 圭子, 伊藤 奏	その他教員 1 名
25-27	6/18	15:00-17:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科材料の取り扱い	各種印象材の取り扱い	伊藤 奏 中 山 玲奈	
28-29	6/20	13:00-14:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	歯科診療補助演習	各分野の歯科診療補助について まとめ	伊藤 奏	
30-33	7/1	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	口腔外科・歯科麻酔関連 実習	浸潤麻酔、静脈確保の実際	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	
34-37	7/2	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室 口腔 保健学科 相互実習 室	歯科補綴関連実習 2	精密印象。硬石膏の取り扱い(相互実習)	伊藤 奏 中 山 玲奈	その他教員 1 名
38-41	7/8	13:00-16:50	口腔保健 学科相互 実習室	救急蘇生法の実際	救急蘇生法実習	馬場 有希子, 樺沢 勇司, 伊藤 奏	
42-45	7/25	13:00-16:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	インプラントの臨床と制 作過程	インプラントの埋入法 インプラ ントの補綴法	黒田 真司, 伊藤 奏	

成績評価の方法

- ・中間試験、前期末の筆記試験、実習評価、提出レポート課題により 総括的評価する。
- ・出席状況、意欲・授業態度を総括的評価に加味する。

準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格

全講義の 2/3 以上出席すること。
実習は 3/4 以上出席すること。

教科書

歯科診療補助論(第2版)／合場千佳子 ほか 著,合場, 千佳子,全国歯科衛生士教育協議会,：医歯薬出版, 2017
歯科衛生士のための補綴科アシストハンドブック／宮田孝義, 三浦英司 著,宮田, 孝義, 1946-,三浦, 英司, 1957-,：学建書院, 2018

参考書

- ・最新歯科衛生士教本「歯科診療補助論」全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版
- ・よくわかる口腔インプラント学 赤川安正、松浦正朗編 医歯薬出版

- ・声と言葉のしくみ 亀田和夫 口腔保健協会
- ・口唇裂口蓋裂の補綴治療 大山喬史編 医歯薬出版社
- ・顎顔面補綴の臨床 大山喬史・谷口 尚著 医学情報社
- ・言語聴覚士に必要な歯科の知識 谷口 尚・片倉伸郎・大野友久・墨田由香著 インテルナ出版

履修上の注意事項

2 年次の臨床歯科医学(歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科・歯科麻酔学、小児歯科学)の講義内容を復習して授業に臨むこと。

備考

- ・事前に資料の配布、e-learning システム上へのアップロードなどがあった場合は、各自予習して授業に臨むこと。

時間割番号	022280				
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅰ				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3	単位数	7
主な講義場所 歯学部附属病院					
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。					
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。					
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) －口腔ケア実習 むし歯外来実習 歯周病外来実習 口腔外科外来実習 義歯外来実習 小児歯科外来実習 歯科放射線外来実習 中央器材室実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) －口腔ケア実習 歯周病外来実習 矯正歯科外来実習 歯科麻酔外来実習 小児歯科外来実習					

顎義歯外来実習 インプラント外来実習 スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習 スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習 病棟実習 歯科アレルギー外来実習 歯科心身医療外来実習 顎関節治療部実習 スポーツ歯科外来実習 息さわやか外来実習 検査部実習 薬剤部実習
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
準備学習などについての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。
教科書 :医歯薬出版
参考書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,:医歯薬出版, 2007 歯の硬組織・歯髄疾患・保存修復・歯内療法／千田彰, 中村洋 ほか著,:医歯薬出版, 2010 歯周疾患／申基哲, 松井恭平, 白鳥たかみ 編,:医歯薬出版, 2006 顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著,:医歯薬出版, 2011 咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修,氷室利彦 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほか著,:医歯薬出版, 2009 小児歯科／大嶋隆 ほか著,:医歯薬出版, 2009 障害者歯科／向井美恵 ほか 著,:医歯薬出版, 2013 臨床検査／井上孝 ほか著,:医歯薬出版, 2012 ISBN978-4-263-42835-1 高齢者歯科
履修上の注意事項 附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022283						
科目名	歯科衛生過程専門演習						
担当教員	吉田 直美						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
授業の目的、概要等							
人々の歯科衛生ニーズにあった支援を提供するために活用する問題解決思考ツールの歯科衛生過程の概念と展開の方法を理解する。							
授業の到達目標							
・事例を通して、対象者の情報を分類・整理、統合する。							
・事例を通して、対象者の歯科衛生関連の問題を明確化し、優先順位をつける。							
・明確化した問題の関連因子を特定し、歯科衛生診断文を作成する。							
・歯科衛生計画を立案する(目標・歯科衛生介入・期待される結果)。							
・計画を実施する。							
・歯科衛生評価を行う。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-2	4/15	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践へ活用のため の演習	口腔衛生用品の選択について	吉田 直美	G
3-4	4/22	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践へ活用のため の演習	音波ブラシの特徴と使用方法の指導	吉田 直美	G
5-6	5/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生過程復習	歯科衛生過程復習	吉田 直美	
7-8	5/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	大学生への介入 実習概要説明 事前調査項目の検討・決定	吉田 直美	鈴木
9-10	5/27	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	データの分析・解釈	吉田 直美	鈴木
11-13	6/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	臨床実践へ活用のため の演習	患者に合わせたセルフケア用品 の選択	吉田 直美	L
14-15	6/26	09:00-10:50	口腔保健 学科第3	臨床実践へ活用のため の演習	問題の抽出と明確化 大学生対 象の歯科衛生計画	吉田 直美	鈴木

			講義室				
16-17	7/1	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	媒体の作成	吉田 直美	鈴木
18-20	7/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	事例検討	吉田 直美	
21-23	7/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	事例検討 介入のための準備	吉田 直美	鈴木
24-26	7/24	13:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室、口腔 保健学科 相互実習 室	臨床実践へ活用のため の演習	工学2年生への健康教育(集団 および個別指導)	品田 佳世子, 荒川 真一, 吉田 直美 大木 明子, 塩沢 真穂	鈴木 近藤
27-28	7/26	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	歯科衛生評価の記録	吉田 直美	鈴木
29-30	7/26	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	臨床実践へ活用のため の演習	フィードバック	吉田 直美	
成績評価の方法							
課題レポート、期末試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。 ・2年次、3年次の健康教育の講義・実習で使用した資料を確認する。							
試験の受験資格							
2/3 以上の出席							
教科書							
歯科衛生過程 HAND BOOK：歯科衛生士教育サブテキスト：やさしく学べる・これならわかる／吉田直美、遠藤圭子、渡邊麻理、鈴木純子 著、クインテッセンス出版、2015							
備考							
実習・演習							

時間割番号	022284						
科目名	社会調査の基礎						
担当教員	品田 佳世子, 大山 篤, 甲畑 宏子, 吉田 雅幸						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2		
科目名: 社会調査の基礎							
時間数: 30 時間							
授業形態: 講義							
主な講義場所							
口腔保健学科 第3 講義室							
授業の目的、概要等							
・社会調査の意義と目的を理解し、調査票の作成と模擬実施、集計解析など実践的に学習する。							
・社会調査における倫理や個人情報保護について理解する。							
・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関して理解する。							
授業の到達目標							
・社会調査の意義と目的及び方法の概要について説明できる。							
・量的調査及び質的調査の基本的な方法を説明することができる。							
・統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護について説明できる。							
・医療法、歯科医師法、歯科技工士法他に関する知識がある。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉と社会調査	社会福祉と社会調査	品田 佳世子	
2	4/9	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉と社会調査 社会調査の概要	社会福祉と社会調査 社会調査 の概要	品田 佳世子	
3	4/12	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的調査の方法	質的調査の方法	大山 篤	
4	4/12	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的調査の方法	質的調査の方法	大山 篤	
5	4/16	10:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	社会調査の概要 量的 調査の方法	社会調査の概要 量的調査の方 法	品田 佳世子	演習:ミニテスト
6	4/16	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	量的調査の方法	量的調査の方法	品田 佳世子	
7	4/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	量的調査の方法、分析	量的調査の方法、分析	品田 佳世子	
8	4/19	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	量的調査の方法、分析	量的調査の方法、分析	品田 佳世子	
9	4/23	10:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	質問紙調査方法	質問紙調査方法	品田 佳世子	演習:グループで 質問の作成、入 力、各グループで PCを持参するこ と

10	4/23	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	質問紙調査方法	質問紙調査方法	品田 佳世子	演習:グループで 質問の作成、入 力、各グループで PCを持参するこ と
11	4/26	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	質問紙調査方法の演 習・グループ発表	質問紙調査方法の演習・グループ 発表	品田 佳世子	質問紙調査方法 の演習・グループ 発表
12	4/26	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	質問紙調査方法の演 習・グループ発表	質問紙調査方法の演習・グループ 発表	品田 佳世子	質問紙調査方法 の演習・グループ 発表
13	5/7	10:00-10:50	歯学部演 習室	研究倫理、倫理審査	研究倫理、倫理審査	甲畑 宏子	
14	5/7	11:00-11:50	歯学部演 習室	研究倫理、倫理審査	研究倫理、倫理審査	甲畑 宏子	
15	5/10	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的調査の方法	質的調査の方法	大山 篤	
16	5/10	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	質的調査の方法	質的調査の方法	大山 篤	
17	5/14	10:00-10:50	歯学部演 習室	個人情報保護について	個人情報保護について	吉田 雅幸	
18	5/14	11:00-11:50	歯学部演 習室	個人情報保護について	個人情報保護について	吉田 雅幸	演習問題につい てグループ討議
19	5/21	10:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	量的調査のデータ分析 方法	量的調査のデータ分析方法	品田 佳世子	演習:課題データ の分析、各グル ープでPCを持参 すること
20	5/21	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	量的調査のデータ分析 方法	量的調査のデータ分析方法	品田 佳世子	演習:課題データ の分析、各グル ープでPCを持参 すること
21	5/28	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	各班の調査に関する発 表	各班の調査に関する発表	品田 佳世子	課題のグループ 発表
22	5/28	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	各班の調査に関する発 表	各班の調査に関する発表	品田 佳世子	課題のグループ 発表
23	6/4	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	医療法	医療法	品田 佳世子	
24	6/4	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科医師法、歯科技工 士法	歯科医師法、歯科技工士法	品田 佳世子	
25	6/11	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	健康増進法、地域保健 法など	健康増進法、地域保健法など	品田 佳世子	演習:ミニテスト

26	6/11	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	健康増進法、地域保健 法など	健康増進法、地域保健法など	品田 佳世子	
27	6/18	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	文献検索と研究テーマ について	文献検索と研究テーマについて	品田 佳世子	演習:文献検索、 各自 PC 持参のこと
28	6/18	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	文献検索と研究テーマ について	文献検索と研究テーマについて	品田 佳世子	演習:文献検索、 各自 PC 持参のこと
29	6/25	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	確認テスト	確認テスト	品田 佳世子	確認テスト
30	6/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会調査に関する課題	社会調査に関する課題	品田 佳世子	課題に関するグ ループ討議
成績評価の方法 ・出欠状況と授業参加の態度 (20%) ・調査課題に関するレポートおよび筆記試験(ミニテスト、確認テスト含む)(80%)を総合評価する。							
準備学習などについての具体的な指示 統計の基礎を復習しておくこと。							
試験の受験資格 全講義の 2/3 以上出席すること							
教科書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2015							
備考 担当教員(非常勤) 大山 篤(4 時間 神戸製鋼 歯科室)							
連絡先 品田 佳世子:shinada.pvoh@tmd.ac.jp							
オフィスアワー 品田 佳世子:月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1 号館西 8 階品田室							

時間割番号	022285						
科目名	卒業研究						
担当教員	荒川 真一						
開講時期	2年通年	対象年次	3～4	単位数	4		
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室 他							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究テーマ探索(各自)	荒川 真一	
2-3	5/22	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明	荒川 真一	
4-5	6/12	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検索及び管理演習	荒川 真一	PCを持参する
6	6/19	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明 各教員のテーマ 例	荒川 真一	
7-8	6/20	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	荒川 真一	
9	7/24	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	荒川 真一	
10-11	7/24	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	荒川 真一	
12-14	7/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	荒川 真一	
15	10/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	荒川 真一	
16	10/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3	卒業研究	文献検討・研究準備	荒川 真一	

			講義室				
17	10/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	荒川 真一	
18	10/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	荒川 真一	
19	10/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	荒川 真一	
20	10/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談	荒川 真一	
21	10/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談	荒川 真一	
22	10/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
23	10/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
24	10/25	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
25	10/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
26	10/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
27	10/31	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
28	11/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
29	11/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
30	11/8	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
31	11/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
32	11/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	

33	11/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
34	11/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
35	11/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
36	11/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
37	11/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	荒川 真一	
38-40	11/29	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマについて面談(決定)	荒川 真一	10:30-12:00
41	12/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
42	12/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
43	12/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
44	12/6	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
45-47	12/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
48	12/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
49	12/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	荒川 真一	
50-56	12/13	09:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	4年生卒業研究発表会	荒川 真一	
57-60	12/16	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
61	12/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	

62	12/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
63	12/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
64-65	12/20	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
66	1/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
67	1/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
68	1/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
69-70	2/5	13:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	
71-74	2/12	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	研究実施	荒川 真一	

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習などについての具体的な指示

- ・今後、臨床、研究、行政と様々な分野に従事しても、科学的な考え方をすることが必須である。卒業研究を充実するものとするため、まず、自ら興味のある事柄を抽出し、先行研究を調査・検討しておくこと。
- ・研究が開始された際は、常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

試験の受験資格

卒業研究の発表および卒業論文を提出すること

教科書

歯科衛生研究の進め方論文の書き方／日本歯科衛生学会 監修:医歯薬出版, 2015

歯科衛生研究の進め方論文の書き方 = Dental Hygiene Research, Guide for Planning and Writing／日本歯科衛生学会 監修:武井典子, 金澤紀子, 合場千佳子, 石井拓男, 岩久正明 編.:医歯薬出版, 2015

参考書

卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著:薄井由枝, 品田佳世子, 白鳥たかみ, 杉原直樹, 田村清美, 松田裕子 著.:クインテッセンス出版, 2011

SPSSによる医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫, 謝承泰, 久保田基夫 著.:東京図書, 2011

SPSSで学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著.:東京図書, 2008

・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社

・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯薬出版

・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂

履修上の注意事項

- ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

時間割番号	022286					
科目名	相談援助演習Ⅱ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 山田 美代子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数:60 時間 2 単位						
授業形態: 演習						
担当教員: 古屋純一、中山玲奈、山田美代子(西方医療福祉研究会)						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、専門的な相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標						
・相談援助の内容・方法・プロセスを説明できる。						
・相談援助の実際について、事例を通じて理解できる。						
・ロールプレイを通じて相談援助の実践を理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/11	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅠ	高齢者	古屋 純一, 中山 玲奈, 山田 美代子
4-6	4/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅡ	障害者	山田 美代子
7-9	4/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅢ	複数課題を抱える家族	山田 美代子
10-12	5/9	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅣ	チームアプローチ	山田 美代子
13-15	5/16	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅤ	ネットワーキング	山田 美代子
16-18	5/23	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談の技法を身に付けるⅥ	その他	山田 美代子
19-21	6/13	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅰ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子
22-24	6/20	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅱ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子
25-27	6/27	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助技法の応用Ⅲ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	山田 美代子
28-30	7/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第3	相談援助技法の応用Ⅳ	事例に基づくロールプレイ、事例 検討	中山 玲奈, 山田 美代子

			講義室				
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
備考 課題発表、グループワークを含む							

時間割番号	022287					
科目名	口腔保健と国際協力					
担当教員	樺沢 勇司、安田 昌代、伊藤 玲					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
主な講義場所						
1号館西7階、第3講義室						
授業の目的、概要等						
国際保健医療福祉の現状を知り、国際的な視点から、歯科衛生士・社会福祉士として活躍できる人材になるための、基礎を学習する。						
授業の到達目標						
・国際歯科保健医療福祉とは何かを説明できる。 ・それぞれの国の歯科保健医療福祉を説明できる。 ・国際保健医療福祉で、活躍するために必要な基礎的事項を説明できる。 ・海外での口腔保健活動について、自分の関心のあることをまとめ、説明できる。 ・海外での保健医療福祉活動の目標、計画、実施を立案し、説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/9	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	グローバルヘルスの歴史	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
2	4/16	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	プライマリーヘルスケア とヘルスプロモーション	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
3	4/23	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療と疾病対策	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
4	5/7	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際保健医療協力活動	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
5-6	5/22	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	海外歯科医療救援活動 の実際	演習および討論を行なう	樺沢 勇司、伊藤 玲
7	5/28	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際的な口腔保健戦略 と目標	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
8	6/4	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際的な口腔保健戦略 と目標	演習および討論を行なう	樺沢 勇司
9	6/11	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	国際歯科保健医療福祉 の状況、在日外国人の 歯科事情	演習および討論を行なう	樺沢 勇司、中久 木 康一
10	6/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外での多職種との活 動連携	演習および討論を行なう	樺沢 勇司、鶴田 潤
11	6/25	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	海外での多職種との活 動連携	演習および討論を行なう	樺沢 勇司、鶴田 潤
12-13	7/2	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	タイでの歯科医療にお ける多職種連携	演習および討論を行なう、スカイ プを用いて海外との通信講義を行 なう。	樺沢 勇司、鶴田 潤、ポーンボット・ ファンターンシップ

14-15	7/9	09:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	歯科衛生士の海外歯科 保健活動	演習および討論を行なう	樺沢 勇司, 安田 昌代	
成績評価の方法 期末の記述試験、提出レポートで総括的評価を行う。出席状況および授業態度を総括的評価する。 出席、講義、グループ討論、発表の態度等を総括評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前に教科書等でよく予習の上、授業に臨むこと。							
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。							
参考書 国際歯科保健医療学／中村修一 編, 中村, 修一, 1943-, : 医歯薬出版, 2003 国際保健学講義／山本太郎 著, 山本, 太郎, 1964-, : 学会出版センター, 1999 実践ヘルスプロモーション : precede-proceed モデルによる企画と評価／ローレンス・W.グリーン, マーシャル・W.クロイター 著, 神馬征峰 訳, Green, Lawrence W, Kreuter, Marshall W, 神馬, 征峰, : 医学書院, 2005 国際保健医療学／日本国際保健医療学会 編, 日本国際保健医療学会, : 杏林書院, 2013 ・世界子供白書 2017, ユニセフ 2017 : https://www.unicef.or.jp/sowc/ ・The World Health Report 2013 , WHO, 2012 https://www.who.int/whr/en/							

時間割番号	022288					
科目名	歯科衛生研究					
担当教員	吉田 直美					
開講時期	通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	1	
主な講義場所						
第1 講義室						
授業の目的、概要等						
歯科衛生関連分野の学術雑誌へ投稿するために必要な知識を理解する。						
授業の到達目標						
・論文作成に必要な文献検索を行う。						
・論文作成に必要な論文を読む。						
・PECO を説明する						
・投稿規定とは何かを説明する。						
・論文の投稿の仕方を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	10/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 1	研究 歯科衛生研究	吉田 直美
2	10/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 2	リサーチエッセション	吉田 直美
3	10/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 3	PICO、PECO	吉田 直美
4	11/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 4	研究テーマ	吉田 直美
5	11/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 5	研究計画 背景と目的	吉田 直美
6	11/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 6	研究計画 意義	吉田 直美
7	11/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 7	研究計画 方法	吉田 直美
8	12/20	09:00-09:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 8	学会 歯科衛生士に関連する学 会	吉田 直美
9	12/20	10:00-10:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 9	学会参加の流れ	吉田 直美
10	1/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 10	学会発表までの流れ	吉田 直美

11	1/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 11	論文投稿の意義・論文投稿から論文掲載まで	吉田 直美
12	1/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 12	倫理審査 査読	吉田 直美
13	1/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 13	認定歯科衛生士 学会の認定	吉田 直美
14	1/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 14	業績とは	吉田 直美
15	1/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生研究 15	まとめ	吉田 直美
16	2/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室			吉田 直美

成績評価の方法
課題レポートで総括的評価を行う。授業態度を総括的評価に加味する。
準備学習などについての具体的な指示
・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。
試験の受験資格
課題レポートで総括的評価を行う。出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
教科書
歯科衛生研究の進め方論文の書き方 = Dental Hygiene Research,Guide for Planning and Writing／日本歯科衛生学会 監修,武井典子, 金澤紀子, 合場千佳子, 石井拓男, 岩久正明 編:医歯薬出版, 2015
備考
演習

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	1
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
履修上の注意事項 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。					
備考 実習					

時間割番号	022290						
科目名	公的扶助						
担当教員	樺沢 勇司、遠藤 康裕						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2		
科目名: 公的扶助							
主な講義場所 口腔保健学科第2講義室							
授業の目的、概要等 本講義では公的扶助の制度体系・考え方について学びます。併せて公的扶助や社会保障の当面する課題について学び、考えます。 受講する皆さんには、公的扶助、ひいては社会保障、社会福祉の問題が、自分自身の生活と結びついていることを理解し、これら制度について自分で考えられるようになってほしいと思います。							
授業の到達目標 ・公的扶助の概念・理念・対象を説明できる。 ・生活保護制度や低所得者対策について、その制度の仕組み、最近の動向や運営実施体制について説明できる。 ・貧困・低所得者対策の歴史的展開から社会福祉の課題について、自らの意見を具体的に述べるができる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-8	9/6	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	公的扶助の概念 公的 扶助の歴史	公的扶助の概念と範囲、公的扶助 の意義と役割、海外の歴史、日本 の歴史、貧困・低所得者対策の動 向について	遠藤 康裕	演習を含む
9-15	9/11	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	生活保護制度の動向 低所得者対策	保護の開始・廃止の動向、医療扶 助・介護扶助の動向、生活保護の 運営実施体制と関係機関・団体こ ついて	遠藤 康裕	演習を含む
16-23	9/17	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	生活保護制度の仕組み 最低生活保障水準と生 活保護基準	生活保護法の構成、目的と原理原 則、保護の種類、最低生活水準と 生活保護基準の考え方	遠藤 康裕	演習を含む
24-30	9/18	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	貧困・低所得者に対する 相談援助活動 生活保護 における自立	相談援助活動、他機関・他職種と の連携・協働 自立支援プログラ ムの位置づけ	遠藤 康裕	演習を含む
成績評価の方法 ・授業内レポートで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッション、演習(事例検討など)の参加状況を評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 全講義30時間の2／3以上出席すること							
教科書 新・社会福祉士養成講座 低所得者に対する支援と生活保護制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集: 中央法規出版, 2016							
参考書 教科書として、「新・社会福祉士養成講座16 低所得者に対する支援と生活保護制度」 中央法規出版 を指定する。 他は随時授業中に紹介する。							

時間割番号	022291					
科目名	コミュニティーワーク					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈、横地 厚					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
時間数:30 時間 2 単位						
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:古屋純一、中山玲奈、横地厚(NPO 法人 福祉と市民活動研究所)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・コミュニティーワークの成果として、コミュニティーケアの実態を知ること、コミュニティーワークの意義と手段を理解する。						
・様々な施設など、実際の現場にて地域福祉の実態を理解する。						
授業の到達目標						
・コミュニティーワークを概説できる。						
・障害者の地域生活の実態について理解できる。						
・高齢者の地域生活の実態について理解できる。						
・地域の福祉社会資源について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-6	9/9	11:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション コ ミュニティワークとフィー ルドワークとは	地域の福祉・介護と医療 高齢者 の地域生活 障害者の地域生活 福祉施設の見学とニーズ調査	古屋 純一、 中山 玲奈、 横地 厚
7-14	9/10	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク 1	地域活動の見学とニーズ調査	古屋 純一、 中山 玲奈、 横地 厚
15-22	9/13	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワーク 2	福祉施設の見学とニーズ調査	古屋 純一、 中山 玲奈、 横地 厚
23-30	9/19	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	フィールドワークの振り 返し 発表と討論 まと め	グループワーク グループワー クの発表 これまでのまとめ	古屋 純一、 中山 玲奈、 横地 厚
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。						
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。						
試験の受験資格						
3 分の 2 以上の出席						
備考						
担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)						
古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp						
授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。						

時間割番号	022292					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅱ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 小山 宰					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 中山玲奈、小山 宰(東京ふれあい医療生活協同組合 梶原診療所)						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・ソーシャルワークの共通基盤(価値・知識・技術等)について体系的に学ぶ。 ・ソーシャルワークを展開する専門職のあるべき姿を理解する。						
授業の到達目標 ・ソーシャルワーカーの概念と理念を理解し説明できる。 ・ソーシャルワークの形成過程を理解し説明できる。 ・専門職倫理について理解する。 ・日本社会福祉士会の行動規範から、相談援助場面での専門職としてのあり方を理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉士の役割と意義、相談援助の定義と構成要素	社会福祉士の役割と意義 現代社会と地域生活 ソーシャルワークの概念 ソーシャルワークの構成要素	中山 玲奈、 小山 宰
4-6	4/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の形成過程Ⅰ・Ⅱ	ソーシャルワークの源流 ソーシャルワークの基礎確立期 ソーシャルワークの発展期・展開期 ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク	小山 宰
7-9	4/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の理念Ⅰ・Ⅱ	ソーシャルワーカーと価値 ソーシャルワーク実践と価値 ソーシャルワーク実践と権利擁護 クライエントの尊厳と自己決定 ノーマライゼーションと社会的包摂	小山 宰
10-12	5/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	専門職倫理	専門職倫理の概念 倫理綱領の意義と内容	小山 宰
13-15	5/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	倫理的ジレンマ	ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ	中山 玲奈、 小山 宰、 古屋 純一
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						

準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015
備考 課題発表、グループワークを含む

時間割番号	022293					
科目名	相談援助の基盤と専門職Ⅲ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 藤高 直之					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	2	
時間数: 30 時間 2 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 古屋純一、中山玲奈、藤高直之(立正大学)						
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等 ・福祉専門職の役割と意義、実践活動の状況の概観を通して、社会福祉士の役割と意義、専門性について理解する。						
授業の到達目標 ・福祉専門職の種類とそれぞれの業務等の概要を理解する。 ・社会福祉士の役割と意義、実践活動分野を理解する。 ・社会福祉士と精神保健福祉士の固有性と共通性、医療ソーシャルワーカーにおける両資格のあり方について理解する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	5/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション 総合的かつ包括的な相談援助	総合的かつ包括的な相談援助の動向と背景、理論、地域を基盤と下ソーシャルワークの基本的視座、8つの機能	藤高 直之、 古屋 純一、 中山 玲奈
4-6	5/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助に関わる専門職とその機能	相談援助に関わる専門職の概念と範囲、諸外国の動向	藤高 直之
7-9	6/7	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 1	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
10-12	6/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 2	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
13-15	6/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談援助 3	ジェネラリスト・ソーシャルワークの意義と特質、基本的視点、地域を基盤としたソーシャルワーク	藤高 直之
16-18	6/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	社会福祉士、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカー	社会福祉士の役割と意義、法制度見直しとその背景、社会福祉士の実践分野、精神保健福祉士、医療ソーシャルワーカーの歴史と業務	藤高 直之
19-21	7/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	その他の専門職の資格と業務、チームアプローチ	介護福祉士、介護支援専門員等の資格と役割、チームアプローチ、多職種協働の実際	藤高 直之
22-24	7/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相談業務の実際Ⅰ	総合的かつ包括的な相談援助における専門機能の実際例、個と地域の一体的支援機能、予防機能、新しいニーズへの対応機能、総合的支援機能、権利擁護機能、社会資源開発機能	藤高 直之

25-27	7/19	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	総合的かつ包括的な相 談業務の実際Ⅱ	総合的かつ包括的な相談援助に おける専門機能の実際例、個と地 域の一体的支援機能、予防機能、 新しいニーズへの対応機能、総合 的支援機能、権利擁護機能、社会 資源開発機能	藤高 直之	
28-30	7/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	総合的かつ包括的な相 談業務の実際Ⅲ	総合的かつ包括的な相談援助に おける専門機能の実際例、個と地 域の一体的支援機能、予防機能、 新しいニーズへの対応機能、総合 的支援機能、権利擁護機能、社会 資源開発機能	藤高 直之	
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。							
教科書 新・社会福祉士養成講座 6 相談援助の基盤と専門職 第3版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015							
備考 課題発表、グループワークを含む							

時間割番号	022294					
科目名	介護福祉Ⅱ					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈、竹内 周平					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数:15 時間 1 単位						
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:古屋純一、竹内周平(竹内歯科医療院)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・地域で活躍する歯科衛生士に必要となる、介護が必要な高齢者の特徴や社会における介護の問題点、高齢者の生活支援に必要な介護・福祉の知識、介護の実際を知る。						
授業の到達目標						
・介護と介護予防の概念、介護保険制度、介護保険サービスについて説明できる。						
・地域包括ケアシステム、高齢者支援の組織と役割、介護における多職種連携について説明できる。						
・介護における様々な高齢者支援の方法を理解できる。						
・認知症ケア、栄養ケア、緩和ケア、終末期ケアについて説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	5/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職 種連携 1	個人・家族に対する支援、グルー プを活用した支援、地域を活用し た支援	古屋 純一、 竹内 周平
2	5/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職 種連携 2	ケアマネジメント、介護予防ケア マネジメント	古屋 純一、 竹内 周平
3	5/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険における多職 種連携 3	介護保険と口腔機能向上	古屋 純一
4	5/29	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念と仕 組み	古屋 純一、 中山 玲奈
5	5/29	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	高齢者支援の組織と多 職種連携	高齢者を支援する組織と役割	古屋 純一、 中山 玲奈
6	5/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険法と多職種連 携	介護保険法における連携と高齢者 支援の実際	古屋 純一、 中山 玲奈
7	6/19	13:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護と介護予防	介護と介護予防の概念と対象	古屋 純一
8	6/19	14:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険制度	介護保険制度の仕組み	古屋 純一
9	6/19	15:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	介護保険サービス	介護保険サービスの体系	古屋 純一
10	7/8	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	要介護高齢者	認知症高齢者と家族の支援、新オ レンジプラン、地域での連携体制	古屋 純一

11	7/8	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	様々な高齢者の医療と 介護1	NST、栄養ケアマネジメント、リ ハビリテーション栄養	古屋 純一
12	7/8	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	様々な高齢者の医療と 介護2	PCT、緩和ケア病棟、看取り	古屋 純一
13	7/22	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	フレイルと要介護	地域における高齢者の食支援	古屋 純一
14	7/22	10:00-10:50	口腔保健 学科第3 講義室	オーラルフレイルと要介 護	地域における高齢者の食支援	古屋 純一
15	7/22	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席						
教科書 新・社会福祉士養成講座 13 高齢者に対する支援と介護保険制度／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2016 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著：医歯薬出版、2015						
参考書 新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2016						
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。						

時間割番号	022295					
科目名	ソーシャルワークⅡ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 山田 美代子					
開講時期	通年	対象年次	3	単位数	4	
時間数: 60 時間 4 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 山田美代子(西方医療福祉研究会)、中山玲奈、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・相談援助の理論および相談援助の知識・技術について理解する。						
授業の到達目標						
・相談援助における人と環境との交互作用に関する理論について理解する。						
・相談援助の様々な実践モデルについて理解する。						
・相談援助のプロセスとそれに関する知識・技術について理解する。						
・実践場面における理論的背景を理解し、説明できる。						
・相談援助の記録方法について学ぶ。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-4	5/17	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における対象 の理解	社会福祉援助活動の概念と定義、 相談援助の対象をどうとらえるか	古屋 純一、 山田 美代子
5-8	5/31	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースマネジメント	ケースマネジメントの基本と過程、 ケースマネジメントにおけるアセ スメントの特徴、ケアプランの作 成・実施の特徴	山田 美代子
9-12	6/7	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	グループを活用した相 談援助	グループを活用した相談援助と は、自助グループを活用した相談 援助	山田 美代子
13-16	6/14	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	コーディネーションとネ ットワーキング	コーディネーションの目的・意義・ 方法・技術・留意点、ネットワー キングの目的・意義、地域福祉の総 合的なネットワーキングの形成と システム化	山田 美代子
17-20	6/21	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発	社会資源の活用・調整・開発の意 義と目的、方法と留意点、ソーシャ ルアクションに基づくシステムづく り	山田 美代子
21-24	6/28	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発 の実際	ファシリテーション、プレゼンテー ション、ネゴシエーション、コーデ ィネーション	山田 美代子
25-28	7/5	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助における個人 情報の保護、情報通信 技術(ICT)の活用	個人情報保護と ICT 技術	山田 美代子
29-32	7/12	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	事例研究・事例分析Ⅰ	事例研究・事例分析Ⅰ	山田 美代子

33-36	7/19	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	事例研究・事例分析Ⅱ	事例研究・事例分析Ⅱ	山田 美代子
37-39	10/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅠ	実践モデルとその意味、治療モデル・生活モデル・ストレングスマodel、ジェネラリスト・ソーシャルワークの展開と実践モデル	山田 美代子
40-42	10/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅡ	心理社会的アプローチ、機能的アプローチ、問題解決アプローチ、課題中心アプローチ、危機介入アプローチ	山田 美代子
43-45	11/1	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	さまざまな実践モデルと アプローチⅢ	行動変容アプローチ、エンパワメントアプローチ、ナラティブアプローチ、その他の実践アプローチと課題	山田 美代子
46-48	11/8	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	スーパービジョンとコン サルテーションの技術	スーパービジョンの意義・目的・方法・留意点、コンサルテーション	山田 美代子
49-51	11/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ソーシャルワークのプロ セスの理解	インテーク、アセスメント、プランニング、インターベンション、モニタリング、エバリュエーション、ターミネーション	山田 美代子
52-54	11/22	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	ケースカンファレンスの 技術	ケースカンファレンスの意義・目的、運営と展開方法	山田 美代子
55-57	11/29	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録Ⅰ	記録の意義と定義、方法	山田 美代子
58-60	12/6	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の記録Ⅱ ま とめ	記録の実際 まとめ	山田 美代子、 中山 玲奈
成績評価の方法 ・提出レポート等で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席						
教科書 新・社会福祉士養成講座 8 相談援助の理論と方法Ⅱ 第 3 版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版、2015						
備考 課題発表、グループワーク含む						

時間割番号	022296					
科目名	権利擁護					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈、金原 明子、國見 真理子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数:15 時間 1 単位						
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:金原明子、國見真理子、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科第 3 講義室						
授業の目的、概要等						
・相談援助活動に必要なとされている法律の知識の概要を学ぶ。権利擁護に関する基本的な考え方、成年後見制度をはじめとする権利擁護の仕組みとその実際について学ぶ。						
授業の到達目標						
・相談援助にかかわる日本国憲法、行政法、民法の基本的理解ができる。						
・成年後見及び関係する支援事業の概要が理解できる。						
・権利擁護に関わる組織・団体・専門職の役割が理解できる。						
・成年後見活動、権利擁護活動の実際が理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/24	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見制度の概要	成年後見制度の動向と課題の理 解、日常生活自立支援事業及び成 年後見制度利用支援事業につい ての理解	中山 玲奈、 金原 明子
4-6	5/8	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる組織・ 団体の役割	家庭裁判所、法務局、市町村、社 会福祉協議会、児童相談所が果た すそれぞれの役割	金原 明子
7-9	5/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	成年後見活動の実際	認知症、知的・精神障害者への支 援の実際	中山 玲奈、 金原 明子
10-12	6/4	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の活動と法、 成年後見制度と法律	日本国憲法、行政法、民法等の理 解、法定後見制度及び任意後見制 度の理解	國見 真理子
13-15	6/11	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	権利擁護に関わる専門 職の役割	弁護士、司法書士、公証人、医師 が果たすそれぞれの役割と社会 福祉士の活動の実際	中山 玲奈、 國見 真理子
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。						
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格						
3 分の 2 以上の出席						

教科書

新・社会福祉士養成講座 19 権利擁護と成年後見制度 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2014

参考書

- ・「厚生指標 国民の福祉の動向 各年度版」厚生統計協会
- ・「社会福祉小六法」(最新年度版)ミネルヴァ書房
- ・他随時授業中に紹介する。

備考

担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)

古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp

授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022297					
科目名	社会福祉行政					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈、國見 真理子					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数:15 時間 1 単位						
授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:中山玲奈、國見真理子(田園調布学園大学)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・福祉の関わる社会福祉制度は、法律によってその大枠が規定されている。その運用の実際は諸制度の運営に関わる行財政のあり方によって規定されている。その仕組みを学ぶ。						
授業の到達目標						
・福祉の行財政の実施体制(国・都道府県・市区町村の役割、国と地方の関係、財源、組織及び団体、専門職の役割を含む)について説明できる。						
・福祉行財政の実際について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	4/9	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の実施体制 1	わが国における社会福祉の定義の変遷	國見 真理子、 中山 玲奈
3-4	4/16	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の実施体制 2	福祉の法制度の展開	國見 真理子
5-6	4/23	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の実施体制 3	行政の骨格	國見 真理子
7-8	5/7	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の組織 1	社会福祉と法制度、福祉行政の組織	國見 真理子
9-10	5/14	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の組織 2	社会福祉基礎構造改革、相談過程	國見 真理子
11-12	5/21	16:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の団体と福祉行政の専門職の役割 1	相談体制、専門緒機関	國見 真理子
13-14	5/28	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	福祉行政の団体と福祉行政の専門職の役割 2	地域相談システム、専門職	國見 真理子
15	5/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	まとめ	これまでのまとめ	國見 真理子、 中山 玲奈
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						

準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集：中央法規出版, 2017
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。

時間割番号	022299					
科目名	司法福祉					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈、長谷川 洋昭					
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 中山玲奈、長谷川洋昭(田園調布学園大学)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科第3 講義室						
授業の目的、概要等						
・現代社会における更生保護制度の実効性(エビデンス)について理解する。						
授業の到達目標						
・刑事司法のなかの更生保護制度の概要が説明できる。						
・更生保護制度における関係機関・団体との連携を説明できる。						
・更生保護の実際と今後の展望について考えることができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	9/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度の概要	刑事司法のなかの更生保護	長谷川 洋昭、 中山 玲奈、 古屋 純一
4-8	9/5	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度の担い手	保護観察官、保護司、更生保護施設等	長谷川 洋昭
9-11	9/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護制度における 関係機関・団体との連携	裁判所、検察庁、矯正施設、児童 相談所、公共職業安定所・福祉事 務所等	長谷川 洋昭
12-15	9/12	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	更生保護の実際と今後 の展望	社会復帰にむけて	長谷川 洋昭、 古屋 純一、 中山 玲奈
成績評価の方法						
・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。						
・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。						
・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示						
・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。						
・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。						
・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
試験の受験資格						
3 分の 2 以上の出席						
教科書						
新・社会福祉士養成講座／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2014						
参考書						
新・社会福祉士養成講座 更生保護制度 第4版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集:中央法規出版, 2017						
備考						
担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと)						
古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp						
授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。						

時間割番号	022301						
科目名	就労支援サービス						
担当教員	樺沢 勇司、引馬 知子						
開講時期	前期	対象年次	3	単位数	1		
科目名:就労支援サービス							
主な講義場所 口腔保健学科第2 講義室							
授業の目的、概要等 ・社会的に不利な立場にある人々の就労を通じた社会経済的な参加とこれを支える社会の仕組みを理解する。 ・就労支援が人の生活保障や少子高齢社会における活力ある社会・経済の形成に関わっていることを把握する。 ・各種の就労支援に関わる法制度や組織、専門職について理解し、福祉や教育等の他分野との連携を学ぶ。							
授業の到達目標 ・労働や労働保護の意味を理解し、労働参加と社会的不利、さらには就労支援との関係を説明できる。 ・就労支援分野の専門職とその役割、相談援助活動において必要となる就労支援制度について説明できる。 ・就労支援に係る組織や団体の連携や、実際の支援過程について説明できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-8	9/20	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	労働市場の動向、労働 に関わる法制度、就労 支援制度の現状と課題	労働の意義、社会的不利と労働参 加、労働に関わる法制度、社会経 済情勢と雇用就労の現状	引馬 知子	適時演習を行なう
9-15	9/24	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	就労支援制度における 専門職、就労支援の過 程及び実際、他分野と の連携、就労支援に関 わる国際的動向及び国 内の新たな取り組み	一般市場及び福祉的就労におけ る制度、就労支援員・生活支援員・ ジョブコーチ・生活保護の現業員 等の業務、就労支援過程、均等待 遇政策を含む、就労支援の関わる 新たな動向と実際	引馬 知子	適時演習を行なう
成績評価の方法 ・授業内の小テストで重要な単元の学習成果を評価する。 ・グループディスカッションの参加状況やリアクションペーパーを評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。							
教科書 新・社会福祉士養成講座 18 就労支援サービス／社会福祉士養成講座編集委員会 編集: 中央法規出版, 2016							
備考 事前に資料の配付、e-learning システム上へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。 担当教員(非常勤) 引馬知子 田園調布学園大学							

時間割番号	022304				
科目名	相談援助実習				
担当教員	中山 玲奈、古屋 純一				
開講時期	2年通年	対象年次	3～4	単位数	4
科目名:相談援助実習 時間数:3 学年後期(春季集中)、4 学年(夏季集中) 実習日数(時間)は 24 日間(180 時間)・16 日間(120 時間)・8 日間(60 時間)以上のいずれか。 授業形態:実習 担当:中山玲奈、古屋純一、ほか					
主な講義場所 社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等 ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。					
授業の到達目標 ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。					
成績評価の方法 実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書 Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美、大橋謙策、白澤政和 監修、ミネルヴァ書房、2009					
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。					

時間割番号	022303					
科目名	相談援助実習指導					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一					
開講時期	2年通年	対象年次	3	単位数	2	
科目名:相談援助実習指導						
時間数:3 学年 38 時間、4 学年 52 時間						
授業形態:実習(課題発表、グループワーク含む)						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室(3 学年)						
口腔保健学科 第2 講義室(4 学年)						
授業の目的、概要等						
・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。						
・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識 化し、体系立てていくことをめざす。						
授業の到達目標						
・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。						
・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的 かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。						
・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応でき る能力を習得し、意識化できる。						
・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/11	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	相談援助実習とは	中山 玲奈, 古屋 純一
4-6	11/18	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	高齢者施設	中山 玲奈
7-9	11/25	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	障害者施設	中山 玲奈
10-12	12/2	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	地域包括支援センター	中山 玲奈
13-15	12/9	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	病院実習	中山 玲奈
16-18	1/6	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	児童相談所・児童養護施設	中山 玲奈
19-21	1/20	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習準備	実習に必要な書類の書き方	中山 玲奈
22-25	1/27	14:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習における留意事項	実習における注意と準備	中山 玲奈
26-29	2/4	13:00-16:50	口腔保健 学科第3	実習先機関・施設	地理的条件や関連する社会資源	中山 玲奈

			講義室				
30-32	2/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	アセスメント	実習先アセスメントの活用、利用者ニーズの理解、地域を理解する必要性	中山 玲奈	
33-35	2/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習目的	実習目的の立て方	中山 玲奈	
36-38	2/14	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習計画書の作成方法、まとめ	実習計画書の作成、まとめ	中山 玲奈、 古屋 純一	
成績評価の方法							
事前・事後学習の成果による総合的評価を行う。(4 年後期)							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格							
4 分の 3 以上の出席							
備考							
課題発表、グループワークを含む							

第 4 学年
履修科目・ユニット

時間割番号	022305					
科目名	臨床口腔保健応用学					
担当教員	樺沢 勇司					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
主な講義場所						
1号館西7階、第3講義室						
授業の目的、概要等						
多様な患者に対して、その医療・歯科医療内容を理解し、歯科衛生過程に基づいて、歯科衛生活動を展開できる知識と応用力を修得する。						
授業の到達目標						
・患者の健康評価を行ない、その概要を説明できる。						
・歯科衛生過程に基づいて、必要な医療情報を収集できる。						
・個々の症例に対して、歯科衛生診断を行ない、歯科衛生活動計画を立案できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/10	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	睡眠時無呼吸症候群患者への対応	グループワーク、演習、討論等を行なう	秀島 雅之
3-4	5/17	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	顎関節症患者への対応	グループワーク、演習、討論等を行なう	西山 暁
5-6	5/24	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域医療における多職種連携	グループワーク、演習、討論等を行なう	川越 正平
7	5/31	13:00-13:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域医療における歯科衛生士の役割	グループワーク、演習、討論等を行なう	山口 朱見
8	5/31	14:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科衛生活動における健康評価	グループワーク、演習、討論等を行なう	安田 昌代
9-10	6/7	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	歯科心身症患者への対応	グループワーク、演習、討論等を行なう	豊福 明
11-12	6/14	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	災害時における歯科の対応	グループワーク、演習、討論等を行なう	中久木 康一
13-14	6/21	13:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	口腔がん患者への対応	グループワーク、演習、討論等を行なう	黒嶋 雄志
15	6/28	13:00-13:50	口腔保健 学科第1 講義室	全体のまとめ	グループワーク、演習、討論等を行なう	樺沢 勇司、 近藤 圭子
成績評価の方法						
講義最終日に記述式試験を行ない、総括的評価を行なう。						
出席状況および授業態度も評価に加味する。						
講義中はグループ討論や発表の機会をできる限り設け、評価に加味する。						

準備学習などについての具体的な指示

授業では、授業範囲についてのディスカッション等のアクティブラーニングにて行うので、事前にWeb classに配付資料等のアップロードがあった場合にはよく予習の上、授業に臨むこと。

試験の受験資格

全講義 15 時間の 2/3 以上出席すること。

時間割番号	022306						
科目名	健康教育の企画と実践Ⅲ						
担当教員	吉田 直美, 神野 成治, 嶋田 昌彦, 杉本 久美子, 武井 典子, 渡邊 麻理, 茂木 美保						
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1		
主な講義場所 口腔保健学科 1 号館 7 階2講義室							
授業の目的、概要等 個性性を重視した健康教育を実践するために必要な知識・技術・態度を理解する。							
授業の到達目標 ・医療コミュニケーションの技法を用いる。 ・禁煙支援、産業保健における歯科衛生士の取組みを説明する。 ・口腔健康の啓発活動の実際を説明する。 ・保健医療福祉専門職の生涯学習の重要性を説明する。 ・周術期口腔機能管理、在宅療養管理指導の意義目的を説明する。 ・地域における歯科衛生士のセルフケア支援を説明する。 ・行政歯科衛生士の健康教育活動を説明する。 ・歯科保健指導の今後の展開を考え、説明する。 ・東洋医学の基本を理解し、口腔保健との関係を説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/12	09:00-09:50	口腔保健 学科第2 講義室	健康教育におけるアセスメント	アセスメントの意義と重要性の再考	吉田 直美	
2-3	4/12	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	口腔健康と東洋医学①	歯科領域における鍼灸治療	神野 成治, 吉田 直美	
4-5	4/19	10:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	口腔健康と東洋医学②	歯科領域における漢方療法	嶋田 昌彦, 吉田 直美	
6-8	5/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	口腔健康教育における研究的視点	口腔健康教育における研究的視点と教育への活かし方	吉田 直美, 杉本 久美子	
9-11	5/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	多様なライフステージにおける口腔健康教育	各ライフステージにおける口腔健康教育の実際	吉田 直美, 杉本 久美子	
12	5/27	15:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室				
13-15	5/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	有病者に対する口腔健康教育	口腔衛生管理と口腔機能管理	吉田 直美	鈴木瞳
16-18	6/7	09:00-11:50	口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	全身疾患を有する患者への歯科保健指導	口腔衛生管理と口腔機能管理	吉田 直美	河原木 鈴木瞳
19-21	6/14	09:00-11:50	口腔保健 学科第2	学校歯科保健における健康教育	アクティブラーニング ライフスキルをはぐくむ健康教育 生涯学習	武井 典子	

			講義室		の重要性		
22-24	6/21	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域歯科医療における 健康教育	地域歯科診療所におけるセルフ ケア支援	渡邊 麻理 吉田 直美	
25-27	6/28	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室 口腔保健 学科臨床 基礎実習 室	地域歯科保健	地域包括ケアシステムにおける歯 科の役割	吉田 直美	長優子
28-30	7/5	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	産業歯科保健における 健康教育	禁煙支援 産業保健における歯科 衛生士の取り組み	吉田 直美 茂木 美保	
成績評価の方法 課題レポート、期末試験で総合的評価を行う。 受講態度、出席状況等を総合的評価に加味する。							
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。・2年次、3年次の健康教育の講義・実習で使用した資料を確認する。							
試験の受験資格 試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。							
備考 実習、演習、グループワーク							

時間割番号	022281				
科目名	歯科衛生臨床実習Ⅱ・Ⅲ				
担当教員	近藤 圭子				
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	10
主な講義場所 歯学部附属病院					
授業の目的、概要等 ・歯科診療施設において、チーム医療の一員として、対象者本位の歯科予防処置・歯科保健指導・歯科診療の補助を実践するために必要な態度・知識・技術を習得する。					
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出・整理する。 ・対象者の不安・不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ・歯科ユニット各部の名称と機能を説明できる。 ・診療に必要な器材を説明する。 ・診療室への患者の誘導を適切にできる。 ・対象者に挨拶して自己紹介できる。 ・対象者との信頼関係を築くことができる。 ・個人的、社会的背景等が異なる対象者に、わけへだてなく対応できる。 ・対象者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。 ・必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ・説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ・対象者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。 ・医療事故や潜在的医療事故(ニアミス)に関する情報を共有し、再発防止に役立てることができる。 ・インフォームドコンセントを行うことができる。 ・対象者に応じた歯科予防処置を実施する。 ・対象者に応じた歯科保健指導を実施する。 ・対象者に応じた歯科診療補助を実施する。					
授業内容 ●3年生 ・臨床実習ガイダンスおよび予備実習 ・臨床実習(本実習) －口腔ケア実習 むし歯外来実習 歯周病外来実習 口腔外科外来実習 義歯外来実習 小児歯科外来実習 歯科放射線外来実習 中央器材室実習 ●4年生 ・臨床実習ガイダンス ・臨床実習(本実習) －口腔ケア実習 歯周病外来実習 矯正歯科外来実習 歯科麻酔外来実習 小児歯科外来実習					

顎義歯外来実習 インプラント外来実習 スペシャルケア外来1(高齢者歯科)実習 スペシャルケア外来2(障害者歯科)実習 病棟実習 歯科アレルギー外来実習 歯科心身医療外来実習 顎関節治療部実習 スポーツ歯科外来実習 息さわやか外来実習 検査部実習 薬剤部実習
成績評価の方法 ・実習記録・実習報告書、出席状況、臨床実習指導者評価等により総括的評価を行う。 ・実習態度・取り組み、提出物の提出状況を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、課題発表等で総括的評価を行う。
準備学習などについての具体的な指示 実習の詳細は「臨床実習の手引き」に示す。 実習前の目標の設定、予習、実施後の報告書作成、復習を行うこと。
教科書 :医歯薬出版
参考書 歯科予防処置論・歯科保健指導論／全国歯科衛生士教育協議会 監修,高阪利美 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科診療補助論／可児徳子, 合場千佳子, 高阪利美 編,:医歯薬出版, 2007 歯の硬組織・歯髄疾患・保存修復・歯内療法／千田彰, 中村洋 ほか著,:医歯薬出版, 2010 歯周疾患／申基哲, 松井恭平, 白鳥たかみ 編,:医歯薬出版, 2006 顎・口腔粘膜疾患口腔外科・歯科麻酔／全国歯科衛生士教育協議会 監修,山根源之 ほか著,:医歯薬出版, 2011 咀嚼障害・咬合異常／全国歯科衛生士教育協議会 監修,氷室利彦 ほか著,:医歯薬出版, 2011 歯科放射線／全国歯科衛生士教育協議会 監修,岡野友宏 ほか著,:医歯薬出版, 2009 小児歯科／大嶋隆 ほか著,:医歯薬出版, 2009 障害者歯科／向井美恵 ほか 著,:医歯薬出版, 2013 臨床検査／井上孝 ほか著,:医歯薬出版, 2012 ISBN978-4-263-42835-1 高齢者歯科
履修上の注意事項 附属病院等では服装、態度等に留意すること。不適切な場合は実習停止とする場合がある。

時間割番号	022307				
科目名	歯科衛生臨地実習				
担当教員	近藤 圭子, 伊藤 奏				
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	6
科目名: 歯科衛生臨地実習 時間数 3 学年 45 時間、4 学年 180 時間 授業形態: 実習					
主な講義場所 口腔保健学科 第3講義室、学外施設、病院 等					
授業の目的、概要等 歯科衛生活動を展開するために必要な知識、技術、態度を習得して、実践力を養う。					
授業の到達目標 ・地域、病院、企業における歯科衛生活動を説明する。 ・対象のニーズ判断に基づいた介入計画を立案する。 ・介入後の変化を評価する。					
準備学習などについての具体的な指示					
参考書 臨床実習 hand book／眞木吉信, 藤原愛子, 高阪利美, 石井実和子, 泉野裕美 監著, 眞木, 吉信, 1954-, 藤原, 愛子, 歯科, 高阪, 利美, クインテッセンス出版, 2010					
履修上の注意事項 ・学外実習時の服装、態度、言葉遣いに留意する。 ・実習への取り組み、出席状況、報告書の提出状況などが不適切な場合には、実習停止とすることがある。					
備考 ・実習前に実習先施設について情報収集を行い十分に理解した上で臨む。 ・実習に関連する内容を復習しておく。					

時間割番号	022285						
科目名	卒業研究						
担当教員	吉田 直美						
開講時期	2年通年	対象年次	3～4	単位数	4		
科目名:卒業研究 時間数:3 学年 82 時間、4 学年 98 時間 授業形態:演習・講義							
主な講義場所 口腔保健学科 第3 講義室 他							
授業の目的、概要等 各学生の知的興味、将来の方向性に沿ってテーマを選択し、計画・立案に基づいて研究を実施する。さらに結果を論文にまとめて十分考察することにより、研究への理解と意欲を培う。							
授業の到達目標 ・自分の知的興味、将来の方向性に沿って研究テーマが設定できる。 ・研究テーマに対応した論文の検索と科学的吟味を行い、これまでの知見が整理できる。 ・EBM・EBHC の概念を説明できる。 ・知見や問題点に基づいた研究の計画・立案ができる。 ・実験・調査などの研究を実施できる。 ・実験・調査などの結果を分析整理し、統計学的な解析ができる。 ・結果に基づき、新たな問題点と課題を抽出、提起できる。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	5/23	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明	吉田 直美 品田 佳世子	
2-3	5/29	15:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検索及び管理演習	吉田 直美 木下 淳博 石井 保志	澁川
4-6	5/31	09:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究の進め方・研究テーマの 決め方の説明 各教員のテーマ 例	吉田 直美	
7	6/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美 品田 佳世子, 安達 奈穂子	
8-10	6/5	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例 文献検索及 び管理演習	吉田 直美 石井 保志	澁川
11-14	6/13	11:00-15:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美 坂本 裕次郎	
15-17	6/19	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美 荒川 真一, 安田 昌代 小原 由紀 近藤 圭子	
18	7/18	09:00-09:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美 樺沢 勇司, 伊藤 奏	

19	7/19	11:00-11:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美	
20	9/28	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各教員のテーマ例	吉田 直美 古屋 純一, 中山 玲奈	
21	10/2	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
22	10/3	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
23	10/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
24	10/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
25	10/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
26	10/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
27	10/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
28	10/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
29	10/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
30	10/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
31	10/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
32	10/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	文献検討・研究準備	吉田 直美	
33	10/30	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談	吉田 直美	
34	10/31	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	

35	11/1	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
36	11/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
37	11/7	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
38	11/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
39	11/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
40	11/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
41	11/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
42	11/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマ再考・研究立案(各自)	吉田 直美	
43	11/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する面談(決定)	吉田 直美	
44	11/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
45	11/27	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
46	11/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
47	11/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
48	12/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
49	12/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
50	12/6	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	

51-54	12/7	09:00-13:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
55	12/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
56	12/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
57	12/13	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	各指導教官との相談	吉田 直美	
58-62	12/14	09:00-14:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	4年生卒業研究発表会	吉田 直美	
63-65	12/17	14:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
66	12/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
67	12/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
68	12/20	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
69	1/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
70	1/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
71	1/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	テーマに関する文献検索な研究 計画の立案	吉田 直美	
72	2/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究実施の準備	吉田 直美	
73-76	2/6	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究実施の準備	吉田 直美	
77-80	2/13	13:00-16:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究実施の準備	吉田 直美	
81-83	6/24	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究の実 施	吉田 直美	

84-86	7/1	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究の実 施	吉田 直美	
87-89	7/4	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究の実 施	吉田 直美	
90-92	7/12	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究の実 施	吉田 直美	
93-10 0	7/19	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	卒業研究	卒業研究中間発表	吉田 直美	
101-1 03	7/26	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究の実 施	吉田 直美	
104-1 11	11/11	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
112-1 19	11/18	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
120-1 25	11/29	09:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
126-1 33	12/2	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
134-1 41	12/6	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
142-1 49	12/9	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、研究発表準 備および論文作成	吉田 直美	
150-1 57	12/13	09:00-17:50	特別講堂	卒業研究	卒業研究成果発表	吉田 直美	
158-1 64	12/16	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、論文の修 正	吉田 直美	
165-1 71	12/19	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	卒業研究	各指導教員指導の下、論文の完 成	吉田 直美	
172-1 79	1/10	09:00-17:50	特別講堂	卒業研究	卒業研究成果発表	吉田 直美	

成績評価の方法

- ・単位認定(4単位)は4学年終了時に行う。
- ・単位認定は、3年次から各課題(論文抄録、研究計画書、中間発表会プレゼンテーションファイル、成果報告会プレゼンテーションファイル、卒業研究論文ファイル)の期限内提出、研究計画書・中間発表会プレゼンテーション・成果報告会プレゼンテーション・論文についての総括的評価により行う。

準備学習などについての具体的な指示 研究テーマを考え、それに関する文献を検索し、文献を読んでおくこと。
試験の受験資格 卒業研究の発表および卒業論文を提出すること
教科書 歯科衛生研究の進め方論文の書き方 = Dental Hygiene Research, Guide for Planning and Writing／日本歯科衛生学会 監修、武井典子、金澤紀子、合場千佳子、石井拓男、岩久正明 編、医歯薬出版、2015
参考書 卒業研究 HAND BOOK／眞木吉信 監著、薄井由枝、品田佳世子、白鳥たかみ、杉原直樹、田村清美、松田裕子 著、クインテッセンス出版、2011 SPSS による医学・歯学・薬学のための統計解析／石村貞夫、謝承泰、久保田基夫 著、東京図書、2011 SPSS で学ぶ医療系多変量データ解析／対馬栄輝 著、東京図書、2008 ・「保健・医療のための研究法入門」、朝倉隆司監訳、協同医書出版社 ・「歯科衛生研究の進め方、論文の書き方」、金澤紀子、武井典子、合場千佳子、岩久正明 編、医歯薬出版 ・「医薬研究者の視点からみた道具としての統計学」、奥田千恵子、金芳堂
備考 ・常に指導教員、副指導教員と密接な連絡をとり、助言を得ながら研究を進めること。

時間割番号	022308					
科目名	歯科衛生学演習					
担当教員	吉田 直美					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1	
主な講義場所 歯学部演習室 鈴木章夫記念講堂 その他						
授業の目的、概要等 心身の状態が口腔機能の低下や口腔衛生状態の不良へ及ぼす影響の実際を知り、歯科医療従事者としてそれらを改善するための知識・態度を理解する。 歯科臨床における歯科衛生士の役割を考え、応用に必要な知識と技術および態度を習得する。						
授業の到達目標 ・対象の口腔機能の状態を説明する。 ・口腔機能が低下する要因について概説する。 ・口腔機能評価法を説明する。 ・口腔機能に応じた食形態や障害に応じた食具を説明する。 ・疾病や障害に応じた食事摂取法を説明する。 ・口腔ケア支援の方法を概説する。 ・入院患者ならびに家族に配慮する。 ・多職種連携における歯科衛生士の役割を説明する。 ・患者の安全と安心を配慮する。 ・チーム医療に必要な技能を応用する方法を説明する。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
17-23	7/2	09:00-16:50	鈴木章夫 記念講 堂 その他	チーム医療入門	医学部歯学部他大学合同演習	品田 佳世子
24-30	7/3	09:00-16:50	鈴木章夫 記念講 堂 その他	チーム医療入門	医学部歯学部他大学合同演習	古屋 純一、 樺沢 勇司、 中山 玲奈
成績評価の方法 ・課題レポートならびに試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。						
準備学習などについての具体的な指示 事前配布資料や e-learning へのアップロード等があった場合は、各自予習して授業に臨むこと。						
試験の受験資格 D6-H4 合同症例検討授業およびチーム医療入門はそれぞれにおいて全履修時間の4分3以上出席する。 課題レポートをすべて提出する。 医病歯病において口腔衛生管理・口腔機能管理の事例を見学する。						
備考 演習、実習、グループワーク						

時間割番号	022309						
科目名	歯科衛生臨床・臨地応用論						
担当教員	近藤 圭子						
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1		
科目名: 歯科衛生臨床・臨地応用論							
主な講義場所 口腔保健学科第2 講義室							
授業の目的、概要等 既習の臨床実習および臨地実習で関心を抱いた場での実習、ボランティア活動、また学会等への参加を通して、その領域に関する知識を深め、技能を高める。 特別な配慮が必要な対象者に対して、対象者本位の口腔保健活動を実施するための、態度、知識、技術を習得する。							
授業の到達目標 ・対象者の身体的・精神的・社会的特性を配慮して、生活上の問題を抽出、整理する。 ・対象者の価値観の多様性を理解して、対応する。 ・利用者の心理状態や体調の変化に対応する。 ・歯科衛生過程の各段階の意味を理解して、実施する。 ・評価結果から、今後の課題を設定する。 ・専門職間の連携について説明する。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1-3	4/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科衛生臨床・臨地応用論について	目的、履修の方法	近藤 圭子	グループワーク
4-6	6/3	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	ボランティア	演習	近藤 圭子	実習・演習
7-9	6/10	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	セミナー	演習	近藤 圭子	実習・演習
10-12	6/17	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	学外の臨床	演習	近藤 圭子	実習・演習
13-15	7/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	成果発表	近藤 圭子	課題発表
授業内容 ボランティア活動: 高齢者施設、地域のイベント参加 学会: 歯科衛生分野の学会、関連学会参加 歯科関連セミナー: 産業保健研究会、大学院講義、その他への参加 デンタルショー: 歯科関連の企業展示見学 報告書の作成: 活動報告書							
成績評価の方法 出席と演習への参加、レポート・発表による							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 3/4 以上の出席とレポート提出							

時間割番号	022310					
科目名	口腔保健マネジメント論					
担当教員	近藤 圭子					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1	
主な講義場所 第2講義室						
授業の目的、概要等 口腔保健におけるマネージメントを考え、その方法を理解する。						
授業の到達目標 ・ライフステージにおけるマネージメントを考える。 ・対象によるマネージメントを考える。 ・地域や環境によるマネージメントを考える。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	10/18	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	マネージメントとは	口腔保健マネージメントとは	近藤 圭子
4-6	10/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	ライフステージとマネージメント	各ライフステージによるマネージメント	近藤 圭子
7-9	11/8	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	対象によるマネージメント	対象別のマネージメント	近藤 圭子
10-12	11/15	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域・環境によるマネージメント	地域・職種との連携を考える	近藤 圭子
13-15	11/22	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ		近藤 圭子
成績評価の方法 出席、レポートと試験により、総合評価を行う。						
準備学習などについての具体的な指示 事前学習を行う。						
試験の受験資格 2/3 以上出席、レポートの提出						

時間割番号	022311					
科目名	保健行動科学					
担当教員	吉田 直美					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1	
主な講義場所						
口腔保健学科第2講義室						
授業の目的、概要等						
保健医療福祉分野における行動変容を支援するするために必要な知識・技術・態度を理解する。						
授業の到達目標						
・接遇とマナーについて説明する						
・コミュニケーションの構築について説明する。						
・医療コミュニケーションの技法を用いる。						
・コーチングスキルを用いた支援について説明する。						
・基礎的なコーチングスキルを用いる。						
・リラクゼーション技法を説明する。						
・リラクゼーション技法を用いる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1	4/10	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	ガイダンス	履修の準備、受講に関する注意事項および概論 接遇とマナー	吉田 直美
2	4/17	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション 1	コミュニケーションの構築	吉田 直美
3	4/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション2	歯科衛生士としての態度と行動	吉田 直美
4	4/24	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション3	コーチング	吉田 直美
5	5/14	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション4	コーチング	吉田 直美
6	5/21	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション5	コーチング	吉田 直美
7	5/28	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション6	リラクゼーション	吉田 直美
8	6/4	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション7	リラクゼーション	吉田 直美
9	6/11	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	医療コミュニケーション8	リラクゼーション	吉田 直美
10	6/12	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 1	セルフケア行動を支援するための 方策	吉田 直美

11	6/18	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 2	セルフケア行動を支援するための 方策	吉田 直美
12	6/19	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 3	セルフケア行動を支援するための 方策	吉田 直美
13	6/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 4	セルフケア行動を支援するための 方策	吉田 直美
14	6/26	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 5	セルフケア行動を支援するための 方策	吉田 直美
15	7/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	保健行動と行動変容 6	まとめ	吉田 直美

成績評価の方法 課題レポート、期末試験で総括的評価を行う。受講態度、出席状況等を総括的評価に加味する。
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に確認すべき課題がある場合は、Webclass にアップロードする。
試験の受験資格 ・試験規則を確認すること。出席時間不足の場合は、受験することができない。
備考 演習

時間割番号	022312						
科目名	地域口腔保健論						
担当教員	品田 佳世子						
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1		
科目名: 地域口腔保健論							
時間数: 15 時間							
授業形態: 講義、演習含む							
主な講義場所							
1 号館西口腔保健学科第 1 講義室							
授業の目的、概要等							
公表されている地域の口腔保健の実態を調べ、口腔保健推進に関して計画や施策を考える力を培う。							
授業の到達目標							
・我が国の地域の口腔保健の実態を知る。							
・地域の口腔保健を推進するための計画を考える。							
・地域に合った施策を考える。							
授業計画							
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員	備考
1	4/9	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域保健に関する概 論、地域包括ケアシステ ムについて	地域保健に関する概論、地域包括 ケアシステムについて	品田 佳世子	
2	4/15	09:00-09:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の地域保健の実態 と課題について	日本の地域保健の実態と課題に ついて	品田 佳世子	演習: 都道府県、 市区町村のホー ムページから、地 域保健の実態を 調べ、課題を検討 する
3	4/15	10:00-10:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の地域保健の実態 と課題について	日本の地域保健の実態と課題に ついて	品田 佳世子	演習: 都道府県、 市区町村のホー ムページから、地 域保健の実態を 調べ、課題を検討 する
4	4/15	11:00-11:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の地域の口腔保健 の実態と課題について	日本の地域の口腔保健の実態と 課題について	品田 佳世子	演習: 歯科疾患実 態調査、学校保 健統計、都道府 県、市区町村の ホームページか ら、地域の口腔保 健の状況を調べ る
5	4/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の地域の口腔保健 の実態と課題について	日本の地域の口腔保健の実態と 課題について	品田 佳世子	演習: 歯科疾患実 態調査、学校保 健統計、都道府 県、市区町村の ホームページか ら、地域の口腔保 健の状況を調べ る

6	5/8	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域設定しその地域の 口腔保健の課題と対策 を考える	地域設定しその地域の口腔保健 の課題と対策を考える	品田 佳世子	演習:地域設定し その地域の口腔 保健の課題と対 策を考える
7	5/15	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域設定しその地域の 口腔保健の課題と対策 を考える	地域設定しその地域の口腔保健 の課題と対策を考える	品田 佳世子	演習:地域設定し その地域の口腔 保健の課題と対 策を考える
8	5/22	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	他の地域についてその 地域の口腔保健の課題 と対策を考える	他の地域についてその地域の口 腔保健の課題と対策を考える	品田 佳世子	演習:他の地域に ついてその地域 の口腔保健の課 題と対策を考える
9	5/29	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	他の地域についてその 地域の口腔保健の課題 と対策を考える	他の地域についてその地域の口 腔保健の課題と対策を考える	品田 佳世子	演習:他の地域に ついてその地域 の口腔保健の課 題と対策を考える
10	6/5	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	他の地域についてその 地域の口腔保健の課題 と対策を考える	他の地域についてその地域の口 腔保健の課題と対策を考える	品田 佳世子	演習:他の地域に ついてその地域 の口腔保健の課 題と対策を考える
11	7/4	13:00-13:50	口腔保健 学科第1 講義室	最初の地域と次の地域 について比較検討し、地 域格差を考える。	最初の地域と次の地域について 比較検討し、地域格差を考える。	品田 佳世子	演習:最初の地域 と次の地域につ いて比較検討し、 地域格差を考え る。
12	7/4	14:00-14:50	口腔保健 学科第1 講義室	最初の地域と次の地域 について比較検討し、地 域格差を考える。	最初の地域と次の地域について 比較検討し、地域格差を考える。	品田 佳世子	演習:最初の地域 と次の地域につ いて比較検討し、 地域格差を考え る。
13	7/4	15:00-15:50	口腔保健 学科第1 講義室	最初の地域と次の地域 について比較検討し、地 域格差を考える。	最初の地域と次の地域について 比較検討し、地域格差を考える。	品田 佳世子	演習:最初の地域 と次の地域につ いて比較検討し、 地域格差を考え る。
14	7/4	16:00-16:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の口腔保健の地域 格差の対策を考える	日本の口腔保健の地域格差の対 策を考える	品田 佳世子	演習:日本の口腔 保健の地域格差 の対策を考える
15	7/16	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	日本の口腔保健の地域 格差の対策を考える	日本の口腔保健の地域格差の対 策を考える	品田 佳世子	演習:日本の口腔 保健の地域格差 の対策を考える
16	7/23	17:00-17:50	口腔保健 学科第1 講義室	地域保健に関するまと め	地域保健に関するまとめ	品田 佳世子	

成績評価の方法

出席点(20点)とレポート点(80点)を合わせて評価する。

準備学習などについての具体的な指示

全国の都道府県、市区町村の保健に関するホームページの中に、口腔保健に関してどのような情報が公表されているのか調べておく。

試験の受験資格 15 時間の授業のうち 2/3 以上出席すること
連絡先 shinada.pvoh@tmd.ac.jp
オフィスアワー 月曜日～金曜日 AM. 10:00-PM. 6:00 1 号館西 8 階品田室

時間割番号	022313					
科目名	在宅訪問・災害口腔保健医療					
担当教員	古屋 純一、中山 玲奈					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1	
時間数:15 時間 1 単位 授業形態:講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 古屋純一、中山玲奈 地域に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと						
主な講義場所 口腔保健学科 第2 講義室						
授業の目的、概要等 ・超高齢社会で活躍する歯科衛生士に必要となる、訪問歯科診療の実際について理解する。特に、病院、在宅、施設への訪問診療による、療養中の高齢者・要介護高齢者の口腔衛生管理や、口腔機能管理、摂食嚥下リハビリテーション、食支援の実際について理解する。また、一部、災害時の訪問歯科診療についても触れる。						
授業の到達目標 ・歯科訪問診療と往診の違いを説明できる ・病院への訪問歯科診療を説明できる ・居宅(自宅、施設)への訪問歯科診療を説明できる ・在宅、チーム医療における摂食嚥下リハビリテーション、口腔機能管理、口腔ケアの実際を理解できる。 ・誤嚥性肺炎予防、食支援、QOL の向上を目的とした訪問歯科診療の実際を理解できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	4/12	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯科訪問診療とは 高齢者の訪問歯科診療 訪問歯科診療の実際 1	歯科訪問診療と往診の違い、訪問 歯科診療の概要 病院への訪問 歯科診療	古屋 純一、 中山 玲奈
6-10	4/19	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	訪問歯科診療の実際 2	居宅(在宅、施設)への訪問歯科 診療	古屋 純一、 中山 玲奈
11-13	5/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	訪問歯科診療の在り方	医療介護連携、地域連携、多職種 協働	古屋 純一、 中山 玲奈
14	7/5	13:00-13:50	口腔保健 学科第2 講義室	災害と訪問歯科診療 まとめ	災害時の訪問歯科診療 これま でのまとめ	古屋 純一、 中山 玲奈
15	7/5	14:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	まとめ	これまでのまとめ	古屋 純一、 中山 玲奈
成績評価の方法 ・提出レポート、期末の客観試験、論述試験で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						

試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席
教科書 高齢者歯科／植田耕一郎 ほか 著, : 医歯薬出版, 2015
参考書 歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション／金子芳洋 編, 日本歯科衛生士会 監修, : 医歯薬出版, 2011
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。 地域の現場に出るため、履修の際には事前に担当教員に相談のこと

時間割番号	022314					
科目名	先端歯科医療学					
担当教員	荒川 真一, 竹内 康雄, 青木 章, 大西 英知, 片桐 さやか, 妻沼 有香, 井上 裕之					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	1	
主な講義場所						
第2 講義室						
授業の目的、概要等						
・歯周治療における最先端の知見および治療法を修得する。 ・これからの歯科衛生士としてあるべき姿の未来像の提案と共に、歯科衛生士として大切な能力であるコミュニケーションの最新の考え方を修得する ・最新の歯科マネジメント(ミッションの重要性・PDCAの重要性)の考えなど臨床を通じて解説する。						
授業の到達目標						
・歯周治療における最先端の知見および治療法を説明できる。 ・患者の心理状態を的確に把握するコミュニケーションの最新の考え方を実践できる。 ・最新の歯科マネジメント方法を実践できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-2	5/13	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	マイクロバイオータと歯周炎	歯周炎の発症進行の原因因子として、歯周病原細菌があるが、単一の細菌毎ではなく、マイクロバイオータ(細菌叢)として捉えることが重要であることが明らかになった。この点に関して、最新の知見を述べる。	竹内 康雄
3	5/13	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	マイクロバイオータと歯周炎	マイクロバイオータと歯周炎に関して、討論を行う。	荒川 真一
4-5	5/20	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	予防を軸に歯科の未来へ	最新の歯科マネジメント(ミッション・PDCAの重要性)の考えなどを臨床を通じて解説するとともに、これからの歯科衛生士としてあるべき姿の未来像の提案する。さらに、コミュニケーションの最新の考え方についても解説する。	荒川 真一, 井上 裕之
6	5/20	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	患者心理をいかに正確にとらえるか	上記に関して、討論を行う。	荒川 真一
7-8	7/12	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯周治療におけるレーザーの応用 歯周専門開業医におけるDHの役割	歯周治療において、各種レーザーが用いられている。そこで、レーザーの基本原理、種類ごとの特徴、およびそれらの特性を活かした臨床応用について、最新の知見を交えて学ぶ	青木 章
9-10	7/12	15:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	歯周専門開業医におけるDHの役割	歯周専門開業医における再生治療をはじめとする歯周治療とDHの役割について学ぶ	大西 英知
11-12	7/22	10:00-11:50	口腔保健 学科第2	全身疾患と歯周炎の関係	歯周炎がいかに糖尿病などの全身疾患に関係するかについて、最	片桐 さやか

			講義室		新の知見を踏まえて学ぶ		
13-14	7/29	09:00-10:50	口腔保健 学科第2 講義室	再生医療	再生医療として、歯根膜シートが 開発されている。本講義では、当 該シートに関する最先端の研究成 果と臨床応用について学ぶ	妻沼 有香	
15	7/29	11:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	総合討論	これまでの講義内容について、総 合的に討論を行、かつレポートを 作成する	荒川 真一	
成績評価の方法 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・提出レポート、発表等で総括的評価を行う							
準備学習などについての具体的な指示 ・歯周治療の基本的流れについて、今一度確認し、書けるようにしておくこと。 ・なぜ、歯科衛生士になろうとしたのか。どのような歯科衛生士になりたいのか。 それは、なぜなのかを考えておく。 ・コミュニケーション、PDCAについて、基本的な知識を習得しておくこと。 ・事前に、ドキュメンタリー動画< https://youtu.be/IW2oyMLMRbg >を観ておくこと。							
備考 ・講義内容について討論を行う。							

時間割番号	022298					
科目名	福祉計画					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 藤高 直之, 遠藤 康裕					
開講時期	前期	対象年次	4	単位数	1	
時間数: 15 時間 1 単位 授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む) 担当教員: 藤高 直之(立正大学)、遠藤 康裕、中山玲奈、ほか						
主な講義場所 口腔保健学科第3講義室						
授業の目的、概要等 ・福祉計画の基本的事項を理解し、社会福祉の位置づけ、枠組みを修得する。						
授業の到達目標 ・福祉計画の意義と目的を説明できる。 ・福祉計画の主体と方法について説明できる。 ・福祉計画についてその種類、内容について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	8/30	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の意義と目的	行政の総合計画と福祉計画、福祉計画の法的根拠など	藤高 直之, 古屋 純一, 中山 玲奈
4-8	8/30	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際Ⅰ	次世代育成支援行動計画、地域福祉計画	藤高 直之
9-11	9/25	09:00-11:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の理論と技法	福祉計画の基本的視座、ニーズの把握、評価、住民参加	遠藤 康裕
12-15	9/25	13:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉計画の実際Ⅱ	老人福祉計画・介護保険事業計画、障害者福祉計画・障害福祉計画	遠藤 康裕
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。						
準備学習などについての具体的な指示 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。						
教科書 新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集: 中央法規出版, 2017						
備考 課題発表、グループワークを含む						

時間割番号	022300					
科目名	福祉運営管理					
担当教員	古屋 純一, 中山 玲奈, 川渕 孝一					
開講時期	後期	対象年次	4	単位数	2	
時間数: 30 時間 2 単位						
授業形態: 講義(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 川渕孝一、中山玲奈、古屋純一、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第2 講義室						
授業の目的、概要等						
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論およびサービス経営と管理運営の特徴について理解する。						
授業の到達目標						
・福祉サービスに係る組織や団体(社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会など)について説明できる。						
・福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論について説明できる。						
・福祉サービスの経営と管理運営について説明できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-5	10/18	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	オリエンテーション 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 1	授業の説明、学習内容の確認、重要事項の概説、ロジカルシンキング、フレームワーク リーダーシップ、組織間ネットワーク、チームアプローチ	川渕 孝一、 古屋 純一、 中山 玲奈
6-10	10/25	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運営の方法	会計管理と財務管理	川渕 孝一
11-15	11/1	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営 1 福祉サービスの組織と経営の基礎理論 2	福祉サービス提供組織の経営を支える財務と会計 戦略と事業計画	川渕 孝一
16-20	11/8	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスにおける組織と経営 2 福祉サービスの組織や団体	福祉サービス提供組織の経営と実態 社会福祉法人、医療法人、特定非営利活動法人、営利法人、市民団体、自治会・町内会など 福祉サービス提供組織の定義、組織の特徴など 福祉サービス提供組織の社会的役割、運営の実態や課題	川渕 孝一
21-25	11/15	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの組織と経営の基礎理論 2 福祉サービスの管理運営の方法① 事例研究 1	キャリア・パスの概要(仕組みと意義)、職員研修システム、OJT、職場のメンタルヘルス対策(現状と課題) 人事管理と労務管理、人材育成 真の地域包括ケアシステムとは何か	川渕 孝一
26-30	11/22	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	福祉サービスの管理運営の方法② 事例研究 2	サービスマネジメント、サービスの質の評価、リスクマネジメント 情報管理と戦略的広報 福祉サー	川渕 孝一、 古屋 純一、 中山 玲奈

					ビス提供組織における社会福祉士の役割と位置づけ～医療・介護に携わる管理者の取り組み(医療・介護の現場のあり方)		
成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。							
準備学習などについての具体的な指示							
試験の受験資格 3 分の 2 以上の出席							
教科書 新・社会福祉士養成講座 11 福祉サービスの組織と経営 第5版／社会福祉士養成講座編集委員会 編集、中央法規出版, 2017							
参考書 ・「福祉サービスの組織と経営 第4版(新・社会福祉士養成講座 第 11 巻)」社会福祉士養成講座編集委員会編 中央法規出版 ・一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会推薦テキスト「介護福祉経営士テキスト」シリーズ(全 21 巻) 日本医療企画 ・随時授業中に紹介する。							
履修上の注意事項 ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。 ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。 ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。 ・地域への見学があるため、集合場所等に注意すること。							
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。							

時間割番号	022302					
科目名	相談援助演習Ⅲ					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一, 堀 千鶴子, 横地 厚					
開講時期	通年	対象年次	4	単位数	3	
時間数: 60 時間 2 単位						
授業形態: 演習(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員: 古屋純一、中山玲奈、堀千鶴子(城西国際大学)、ほか						
主な講義場所						
口腔保健学科 第2 講義室						
授業の目的、概要等						
・社会福祉における相談援助の知識と技術に関わる他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に修得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を滋養する。						
授業の到達目標						
・社会福祉援助の特徴を説明することができる。						
・社会福祉援助の内容・方法プロセスを説明することができる。						
・社会福祉援助に関する実践上の課題について、自らの意見を述べることができる。						
・社会福祉援助と口腔保健における実践との関連性に興味関心をもち、自ら調べ、考える態度をもつ。						
・社会福祉相談援助実習に向けた自ら興味関心と学習課題を説明することができる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	4/15	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅰ	個別支援	中山 玲奈, 古屋 純一
4-6	4/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅱ	集団支援	中山 玲奈
7-9	5/13	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅲ	地域支援	中山 玲奈
10-12	5/20	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	面接技術の振り返り	ロールプレイ	中山 玲奈
13-14	5/27	13:00-14:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅳ	事例分析	中山 玲奈
15-17	6/3	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅴ	個別支援と地域支援、事例検討	中山 玲奈
18-20	6/10	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の実際Ⅵ	集団支援と地域支援、事例検討	中山 玲奈
21-23	6/17	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発 Ⅰ	社会資源の活用・調整・開発 の 実 際	中山 玲奈, 横地 厚, 古 屋 純一
24-26	6/24	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助における社会 資源の活用・調整・開発 Ⅱ	事例検討	横地 厚

27-29	7/1	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助技術の振り返り	これまでの振り返り	中山 玲奈
30-32	7/8	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク実践 理論の振り返り	各理論と実践モデルの活用法	中山 玲奈
33-35	7/22	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論 の実践Ⅰ	システム理論を用いた事例分析	中山 玲奈
36-38	7/29	13:00-15:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論 の実践Ⅱ	事例検討	中山 玲奈
39-45	8/27	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	ソーシャルワーク理論 の実践Ⅲ	事例検討	中山 玲奈 堀 千鶴子
46-52	8/29	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 Ⅰ	コミュニケーション技術の習得	堀 千鶴子
53-59	9/3	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 Ⅱ	面接技術の習得	堀 千鶴子
60-66	9/4	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 Ⅲ	相談援助技術の活用1	堀 千鶴子
67-74	10/28	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の基礎 Ⅳ	相談実践における価値と倫理	中山 玲奈 古屋 純一
75-82	11/25	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術の応用	相談援助技術の活用2	中山 玲奈 古屋 純一
83-89	12/20	09:00-16:50	口腔保健 学科第2 講義室	相談援助の技術のまとめ	これまでのまとめ	中山 玲奈 古屋 純一

成績評価の方法

- ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。
- ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。
- ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。
- ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。

準備学習などについての具体的な指示

- ・事前に教科書を熟読し、予習して授業に臨むこと。
- ・前回までの授業内容を踏まえて授業が行われるので、復習に努めること。
- ・資料の配付、e-learning へのアップロード等があった場合は、予習復習を行うこと。

試験の受験資格

3 分の 2 以上の出席

教科書

社会福祉士相談援助演習 第 2 版／日本社会福祉士養成校協会 監修、長谷川匡俊、上野谷加代子、白澤政和、中谷陽明 編集：中央法規出版、2015

備考

課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022303					
科目名	相談援助実習指導					
担当教員	中山 玲奈, 古屋 純一					
開講時期	2年通年	対象年次	3～4	単位数	2	
時間数:3 学年 38 時間、4 学年 52 時間 2 単位						
授業形態:実習(課題発表、グループワーク含む)						
担当教員:中山玲奈、古屋純一						
主な講義場所						
口腔保健学科 第3 講義室(3 学年)						
口腔保健学科 第2 講義室(4 学年)						
授業の目的、概要等						
・社会福祉における相談援助実習の意義について理解する。						
・授業で学んだ専門知識と相談援助の具体的な実践を結びつけるとともに、実習後は実習体験を意識 化し、体系立てていくことをめざす。						
授業の到達目標						
・社会福祉における相談援助実習の意義を事前に理解し、実習後は経験知として説明できる。						
・相談援助実習に係る個別指導並びに集団指導を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的 かつ实际的に体験し、経験知として説明できる。						
・社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応でき る能力を習得し、意識化できる。						
・具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し、体系立てて整理できる。						
授業計画						
回	日付	時刻	講義室	授業題目	授業内容	担当教員
1-3	11/5	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	オリエンテーション	相談援助実習とは	中山 玲奈, 古屋 純一
4-6	11/12	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	高齢者施設	中山 玲奈
7-9	11/19	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	障害者施設	中山 玲奈
10-12	11/26	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	地域包括支援センター	中山 玲奈
13-15	12/3	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	病院実習	中山 玲奈
16-18	12/10	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	相談援助の場所	児童相談所・児童養護施設	中山 玲奈
19-21	1/7	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習準備	実習に必要な書類の書き方	中山 玲奈
22-29	1/21	09:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習における留意事項	実習における注意と準備	中山 玲奈
30-32	1/28	14:00-16:50	口腔保健 学科第3	実習先機関・施設	地理的条件や関連する社会資源	中山 玲奈

			講義室			
33-35	2/8	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	アセスメント	実習先アセスメントの活用、利用者ニーズの理解、地域を理解する必要性	中山 玲奈
36-38	2/15	15:00-17:50	口腔保健 学科第3 講義室	実習目的	実習目的の立て方	中山 玲奈
39-40	4/15	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	春季実習の振り返り	実習記録の整理と分析	中山 玲奈
41-42	4/22	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 1	春季実習の報告	中山 玲奈
43-44	5/13	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 2	春季実習の報告	中山 玲奈
45-46	5/20	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 3	春季実習の報告	中山 玲奈
47-48	5/27	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 4	春季実習の報告	中山 玲奈
49-50	6/3	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 5	春季実習の報告	中山 玲奈
51-52	6/10	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会 6 春季実習のまとめ	春季実習の報告、まとめ	中山 玲奈
53-54	6/17	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	夏季実習の準備	課題の抽出	中山 玲奈
55-56	6/24	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習先のアセスメント	実習先のアセスメント	中山 玲奈
57-58	7/1	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の社会資源の調査 1	実習先の地域における社会資源の調査	中山 玲奈
59-60	7/5	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	地域の社会資源の調査 2	実習先の地域における社会資源の調査	中山 玲奈
61-62	7/8	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習計画書作成 1	実習中の学習計画立案	中山 玲奈
63-64	7/22	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習計画書作成 2	実習中の学習計画立案	中山 玲奈
65-69	7/26	13:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習計画書作成 3	実習中の学習計画立案	中山 玲奈

70-71	7/29	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習準備 2	実習に必要な書類の書き方	中山 玲奈
72	9/25	17:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会準備 1	実習報告会の準備	中山 玲奈
73-80	9/26	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習報告会準備 2	実習報告会の準備	中山 玲奈
81-88	10/4	09:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	夏季実習報告会、まとめ	夏季実習報告会、まとめ	中山 玲奈
89-90	11/29	16:00-17:50	口腔保健 学科第2 講義室	実習全体の振り返り	まとめ	中山 玲奈、 古屋 純一

成績評価の方法 ・提出レポート等の内容で総括的評価を行う。 ・出席状況、授業態度を総括的評価に加味する。 ・課題発表、グループワークの内容や参加態度を総括的評価に加味する。 ・随時の小テスト等で形成的評価を行い、総括的評価に加える。
準備学習などについての具体的な指示

試験の受験資格 4 分の 3 以上の出席
参考書 随時、実習関連資料を配付する。
備考 課題発表、グループワーク含む

時間割番号	022304				
科目名	相談援助実習				
担当教員	中山 玲奈、古屋 純一				
開講時期	2年通年	対象年次	3～4	単位数	4
科目名:相談援助実習 時間数:3 学年後期(春季集中)、4 学年(夏季集中) 実習日数(時間)は 24 日間(180 時間)・16 日間(120 時間)・8 日間(60 時間)以上のいずれか。 授業形態:実習 担当:中山玲奈、古屋純一、ほか					
主な講義場所 社会福祉施設・機関					
授業の目的、概要等 ・社会福祉士として求められる資質や倫理、相談援助に係る知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し、支援に必要な技術を体得する。					
授業の到達目標 ・社会福祉分野における相談援助実習を通して、相談援助に係る知識と技術について具体的かつ实际的に経験し、実践的な技術等を経験知として整理できる。 ・社会福祉士として求められる資質、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を体験的に把握できる。 ・関連分野の専門職との連携のあり方や具体的内容を把握し、事後学習で整理できる。					
成績評価の方法 実習計画、実習記録ノート、実習報告書および実習指導者評価表により、総括的評価を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
教科書 Minerva 社会福祉士養成テキストブック／岩田正美、大橋謙策、白澤政和 監修、ミネルヴァ書房、2009					
備考 担当教員の Office hour: 随時(メールにてアポイントのこと) 古屋純一 furuya.ohcw@tmd.ac.jp 授業では、課題発表、グループワーク、討論などを行う。					

時間割番号	022289				
科目名	口腔保健衛生エクスターンシップ				
担当教員					
開講時期	1.5 通年(秋)	対象年次	3～4	単位数	1
成績評価の方法 それぞれの海外研修プログラムの責任者が、学生の研修内容等を総合的に判定して合否をつけ、口腔保健学科教育委員会において承認を受けた後、教授会で最終判定を行う。					
準備学習などについての具体的な指示					
試験の受験資格 ○単位認定条件 1) 海外研修奨励賞による研修プログラム (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 海外渡航時の注意事項、危機管理に関する研修(講義)の履修 (3) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (4) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(5) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) (1) 語学能力(英語) 語学検定における所定の点数の取得(TOEFL500 点以上)、もしくは事前の海外派遣英語準備コース(歯科英語)を履修後に本学オリジナルの語学試験を受けて合格、の2つの中から、どちらかの基準をクリアすること。(2) 研修特別コースの履修 研修内容によって、特別に提供されるコースの履修(詳細は別に定める) (3) 海外における生活上の注意、危機管理に関する研修(講義)の履修 (4) 研修報告書の提出 日本語および英語(詳細は別に定める) (5) 研修報告会における発表 研修報告会が開催されるときは、研修報告のプレゼンテーションを行う。(6) 本学または海外の担当教員による学生評価の成績(C 以上)					
履修上の注意事項 1. 海外研修プログラムを履修した学生に、自由選択科目(卒業要件以外)の単位として1単位を認定する。 2. 単位認定の対象となる海外研修プログラムは以下のプログラムとする。各プログラムにおける単位認定条件は別に定める。 1) 大学海外研修奨励賞による研修プログラム(事前研修を含む) 2) その他の海外研修プログラム(口腔保健学科教育委員会が認めたもの) 3. 所定のプログラムを終了した学生に対し、口腔保健学科教育委員会の議を経て、歯学部教授会が単位を認定する。但し、同一年次・年度で認定できる単位は1単位を上限とする。また、「その他の海外研修プログラム」に該当するプログラムで認定できる単位は、プログラムの内容・年次・年度・回数に限らず、在学期間を通じて1単位とする。					
備考 実習					